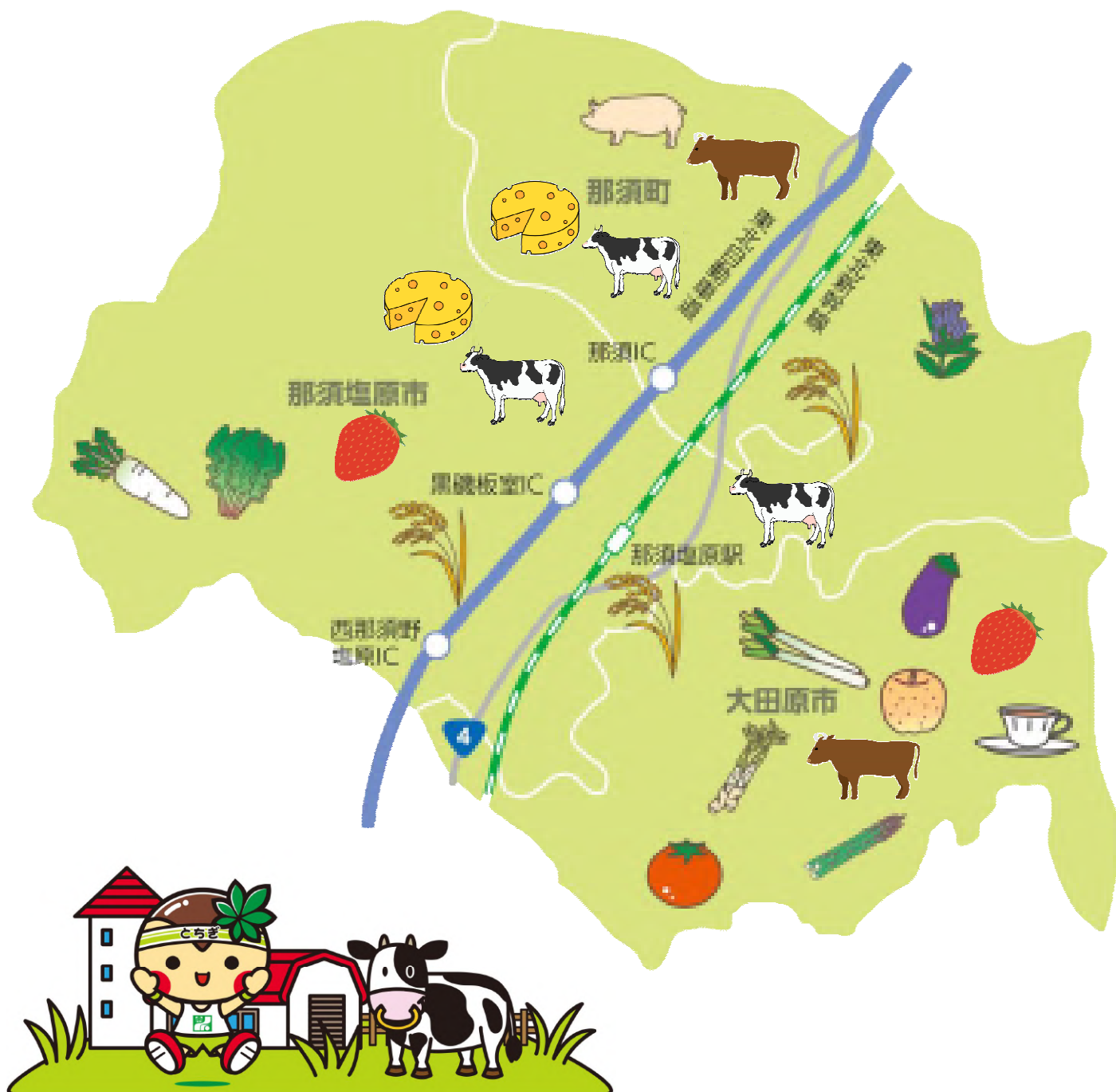


那須地方の農業



令和6（2024）年4月

栃木県那須農業振興事務所

はじめに

那須地方の農業・農村の振興につきましては、日頃から御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今日の農業・農村を取り巻く環境は、担い手の減少・高齢化、不安定な国際情勢に伴う燃油や生産資材の価格高騰などの問題に直面しているほか、デジタル化の進展や気候変動、更には温室効果ガス削減に向けた取組への対応など、大きなターニングポイントを迎えています。

このような中、県では、本県農業を成長産業として持続的に発展させるため、農業振興計画『とちぎ農業未来創生プラン』に基づき、地域農業を持続的に支えるための「とちぎ広域営農システム」の構築や、土地利用型園芸の導入などによる収益性の高い水田農業の確立、先端技術の活用や耕畜連携の推進による畜産力の強化などに取り組んでいるところです。

那須地域では、豊かな水と広大な農地を活かした農業生産に加え、素晴らしい農村景観、有数の観光地などの地域の特性を十分に活用しながら、「時代を超えて持続的発展を目指す那須の農業」をテーマに、

①那須野ヶ原水田農業の確立

②那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」

③地域資源を生かした農村地域の活性化

の3つの地域戦略に基づき、水田のフル活用や、園芸、畜産の産地発展、地域活性化の取組を中心とした農業・農村の振興に取り組んでおります。

家畜防疫については、本県を含む全国の養豚場における豚熱の発生や他県での高病原性鳥インフルエンザが発生するなど、予断を許さない状況が続いています。管内においても関係機関・団体と連携しながら、野生イノシシに対する経口ワクチン散布や養鶏場周囲のため池対策などの家畜伝染病対策強化の取組を進めて参りました。引き続き、危機管理体制を維持・強化して参りますので、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

このたび、令和5(2023)年度の各種事業の実績と管内の農業・農村の動きをとりまとめました。業務の参考にしていただければ幸いです。

令和6(2024)年4月

栃木県農政部参事兼那須農業振興事務所長 鈴木 正光

目

次

トピックス	1
第1 那須地方の概要	8
第2 那須地域農業振興計画 2021～2025	
1 地域農業・農村の現状と課題	9
2 計画の推進方向	9
3 地域戦略	10
4 令和5年度取組結果	12
(1) 地域戦略指標の達成状況	12
(2) 地域戦略の取組に係る課題と対応策	14
5 那須農業振興事務所地域戦略の推進体制(令和5年度)	17
第3 那須地方の普及活動のまとめ	
1 令和5年度課題体系図	18
2 活動経過及び成果	
課題1 地域農業を支える多様な担い手の確保・育成	19
課題2 収益性が高い水田農業の確立	22
課題3 土地利用型園芸導入による園芸産地の拡大・強化	23
課題4 那須地域の特徴を生かした園芸の振興	24
課題5 生産技術改善及び規模拡大による畜産力の強化	25
課題6 水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進	26
課題7 安全・安心な那須の農畜産物生産の推進	27
3 管内認定農業者の動き	28
4 那須地方農業者組織の概要	29
第4 深山・板室ダムの管理状況	30
第5 農産物モニタリング検査状況	31

第6 那須地方の農業の動き

1 農業	
（1）市町村別農業産出額	32
（2）市町別主要農産物の面積、収穫量	33
（3）農漁業災害の状況（農作物、施設、畜産暑熱被害等）	33
（4）農家戸数の動き	35
（5）専兼業別農家戸数の動き	36
（6）経営耕地面積規模別経営体数の動き	37
（7）農産物販売金額別経営体数（農業経営体）	38
2 農業労働力	
（1）年齢階層別の経営体数の動き	39
（2）基幹的農業従事者の推移	40
3 農地	
（1）年次別耕地面積の推移	41
（2）市町別耕地面積の状況（令和5年）	42
（3）市町別農業振興地域の現況地目別面積（令和4年）	42
（4）市町別農用地利用集積及び利用権設定の状況	43
（5）農地移転・転用の動き	44
4 市町別5年以内の後継者の確保状況	45
5 ほ場整備実施状況（令和5年5月現在）	46
6 農業協同組合等の概要	46
7 とちぎの地産地消推進店（那須地域）	47
8 農業の6次産業化総合化事業計画認定一覧	49
9 那須地方の主要園芸作物（令和5年度）	50
10 那須地方の直売所等	
（1）農産物直売所	51
（2）農村レストラン	52
（3）農産物加工所	52
11 カントリーエレベーター・ライスセンター設置状況	53
12 令和5年度経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付面積	55
13 令和5年度多面的機能支払交付金実施状況	56
14 令和5年度農業制度金融承認実績（令和5年12月末現在）	56
15 令和5年度主要事業実施状況	57
16 市町村の地域指定等について	63
17 実質化された人・農地プランの更新状況等	64
18 令和5年度主な農業関係表彰受賞者一覧	66
19 栃木県農業士等名簿（那須地方）	
（1）栃木県農業士	67
（2）栃木県女性農業士	67
20 那須地方の土地改良区名簿	68
21 関係機関一覧	69

1 農地バンクの活用により担い手への農地集積が進みました

将来にわたり地域の農地が有効に活用されるよう、農地中間管理機構（農地バンク）を活用した担い手への集積を推進しています。

那須塩原市下大貫地区において、将来の営農・農地利用意向を調査するとともに、農地バンク事業や地域へのメリットとなる協力金の活用を通じて農地の担い手への集積を進めました。

将来の姿を地域と関係機関が一緒に考え、地域の財産である農地をスムーズに次世代に渡せるように、農地バンクのさらなる活用を進めていきます。



集落営農勉強会の様子



勉強会に向けた役員等打合せ

2 とちぎグリーン農業の取組を推進しています

環境と調和しながら持続的に農業生産を目指し、地域ぐるみで環境に配慮した取組を進めるため、各市町のグリーン農業推進協議会が設置されました（大田原市、那須塩原市、那須町）。

環境保全型農業直接支払事業取組組織やエコファーマーに対し、グリーン農業研修会やみどり認定申請説明会等を行ったほか、JA なすのアスパラガス部会にグループ申請を推進したところ、合計 106 名がみどり認定を受けました（令和 6 年 3 月 22 日時点）。

今後も、個人と合わせて生産組織が行うグリーン農業の取組を支援していきます。



那須地域グリーン農業研修会



みどり認定管内 1 号（澤田農園）

3 「那須地域活性化に関する交流会」を開催しました！

那須地域で地域活性化に取り組む組織等の交流の場を提供することを目的として、令和6(2024)年1月30日に「那須地域活性化に関する交流会」を初めて開催しました。活動組織の事例紹介を通して、各組織の活動状況や今後の展望などについて、地域や業種を問わない活発な意見交換が行われました。

今後、交流会を通して生まれた組織間の繋がりを活かし、各組織の取組の発展のための情報交換や、組織同士が連携した取組の創出が期待されます。



交流会の様子



事例紹介（大田原ツーリズム）



事例紹介（青空プロジェクト THE DAY）



事例紹介（nasu. lab）

4 新規就農支援協議会の取組開始

那須地域の農業を持続的に発展させていくためには、農業に意欲ある若者を積極的に地域に誘導し、定着させていくことが重要です。

令和5年2月に新たな研修機関として設立された「那須地域新規就農支援協議会（事務局 JA なすの）」では、新規就農研修生の募集に向け、現地見学会の開催や県内外の就農相談会へ出展を行いました。その結果、令和6年度は研修生3名を受入れることが決まりました。

今後も新規就農者の確保・育成に向けて、協議会では研修生の受入れを継続していきます。



現地見学会



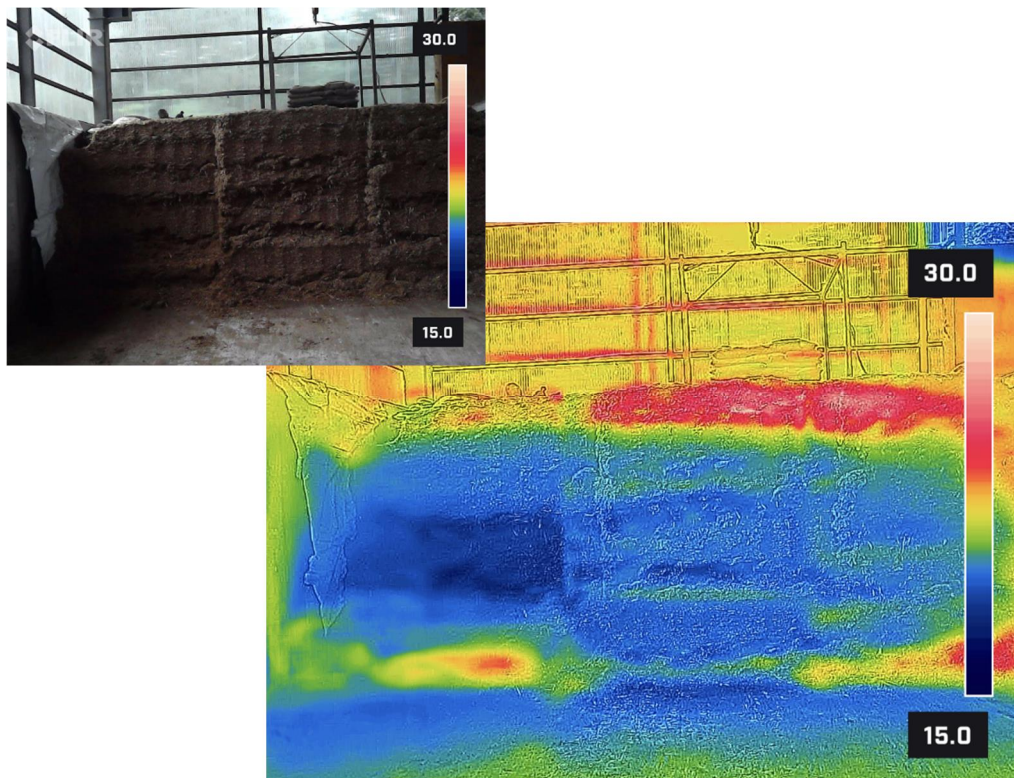
事前短期研修

5 飼料用とうもろこしサイレージの収量向上に関する取組

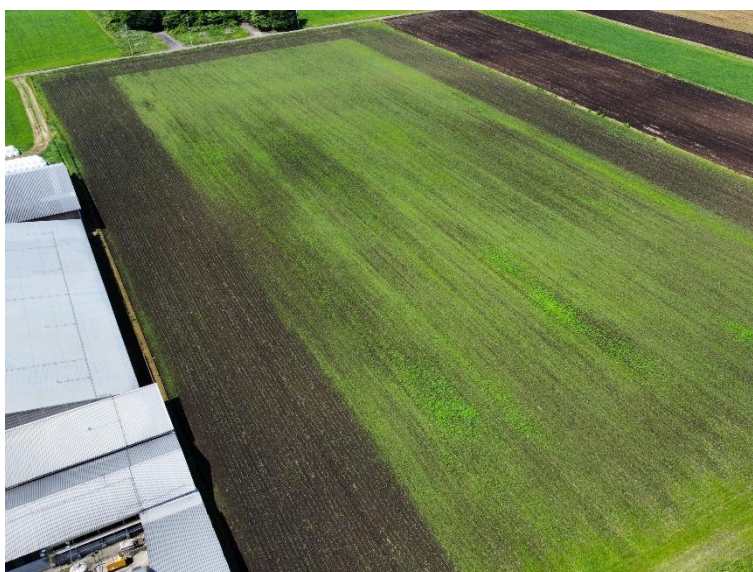
ドローン等のスマート機材を用い、牛群検定組合の飼料用とうもろこし増産の取り組み支援を行いました。

ドローンにより草地の植生を空撮し、圃場の耕起、播種及び雑草防除等の作業を点検することで、とうもろこし栽培管理の適正化による収量向上が図られました。また、サーマルカメラでサイレージの保管施設を撮影し、感熱画像により発熱箇所（不良発酵部）を明示することで、サイレージの損失低減が図られました。

今後もスマート機材の活用により、飼料増産に対する新たな視点での指導、支援を継続予定です。



保管施設の感熱画像



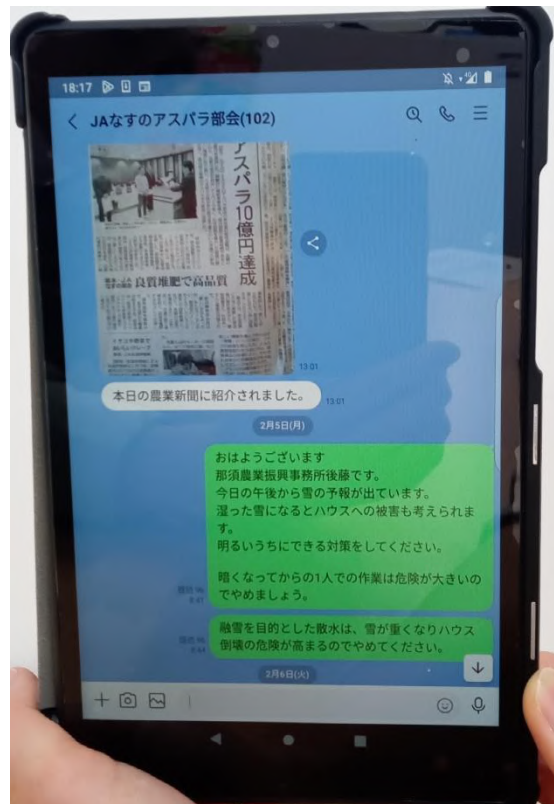
130m 上空からの圃場

6 災害対応力の高い産地づくり

気候変動に伴い増加している農業気象災害への対応力を高めるため、防災対策の支援・強化を図っています。

那須野農業協同組合アスパラガス部会では、タブレットを活用した気象災害等情報伝達体制を整備しました。また、同なし部会では、農業版 BCP の研修と晩霜対策の一貫として花粉の産地内確保体制整備を検討しました。

今後も、産地の持続的発展に向け、気象災害への対応力強化を支援していきます。



タブレットで災害情報周知



BCP 研修の様子

7 スマート農業現地研修会（露地野菜編）を開催しました！

令和5（2023）年5月、大田原市荒井地内（ほ場整備事業 荒井町島地区）においてスマート農業現地研修会を開催しました。

研修会には農業者や関係者らあわせて65名が参加し、「自動操舵トラクタ」を用いたネギの畝立ての実演が行われました。実演者の担い手の方からは「自動操舵システムの導入により、手動で運転するよりも綺麗に畝立てができるほか、作業時間の短縮にも繋がる」との説明があり、参加者は省力化への期待を寄せていました。

那須農業振興事務所では、本県農業のさらなる競争力強化と農業者の経営改善のため、今後もスマート農業の普及啓発や推進体制の整備及び現場導入の支援に努めていきます。



自動操舵システムに関する説明



自動操舵実演中

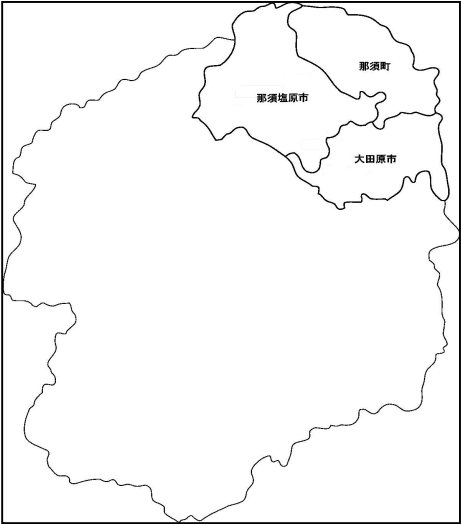


自動操舵トラクタによる畝立て作業実演

第1 那須地方の概要

1 位 置

那須地方は県の最北部に位置し、大田原市・那須塩原市・那須町の2市1町からなり、東経139度44分から140度16分、北緯36度43分から37度09分に至り、東部は茨城県に、北部は福島県に接している。



2 地 勢

那須地方の面積は、1,319km²で、県全体面積6,408km²の約21%にあたる。

このうち、耕地面積は222km²で県全体の耕地面積の約23%を占めている。

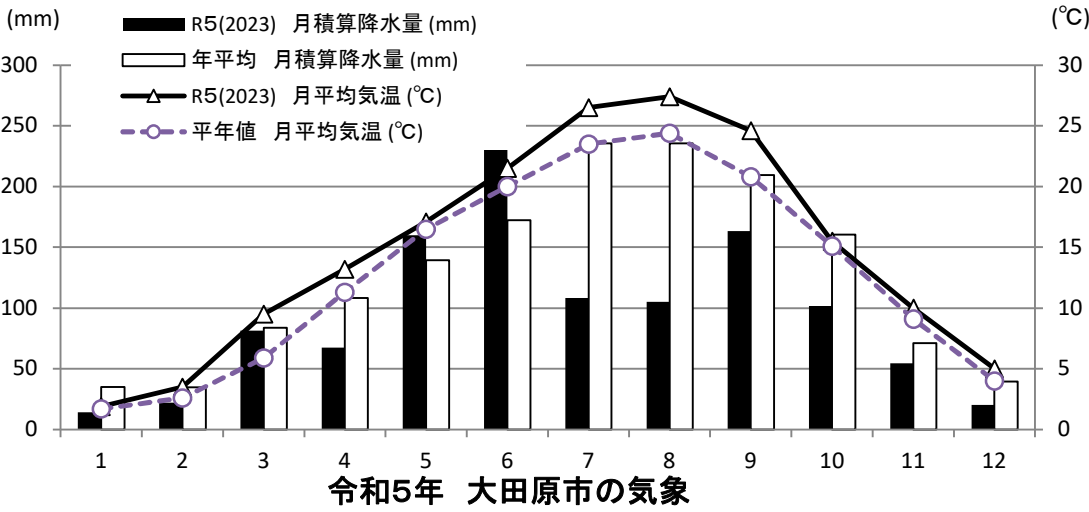
東北西三面は山岳地帯で自然美に恵まれ、中央以南は那須野ヶ原扇状地が開けている。河川はおおむね源を北西部の県境に発し、那珂川が余笹川、箒川等を合流して東折し、茨城県的那珂湊に注いでいる。

3 気 象

6月初旬ごろには日本海を通過する寒冷前線の影響により、雷雨・降雹をみることがある。冬は太平洋側の特徴を示し、乾燥した好天気恵まれ気温は低い。

大田原市の平年値は平均気温が12.9℃、降水量1,526mm、日照時間1,954時間、平均風速1.6m/sである。

令和5年の月別平均気温は、いずれの月も平年並か平年より高くなり、年平均気温が平年比＋1.7℃と高くなった。降水量は、1月が平年比40%と少なく、梅雨前線の影響で、6月が平年比160%であったが、年間積算降水量は平年比77%と平年より若干少なくなった。



気象庁気象統計データより

4 人 口

那須地方の人口は211,253人で県全体の約11%を占める。

	総 人 口		農 家 人 口		農家世帯率
	世帯数	人 口	農家数	人 口	
平成7年	61,608	208,938	11,761	60,087	19.1%
平成12年	69,783	216,851	11,058	54,898	15.8%
平成17年	75,534	220,740	10,361	48,646	13.7%
平成22年	81,325	222,167	9,648	36,289	11.9%
平成27年	82,925	217,522	8,773	29,789	10.6%
令和2年	86,356	211,253	7,697	22,834	8.9%
令和2年/平成27年	104%	97%	88%	77%	

* 平成12年から農家数は販売農家数と自給的農家数の合計、令和2年から農家人口は農業経営体の世帯員数
(資料) 総人口は国勢調査・農家人口は農林業センサス

第2 那須地域農業振興計画 2021～2025

1 地域農業・農村の現状と課題

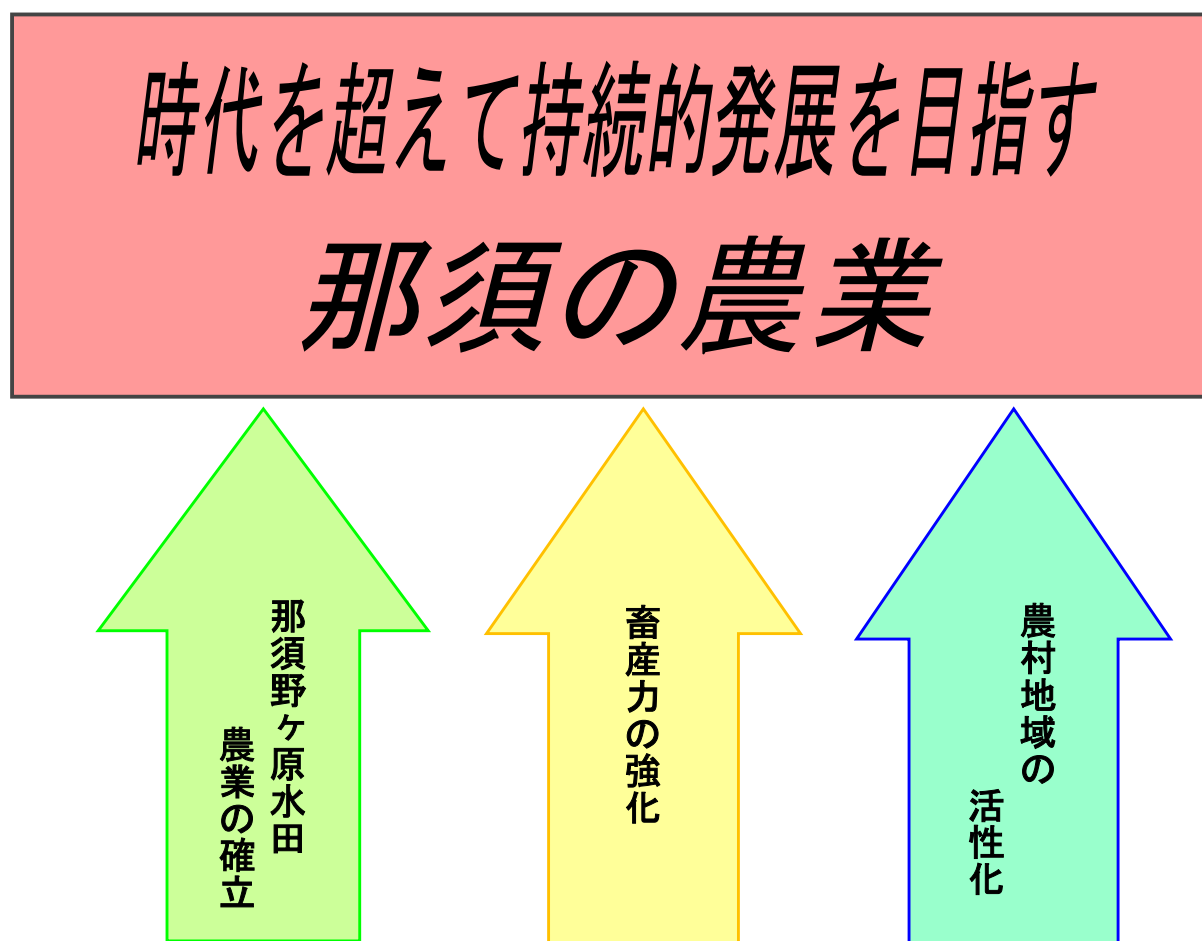
那須地域は、那須連山等の裾野域を中心に、酪農をはじめとする本州一の畜産基地が形成され、中南部の扇状地では、那須野ヶ原を代表とする広大な水田が広がり、米麦を中心とした大規模な土地利用型農業が盛んに営まれているほか、「那須の白美人ねぎ」や「那須の春香うど」などのブランド野菜など、地域に適した園芸生産が行われています。

一方で、水田農業においては、10ha以上の経営体の増加など一定の規模拡大が進んでいるものの、生産者の高齢化や後継者の不在などにより、地域の担い手不足が懸念されています。

畜産においては、農家1戸あたりの飼養頭数の増加に伴い、国際情勢に左右される飼料価格の変動等により経営が大きく影響されることから、効率的な飼養管理や飼料作物の生産拡大が必要となっています。

また、豊かな観光資源に恵まれ、観光客をターゲットとした紅茶やチーズ等6次産業化商品の開発及び地域の食・文化と結びつけた都市農村交流の取組が進んでいますが、さらなる誘客促進を図るため、那須地域の特徴ある取組の磨き上げや情報発信力の強化を進める必要があります。

2 計画の推進方向



3 地域戦略

地域戦略 1 那須野ヶ原水田農業の確立

対応方向

水稻＋ねぎなど那須地域にあった家族労力を中心とした安定複合経営の確立を支援するとともに、集落営農組織の連携や合併を推進し、経営強化を図ります。
また、土地利用型経営の所得向上を図るため、農地の大区画化や経営発展に合わせた先端技術の導入による作業の効率化及び良質・良食味米の産地である地域の特徴を生かした米のブランド化を推進します。

主な指標

項 目	現状(R2)	目標(R7)
○水田を活用した園芸生産者数	234名	⇒ 300名
○集落営農組織の合併（再編・連携・組織化）数	－	⇒ 3地区
○新たな水稻品種「とちぎの星」の導入面積	206ha	⇒ 400ha
○10ha以上の土地利用型経営体数	402経営体	⇒ 475経営体
○ほ場整備事業実施地区数	4地区	⇒ 8地区
○スマート農業技術導入経営体数	59経営体	⇒ 150経営体



広大な水田が広がる那須野ヶ原

取組方策

- 水稻＋ねぎなど地域にあった水稻＋園芸複合経営の確立
- 実需が求める良食味米生産技術の確立と省力・低コスト稲作技術の普及
- 人・農地プランでの話し合いによる担い手の確保・育成及び農地の集積・集約化

地域戦略 2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」

対応方向

水田における飼料作物の生産と利用を拡大して、耕畜連携による資源循環型農業を推進するとともに、飼養管理の省力化・効率化を図るためにスマート農業技術導入を推進するなど、畜産力の強化を図ります

主な指標

項 目	現状(R2)	目標(R7)
○スマート農業技術導入割合(経営体数)	9% (75経営体)	⇒ 17% (111経営体)
○規模拡大及び新規就農(参入)農家数	5戸	⇒ 20戸
○水田における飼料作物(稲WCS等含む)等栽培面積	4,587ha	⇒ 6,250ha



WCS 用稲の収穫

取組方策

- スマート農業技術導入による畜産力の強化・効率的な飼養管理技術の確立支援
- 規模拡大農家、新規就農者や新規参入者等担い手の確保・育成
- 生産基盤強化のため水田を活用した飼料作物の栽培利用の拡大

対応方向

那須地域の多彩な地域資源を最大限に生かした農村地域の活性化を図るため、農村拠点施設の機能強化等を支援するとともに、食を中心とした「農・宿・湯・遊」をつなぐ仕組みづくりと地域組織等の育成を進めます。

主な指標

項 目	現状(R2)	目標(R7)
○交流拠点施設利用者数	285万人	⇒ 380万人
○将来ビジョンを作成する拠点施設数	2施設	⇒ 7施設
○都市農村交流に取り組む地域組織数	6組織	⇒ 11組織



イベントでの菜の花プロジェクトPR

取組方針

- 拠点施設の機能の多様化と組織間連携等による農村拠点施設の機能強化
- 地域資源を生かした都市農村交流の促進に向けた組織の育成
- 新規就農者や農業後継者等による「仲間づくり拠点」の形成による魅力ある地域づくり活動の推進



4 令和5年度取組結果

(1) 地域戦略指標の達成状況

【概要】

令和5年度は、3つの地域戦略の12指標のうち8指標で目標値を達成したものの、農業資材価格高騰等の影響により、達成率が低い指標もあった。

特に、「スマート農業技術導入経営体数」の実績値は、目標値を上回り、効果的な取組が進められている。

今後とも、那須野ヶ原水田農業の確立、畜産力の強化、農村地域の活性化に向けて、各戦略課題の取組強化を図っていく。

地域戦略名	1 那須野ヶ原水田農業の確立
-------	----------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項 目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R5目標値に対する達成状況
水田を活用した園芸生産者数	名	234 (R2)	248 (R3)	262 (R4)	276 (R5)	290 (R6)	300 (R7)	91% △
			234	245	252			
新たな水稻品種「とちぎの星」の導入面積	ha	206 (R2)	240 (R3)	280 (R4)	320 (R5)	360 (R6)	400 (R7)	61% △
			325	138	196			
10ha以上の土地利用型経営体数	経営体	402 (R1)	416 (R3)	430 (R4)	445 (R5)	460 (R6)	475 (R7)	82% △
			360	363	366			
ほ場整備事業実施地区数	地区	4 (R2)	4 (R3)	4 (R4)	5 (R5)	7 (R6)	8 (R7)	100% ○
			4	4	5			
集落営農組織の合併数	地区	— (R2)	0 (R3)	1 (R4)	1 (R5)	2 (R6)	3 (R7)	100% ○
			1	1	1			
スマート農業技術導入経営体数	経営体	59 (R2)	76 (R3)	93 (R4)	111 (R5)	130 (R6)	150 (R7)	123% ◎
			113	117	136			

地域戦略名	2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
-------	---------------------------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項 目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R5目標値に対する達成状況
スマート農業技術導入割合 (経営体数)	%	9 (75戸) (R2)	10 (80戸) (R3)	11 (85戸) (R4)	12 (90戸) (R5)	16 (108戸) (R6)	17 (111戸) (R7)	125% ◎
			10 (80戸)	11 (85戸)	15 (105戸)			
規模拡大及び新規就農(参入) 農家数	戸	5 (R2)	8 (R3)	11 (R4)	14 (R5)	17 (R6)	20 (R7)	100% ○
			8	9	14			
水田における飼料作物(稲WCS等含む)等面積	ha	4,587 (R2)	4,620 (R3)	4,652 (R4)	4,679 (R5)	4,686 (R6)	4,700 (R7)	130% ◎
			5,182	6,135	6,080			

地域戦略名	3 地域資源を生かした農村地域の活性化
-------	---------------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項 目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R4目標値に対する達成状況
将来ビジョンを作成する拠点施設数	施設	2 (R2)	3 (R3)	4 (R4)	5 (R5)	6 (R6)	7 (R7)	100% ○
			3	5	5			
交流拠点施設利用者数	万人	300 (推定) (R2)	320 (R3)	340 (R4)	360 (R4)	370 (R6)	380 (R7)	95% △
		285	305	334	342 (推定)			
都市農村交流に取り組む地域組織数	組織	6 (R2)	7 (R3)	8 (R4)	9 (R5)	10 (R6)	11 (R7)	100% ○
			8	9	9			

R 5 目標値に対する達成状況集計表

記号	達成率	指標項目数	割 合	備 考
◎	115 %以上	3	25%	
○	100% 以上115% 未満	5	42%	
△	100 %未満	4	33%	
計		12	100%	

(2) 地域戦略の取組に係る課題と対応策

【概要】

- 那須地域農業振興計画の3地域戦略については、関係機関・団体との連携のもと、地域の特徴を活かした次の各種施策を展開し、着実に効果を上げている。
- 「水田農業の転換」については、土地利用型園芸を導入した安定複合経営を推進・支援するため、園芸作物導入研修会による新規栽培者の作付支援、露地ねぎ栽培講習会等の開催及びJ Aなすのねぎ選果施設運営委員会と連携したメガ産地育成の推進を行った。
- 「実需が求める良食味米の生産」については、良食味米生産に向けた技術対策の検討、大規模経営体の育成に向けた稲作超低コスト生産取組支援、認定農業者や青年農業者を対象としたスマート農業技術導入講習会等を実施し、食味向上及び省力栽培技術の推進を図った。
- 「畜産力の強化・効率的な飼養管理技術の確立支援」では、スマート農業技術導入状況の調査を行うとともに稲WCS専用品種の直播栽培技術実証による作付面積拡大に向けたドローンの導入推進を図った。
- 「飼料作物の栽培利用の拡大」では、「那須地方耕畜連携推進会議」を開催し、耕種農家における堆肥の活用や飼料生産の担い手確保等の推進を図った。
- 「地域資源を生かした都市農村交流の促進」については、地域活性化に取り組んでいる実践者・団体等の交流会を開催し、実践者同士のネットワークづくりや今後の展開に向けた情報交換を行った。



広域営農システム集落検討会



那須地方耕畜連携推進会議の開催



地域活性化取組実践者の交流会

地域戦略名	1 那須野ヶ原水田農業の確立
-------	----------------

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
○土地利用型園芸作物の導入推進による、新規栽培者の確保 (12名)	◇露地野菜の収量及び品質向上に向けた栽培講習会等の開催、有望品種の選定及び広報誌等を活用した普及啓発の実施
○アスパラガス選別施設活用による規模拡大モデルの作成	
○園芸メガ産地の育成支援によりメガ産地栽培面積が拡大 (8ha拡大)	◇J A生産部会と連携した新規栽培者の確保や規模拡大意向のある生産者への作付推進
○露地ねぎの安定生産講習会の開催による栽培面積拡大 (14ha拡大)	◇ねぎの選果作業委託による規模拡大を図るためJ Aなすのねぎ選果施設運営委員会と連携した園芸メガ産地の育成

主な取組状況（○）と課題（●）	課題への対応策
○実需が求める良食味米の生産に向け、特Aプロジェクトによる良食味生産技術の展示ほを8カ所設置 ○那須地域良食味米コンクールを開催、食味審査を消費者に依頼し最優秀賞を決定 ○スマート農業導入推進研修会を開催（5、7月）、自動操舵トラクター、ドローン等の新技術を紹介 ○大豆生産拡大推進のため、「大豆セミナー」を開催（6、2月） ○広域営農システムモデル地区で、農地活用のための座談会の開催を支援 ○ほ場整備計画地区3カ所において営農推進をサポートする「営農検討委員会」を開催（6月～1月） ● <u>地域農業の担い手確保及び水田農業の省力化・低コスト化の推進</u>	◇良食味米生産に向けた技術対策の検討と推進 ◇大規模経営体の育成に向けた省力化技術導入推進 ◇広域営農システムの推進による地域農業の担い手の確保・育成 ◇農地集積計画の策定やほ場整備計画作成に向けた支援 ◇次世代型生産基盤技術の導入や農地の区画拡大など、スマート農業に対応した条件整備の推進

地域戦略名	2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
-------	---------------------------------

主な取組状況（○）と課題（●）	課題への対応策
○ドローンを活用したWCS用稲極短穂茎葉型品種の直播栽培技術実証（5月～2月） ○畜産公共事業参画予定農家9戸への事業説明・聞き取り調査実施により規模拡大を推進（8月～9月） ○各種会議等における関係機関と連携した就農者情報の収集徹底 ○稲WCS専用品種に関するセミナーを開催し（12月）、利用促進資料を配布（3月） ○「那須地方耕畜連携推進会議」を開催し、耕種農家における堆肥の活用や飼料生産の担い手確保等について関係機関で協議（9月、2月） ● <u>飼料生産の作業担い手（コントラクター等）の規模拡大及び新規担い手確保の推進</u>	◇自給飼料増産に向けたドローン等のスマート技術の導入推進 ◇有効性検討により農家へ情報提供を行う ◇畜産公共、畜産クラスター事業等を活用した基盤強化の支援 ◇新規就農者への就農計画等の立案の就農支援 ◇新たに稲WCS専用品種の栽培や給与を行う農家に対しての技術指導 ◇堆肥利用組織や飼料生産の担い手に対して、機械導入による規模拡大を支援 ◇飼料生産の担い手に対して、作付品種・品質管理、拡大計画等の指導を実施

地域戦略名	3 地域資源を生かした農村地域の活性化
-------	---------------------

主な取組状況（○）と課題（●）	課題への対応策
○東山道伊王野の法人化に伴う組織体制・機能強化支援、友愛の森・明治の森黒磯の再整備後の新規直売所、農村レストランのオープン準備・運営支援	◇関係機関及び運営会社と情報共有し、必要に応じて事業等活用しながら引き続き支援を継続する
○主要な農村拠点施設の課題に合わせた支援	◇農産物直売所や農村レストランのよりよい店づくりの取組に対する支援を継続
○各直売所における「農薬適正使用による農産物の安全性確保に向けたルール」の確実な実施に向けた支援	◇各直売所におけるルール運用上の課題に対応した個別支援
○コロナ期間に停滞した対面のつながりを復活させ地域活性化実践者・団体の横の連携強化を目的とした交流会を実施	◇引き続き地域活性化実践者・団体等の交流機会を作り、情報共有や連携を活性化させる取組を継続する
○6次化実践農家のステップアップ支援	◇6次産業化に係るアドバイザー派遣を通じたブランド化、新商品開発支援
○都市農村交流に取組む（志向する）組織・人材の把握	◇市町及び多面的機能・中山間取組地域等の状況把握を行い、新規取組者の掘り起こしを継続



地域の将来を考える集落座談会



6次化アドバイザー派遣

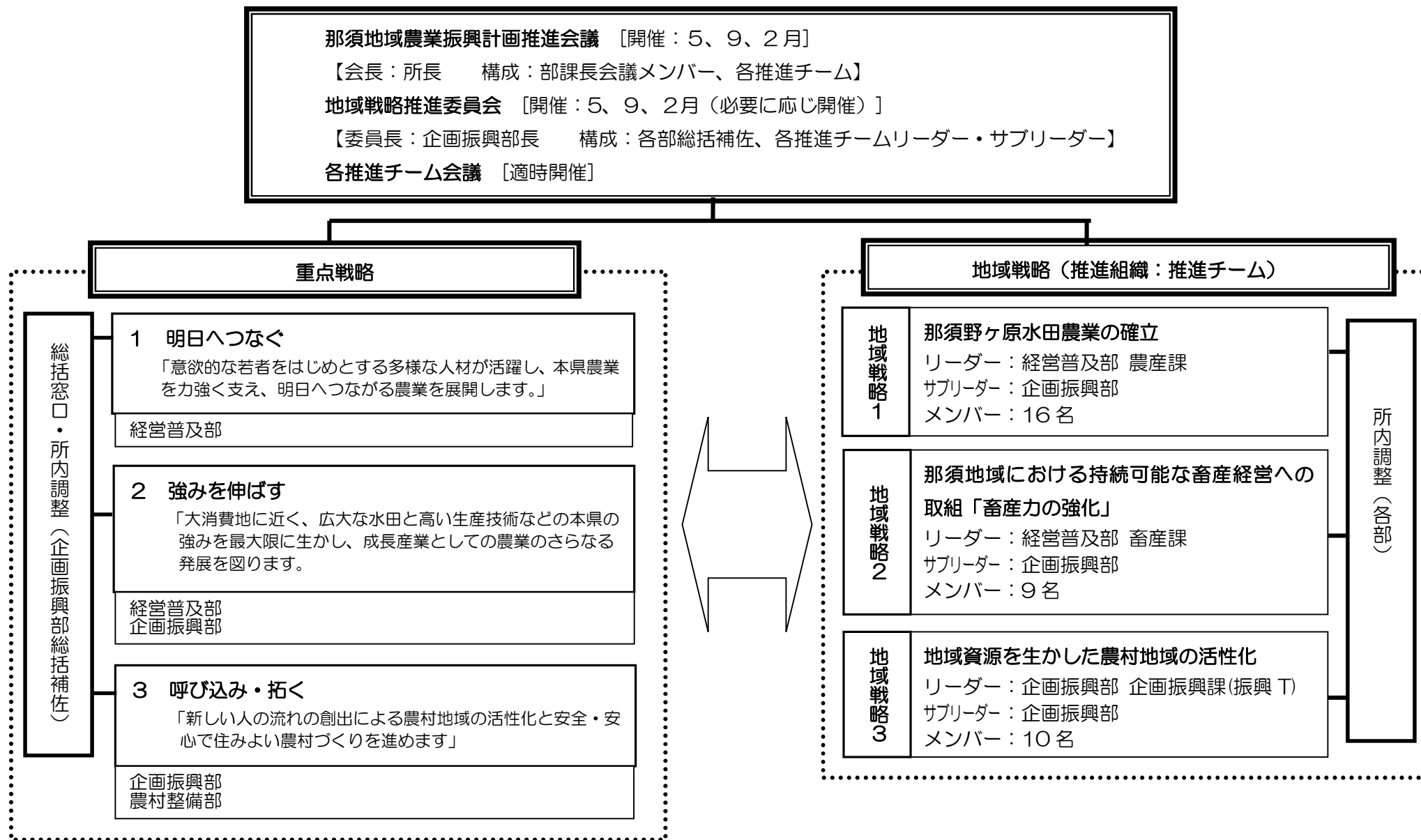


土地利用型園芸の推進
(ねぎ：園芸作物導入研修会)



ドローンによるWCS用稲の直播

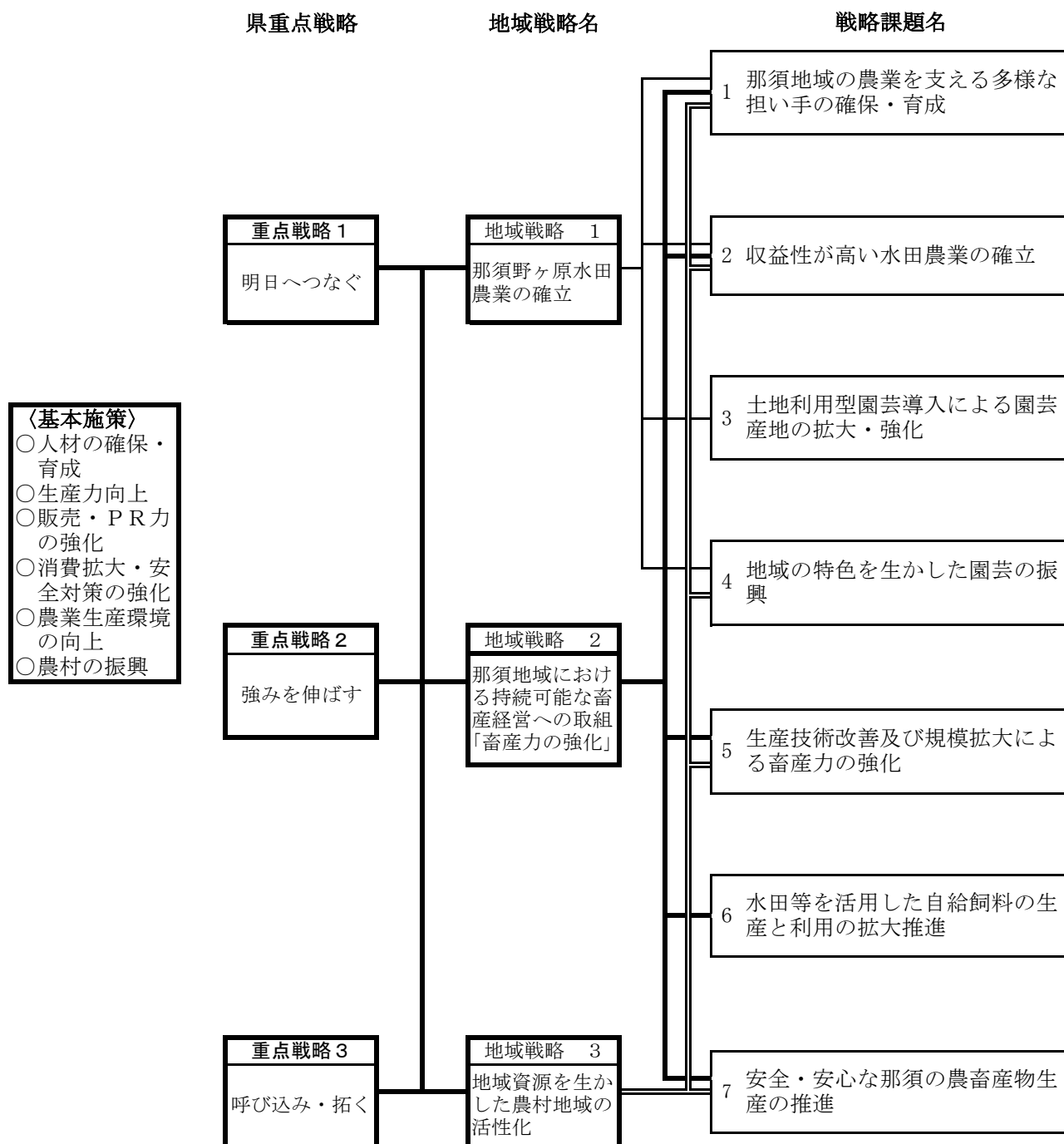
5 那須農業振興事務所地域戦略の推進体制（令和5年度）



第3 那須地方の普及活動のまとめ

1 令和5年度課題体系図

≪ 基本目標：成長産業として持続的に発展する農業・栃木 ≫



2 活動経過及び成果

課題1 地域農業を支える多様な担い手の確保・育成

【新規就農者の確保・育成】

1 取組の背景

那須地方の永続的な農業発展のためには、関係機関・団体が一体となって新規就農者等の確保・育成を図る必要がある。また、青年農業者で組織される青少年クラブは、クラブ員数の減少やそれに伴う活動停滞が課題となっている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 就農支援体制及び研修体制の強化による青年新規就農者の確保

就農支援ネットワーク会議をととして就農支援情報や施策の共有化を図り、就農希望者各々の要望や就農準備段階に応じた相談対応に関係機関・団体と連携して実施した。また、8月、10月、2月には関係機関・団体と協力し、那須地域就農相談会や現地見学会を開催するなど、就農希望者の掘り起こしや就農に対するイメージ作りを支援した。さらに、令和5年2月に設立された新規就農支援協議会に対して運営支援を行い、令和6年度研修生3名を確保するとともに、次年度に向けた事前研修として、約1週間の短期研修を実施した。教育機関との連携では、県農業大学校学生や那須拓陽高校生徒との面談を行うなど、就農意欲の醸成に取り組んだ。

(2) 青少年クラブ組織活動支援及び専門部活動支援

青少年クラブ員や新規就農者及び農業次世代人材投資資金交付対象者等を対象に、新規就農コンサル事業を実施し、個別指導や各種セミナーの開催による経営、技術の改善を図った。また、青年農業者の個別経営課題解決に向けたプロジェクト活動を支援し、実績意見発表会において2課題の発表が行われた。



那須地方就農相談会(現地見学会)



短期研修

【活動実績】

項 目	R2※	R3	R4	R5	R6	R7	R 7 目標値
新規自営就農者のうち青年新規就農者数	164 名	25 名	30 名	16 名			175 名 (35 名／年)
プロジェクト発表数	13 課題	3 課題	4 課題	2 課題			15 課題 (3 課題／年)

※ H28～R2 の累計 R3～R7 は単年度

3 今後の展開方向と課題

(1) 就農支援ネットワーク会議及び新規就農支援協議会等の機能発揮による新規就農者の確保

就農支援ネットワーク会議の機能強化を図るとともに、現地見学会や地域内外での就農相談会への参加を促し、多様な担い手の確保を図る。また、新規就農支援協議会を始めとする管内研修制度の運営を支援するとともに、就農希望者に対して技術習得に向けたサポートを実施する。

(2) 支援体制の強化による効果的な青年農業者の育成

新規就農者、青年農業者等を対象とした新規就農コンサル事業（個別支援・各種セミナー）を開催するとともに、個別経営課題解決に向けたプロジェクト活動を支援することで、青年農業者の経営・技術改善と資質向上を図り、将来の地域農業を担う人材を育成する。

【女性農業者の育成】

1 取組の背景

「第5期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」に基づき、パートナーシップに基づく経営の推進、次世代女性農業経営者の育成を図ってきたが、活力ある農村形成のためには、これまで以上に女性農業者の活躍が重要となっている。農村女性が農業経営や農村社会において力を最大限に発揮し、魅力ある農業経営と農村生活を目指した活動に取り組めるよう、環境づくりや組織活動の支援を行っている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 男女共同参画意識の高い農業者の育成

農村女性会議役員を対象に「農業女子から地域に広がる新たなつながり」と題して、ココマルシェ会手塚尚美氏を講師に男女共同参画推進研修会を実施し、女性リーダーの資質向上を図った。

また、新型コロナウイルス感染拡大により開催が休止されていた「関東ブロック先進的農村女性交流交換会」が宇都宮市ライトキューブ宇都宮他で開催され、大田原市農業委員 Team あゆみが活動報告したほか、那須管内から参加した5名が関東・甲信ブロックの農村女性と意見を交換した。

女性を含む家族経営協定締結数は、協定内容の見直しや新規締結で一定数の増加がみられたが、認定農業者の45%程度である。

(2) 次世代を担う女性農業者の確保・育成

農業経営に参画して比較的経験の浅い女性農業者を対象とし、スタートアップ講座を開催した。今年度は、新規就農者へも参加を募り、国際医療福祉大学糸数教授から「農作業の正しい姿勢と体のほぐし方」とし、腰痛など体を痛めないための知識と、予防のためのストレッチを実習した。また、「農場紹介カードづくり」を行い、自らの農業経営の発信力の向上を図る講座も開催した。

ロールモデルとなる農村女性の育成を目的として、農業経営に参画している女性農業者向けのアクティブ講座を実施した。今年度は、女性酪農業者組織「カウベル」を対象に仔牛の哺育管理技術について情報交換会を行ったほか、会員牧場の見学を行い、会員同士の意見や知識の交換を積極的に行い、意欲の向上を図ることができた。



男女共同参画推進研修会



スタートアップ講座



アクティブ講座（酪農）

【活動実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6	R7 目標値
男性受講者の割合	—	7 % (3 %)	11 % (5 %)	10 % (10 %)	(15 %)	(20 %)
女性を含む家族経営協定締結数	20 件/年	10 件/年 (30 件/年)	13 件/年 (30 件/年)	13 件/年 (30 件/年)	(30 件/年)	(30 件/年)
新規女性農業者研修受講者数	—	12 名 (5 名/年)	21 名 (5 名/年)	5 名 (5 名/年)	(5 名/年)	(5 名/年)

3 今後の展開方向と課題

(1) 男性の男女共同参画意識向上に向け、男性農業者の理解促進を図る。

(2) 次代の地域農業を担う幅広い人材の確保・育成に向け、若手女性農業者が農業経営に円滑に参画できる環境整備・支援を行う。

【効率的かつ安定的な経営体の確保・育成】

1 取組の背景

地域農業及び農地の維持に向けて、認定農業者、集落営農組織等の担い手の育成・確保を推進してきたが、高齢化と後継者不在のため、個別・組織の担い手数が減少している。そのため、広域で営農を担う経営体を確保・育成するとともに、地域住民等も参画し地域営農を支えていく「広域営農システム」づくりを推進する必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) 効率的で持続性の高い経営体の確保・育成

経営改善計画作成に係る助言、経営改善情報誌「Fight!」の発行（2回）、経営高度化個別相談会の開催（2回）による経営継承の相談、複式簿記基礎講座、パソコン簿記講座による経営管理能力の向上を図ってきたが、高齢化等で経営面積を縮小する担い手もあり、10 ha以上の経営体数は、ほとんど変化がなかった。



複式簿記基礎講座

(2) 経営体・集落営農組織の法人化推進

法人化志向経営体の個別巡回や経営相談会での税理士等からの助言、専門家派遣事業の実施により、法人化までの体系的な支援を行った結果、4経営体が法人となった。

(3) 集落営農組織の再編推進

管内の既存集落営農組織（20組織）の意向調査の結果、15組織は構成員の高齢化が進み、後継者確保の見通しが立っていない。また、1組織は組織外からの作業受託の受け入れ、1組織は組織内構成員の法人化を検討する動きがあり、今後、組織の再編等に向けた支援が必要となっている。

(4) 広域営農システムの推進

管内の3モデル地域（北滝・片田、下大貫、桜久保及び周辺地域）での広域営農システム構築を推進した。北滝・片田では農用地利用組合が設立され、下大貫では機構集積協力金事業を推進し、1集落営農法人及び10戸の中心経営体に集落内の約7割の農地が集積された。

【活動実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値
10ha以上の経営体数	402※ ¹	363※ ¹	366	—※ ³			475
法人経営体数（注）	125（4）※ ²	128（6）	130（6）	134（6）			140（8）
意向確認組織数	20	20	20	20			20
広域営農システムモデル地域選定	0	3	3	3			3
新規集落営農組織の育成	0	0	0	0			2

※1：R2は相対による貸借（自己申告）を含めてカウント。R3以降は中間管理事業等による貸借のみでカウント

※2：（ ）内は集落営農法人数 ※3：R5の結果はR6、6月に集計

3 今後の展開方向と課題

- (1) 那須地域の土地利用型経営（耕種）の育成すべき経営体モデルを30 ha以上（農業所得1,500万円・労働力2.5人）とし、法人化、雇用環境の改善等による経営発展を支援するとともに、規模拡大志向担い手に対し、スマート農業技術や直播等の省力技術の導入、主食用米以外の作物の作付拡大による経営規模拡大を支援する。
- (2) 経営改善計画や資金計画等から法人化を志向する経営体を把握し、個別巡回等による意向確認や、経営相談会への誘導、専門家派遣による法人化支援を行う。
- (3) 広域営農システムモデル地域については、担い手組織の再編（北滝・片田）、担い手間の農地利用調整（下大貫周辺）、将来ビジョンの作成（桜久保周辺）に向けた支援を行う。また、地域計画策定の話合いの中で情報収集を行い、新たなモデル地域の選定を進める。

課題2 収益性が高い水田農業の確立

1 取組の背景

(一財)日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて、R5 年産「栃木県北コシヒカリ」が特A評価を獲得するなど那須地域は良食味米の産地であるが、「良食味米産地」だけでは水稻生産者の経営維持・拡大が難しくなりつつある。また、近年夏季の異常高温により、主力品種コシヒカリの品質・等級が低下している。これらの課題を解決するため、食味向上要因の解析と技術普及、産地PRのための良食味米コンクールの開催、登熟期間の高温に強い「とちぎの星」の作付けを推進する。

一方で、経営安定のために主食用米から他作物への転換、特に麦・大豆の作付け拡大を推進していく必要があるが、異常気象で収量品質が左右されやすい現在の栽培様式の改善が必要である。

同時に、機械作業が多い土地利用型農業においても、農業者の高齢化や後継者不足の影響は大きく、オペレータ等の労働力不足により、さらなる経営の発展が難しくなりつつあることから、スマート農業技術や省力・低コスト栽培技術を導入した大規模経営体の育成が急務である。

2 普及活動の経過と成果

(1) 高品質な良食味生産技術の導入

良食味米生産のための展示ほを管内8カ所に設置し、特A評価の獲得に向け、関係機関・団体と連携した栽培技術指導を行った。R5 年産は「コシヒカリ」が特A、「なすひかり」がA評価となった。

(2) 売れる米づくりの推進と産地PR

第10回那須地域良食味米コンクールに58点の応募があった。最終審査では、県内外の消費者5組、とちぎフレッシュメイト及び管内若手耕種農業者5名が食味審査を行い、開催した3部門からそれぞれ最優秀賞を選出した。また、「とちぎの星」の作付けを推進した結果、主食用米の作付面積は196haとなった。

(3) 麦・大豆の高品質化

二条大麦について講習会・現地検討会・啓発資料等で高品質安定生産に向けて指導した。R5 年産の単収は、前年比111%の368kg/10aとなった。大豆について作付推進セミナーを6月と2月に開催し、合計100名の参加があった。

(4) 省力・低コスト化稲作生産技術の普及

スマート農業研修会を7月に開催し、36名が参加した。超低コスト水稻生産に向け、前年スマート農業技術を導入した3経営体の指導等を行い、経営改善効果を確認した。



那須地方大豆セミナー

【活動実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6	R7目標値
食味ランキング評価（コシヒカリ、なすひかり）	A	特A※	A	特A※		特A
「とちぎの星」生産面積（ha）	206	325	138	196		400
二条大麦の単収（kg/10a）	365	386	332	368		383
大豆の単収（kg/10a）	181	164	170	139		199
スマート農業技術導入経営体（耕種農家：戸）	24	64	73	86		97

※：R3, R5の特Aはコシヒカリのみ（なすひかりはA評価）

3 今後の展開方向と課題

(1) 展示ほの設置による良食味米生産の技術支援と「特Aプロジェクト」の充実強化を図るとともに、那須地域良食味米コンクールを開催し、県内外へ良食味米産地をPRする。

(2) 主食用米の需要は減少しているが、他品種から「とちぎの星」への作付転換を図る。

(3) 麦・大豆ともに作付面積は減少傾向の中、異常気象、湿害や連作障害等により収量・品質が不安定となっているため、展示ほ等を活用しながら技術支援を行い収量・品質の向上を図る。

(4) スマート農業技術の導入推進に向け、事例紹介や各種補助事業の活用を積極的に支援し、水稻経営のさらなる低コスト化を推進する。

課題3 土地利用型園芸導入による園芸産地の拡大・強化

1 取組の背景

那須地域は、県内有数の広大な水田が広がり、大規模な土地利用型農業が展開され、主食用米の他、転作作物として麦、大豆、飼料用作物及び園芸の産地が形成されている。特に園芸では、米麦との複合で取り組む農家が多く、水田を活用した土地利用型園芸品目では、ねぎ、うど、なす等が産地化されている。近年、米の需要減少が続く中、県内有数の広大な水田の活用方策について、更なる工夫、取組が必要となっている。

2 普及活動の経過と成果

- (1) 土地利用型園芸品目新規栽培者の確保
園芸作物導入研修会を6回開催し、管内の土地利用型園芸作物の取組事例調査を実施した結果、本年度は、馬鈴薯1戸、夏秋なす2戸、加工トマト3戸が新たに栽培を開始した。
- (2) 露地ねぎの安定生産技術向上と産地拡大
メガ産地の構想達成に向け、ねぎ部会及びねぎ選果施設運営委員会に対し、ねぎ選果施設を軸とした産地基盤強化に向けた作付推進や栽培技術指導を行った結果、栽培面積は114 haへと拡大した。
- (3) うどの高品質多収技術の確立
株養成時や伏せ込み時に栽培技術指導を実施したことで収量性が向上した。
- (4) モデル産地の規模拡大による生産安定
モデル産地（JA なすのたまねぎ部会、(合)マルホファーム、(株)那須ハートフルファーム）に対して、構想達成に向けた作付拡大及び栽培技術支援を行い栽培面積の拡大に繋げた。
- (5) 土地利用型野菜導入による新たなモデル産地の育成
新たな産地モデルの掘り起こしとして、関係機関、団体と情報共有に努め、候補となる経営体の現状把握を行なったが、本年度、新たなモデル産地の確保には至らなかった。



園芸作物導入研修会の様子（左：ねぎ、ドローン、右：キャベツ）

【活動実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6	R7目標値
土地利用型園芸新規栽培者（戸）※	77	89	104	110		157
露地ねぎ栽培面積（ha）	83	90.5	100	114		130
山うど平均単収（kg/10a）	728	763	688	725		775
軟化うど平均単収（kg/10a）	1,306	1,137	1,132	1,251		1,350
JAなすのたまねぎ部会 栽培面積（ha）	4.6	5.6	4.4	4.6		10
マルホファーム 栽培面積（ha）	－	2.4	4.8	6.1		8
那須ハートフルファーム 栽培面積（ha）	－	－	6.0	7.3		8
新たなモデル産地の育成数※	3	4	5	5		6

※ 累計数

3 今後の展開方向と課題

- (1) 土地利用型園芸作物の推進及び新規栽培者の確保・育成のため関係機関・団体と連携し、土地利用型園芸作物の導入推進を行うとともに、新規栽培者の定着・育成、栽培技術の向上のため支援を継続する。
- (2) 露地ねぎの産地拡大及びメガ産地を育成するため、安定的な周年出荷に向けて夏ねぎ（7月どり）の導入推進を行うとともに、有望品種の選定など安定生産のための技術支援を行う。
- (3) 土地利用型園芸導入による新たなモデル産地の掘り起こし及び既存モデル産地の基本構想達成に向けた各種支援を継続する。

課題4 那須地域の特徴を生かした園芸の振興

1 取組の背景

那須地方の施設園芸は、いちご、アスパラガス、トマト、にらで、主要園芸品目販売額の約43%を占めている。近年は、環境モニタリング機器を導入し栽培管理に活用する農家が増えており、更なる導入促進と活用技術の普及が必要である。また、既存園芸産地の高齢化が進む中、JA園芸部会による新規栽培者確保と新規栽培者への技術支援として新規就農支援協議会の取組が始まった。なお、農家後継者、担い手確保とあわせて、産地維持拡大のための基盤強化が必要である。

2 普及活動の経過と成果

(1) 新規栽培者の確保・育成

関係機関、団体と連携し、就農相談や栽培推進等を実施した結果、アスパラガス6名、いちご2名の新規栽培者を確保した。

(2) アスパラガスの産地拡大支援

作付拡大の推進により栽培面積は58haとなり、令和5年産の販売額は10億円を達成した。また、安定した収量を確保するための技術支援を行った。

(3) いちごの安定生産・収量向上支援

栽培講習会等で「とちあいか」の品種特性の周知・適正管理指導、実証展示ほの成果を基に周知による障害果発生軽減対策に取り組んだ結果、「とちあいか」の令和5年産単収は5.0t/10aとなった。また、令和6年産の栽培者数は62戸14.4haに増加した。

(4) トマトの環境制御技術導入による品質収量向上

栽培講習会などにおいて炭酸ガス施用効果事例の紹介や、個別巡回などを行った結果、冬春トマトの単収は6.3t/10aとなった。

(5) にら単収向上による経営安定

「ゆめみどり」の管理技術指導により単収が1.5t/10aとなった。

(6) 輪ぎくの秀品率向上

土壌診断に基づく栽培管理等の指導により秀品率が40.3%となった。

(7) なしの改植と樹勢強化による生産性の向上

樹勢強化や改植の必要性の理解促進を図ることと樹勢強化技術導入数は11戸となった。

3 今後の展開方向と課題

(1) 就農支援ネットワーク会議や、関係機関等との連携により、園芸導入志向者に対し、個々の状況に合わせた支援・指導を行う。

(2) アスパラガスの新規栽培者の確保・育成と既存栽培者の作付拡大など、選別施設の活用による産地拡大に向けた取り組みを実施する。

(3) いちご王国・栃木戦略の目標達成に向けて、「とちあいか」の導入推進を図るとともに、新規栽培者等を対象とした重点指導を行い、収量・品質の高位平準化を図る。

(4) 冬春トマトの収量・品質向上のため、新品種や新技術の導入などによる経営改善の支援を行う。

(5) 那須管内に適したにらの栽培体系を確立する。

(6) 輪ぎくの高品質安定安定を目指し、秀品率が低下する夏期の高温対策を支援する。

(7) 改植によるなしの収量性向上と青年農業者の資質向上のため、デジタル技術を活用した栽培指導や技術セミナーの開催等により、早期成園化技術及び樹勢強化技術の定着を図る。



アスパラほ場見学会

【活動実績】

項 目	R2	R5	R7 目標値
新規栽培者数(戸)	2	9	17
アスパラガス面積 (ha)	53	58	58
アスパラガス単収(t/10a)	1.5	1.5	1.7
とちあいか作付面積 (ha)	0.6	14.4	17.0
とちあいか単収 (t/10a)	3.9	5.0	6.6
冬春トマト単収 (t/10a)	6.2	6.3	8.0
にら単収 (t/10a)	1.3	1.5	2.0
輪ぎく秀品率(8~9月)(%)	43.2	40.3	46.0
なし樹勢強化技術導入数(戸)	1	11	11

課題5 生産技術改善及び規模拡大による畜産力の強化

1 取組の背景

畜産経営は、輸入飼料価格の高騰や、経済状況による畜産物の需要低迷により収益が低下しており、また、那須地域の畜産農家戸数も減少傾向にある。そのため、収益性の改善や担い手確保、労働費の低減が課題となっている。一方で、畜産の生産基盤確保を図るための技術として、水田を利用した稲 WCS の生産や、スマート農業による省力化などへの関心が高まるとともに、耕畜連携による資源循環農業の推進も求められている。そこで、生産性の向上や高品質の畜産物生産を目指し、先進的な技術の普及定着による畜産力の強化に取り組んでいる。

2 普及活動の経過と成果

(1) 生産技術改善及び効率化による生産力強化

スマート農業推進として、自給飼料生産におけるドローンを活用した WCS 用稲直播及び稲立毛状態での牧草播種の実証を行い、自給飼料生産の省力化を推進した。また、監視カメラ等のセンシング技術導入状況調査を行い、導入効果を検証した。

酪農分野では、牛群検定組合を対象として飼料用とうもろこしの増産指導に取り組んだ。播種前の圃場管理、土壌分析、雑草防除から収穫後の不良発酵に伴う損失防止のためのサイロ管理まで、一連の自給飼料生産技術に対する指導を実施し、内容を牛群検定組合の広報誌等に掲載した。また、黒磯牛群検定組合調査研究班の活動を支援し、繁殖成績の年間ランキング上位の5牧場について調査し、その結果についてとりまとめ、資料提供(50戸)した。

肉牛分野では、和牛繁殖経営の若手生産者組織(那須塩原市子牛研究会)に対して、出荷牛の発育調査及び飼養管理指導を実施し、生産技術の高位平準化を図った。また、那須和牛の産肉成績向上のため、J A、家保及び畜酪研と連携し、血液分析や超音波肉質診断による肥育農家の巡回指導を行い、肥育技術向上を図った。



牛群検定組合ほ場のとうもろこし収量調査



肥育牛の超音波肉質診断

(2) 規模拡大や新規就農・新規参入者の確保・育成による生産力の強化

規模拡大志向農家に対し施設整備等による規模拡大・環境対策の計画策定を支援し、国庫事業への参画を促した。(公共事業11戸、畜産環境対策総合事業(3協議会))

【活動実績】

項 目	現状 R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 目標値
スマート農業技術導入農家戸数(戸)	75	80	85	105			111
枝肉格付け AB45率(%)	89.6	94.0	97.5	97.0			95.0
検定乳量(kg)	10,429	10,604	10,620	10,563			10,629
規模拡大及び新規就農(参入)農家 戸数(戸)	5	8	9	14			20

3 今後の展開方向と課題

- (1) スマート農業技術導入は、資金面を考慮し、最新技術の把握と情報発信に努める。
- (2) 関係機関と連携した新規就農者情報の確保と支援に努める。持続的な畜産経営の発展のために粗飼料基盤拡大や畜産環境対策の実施に対して支援を行う。

課題6 水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進

1 取組の背景

那須地域は栃木県全体の畜産農家戸数の約5割を有する畜産地帯であるが、近年の飼料高騰などから、持続可能で安定した畜産経営を行うために飼料自給率の向上が求められている。特に那須地域は広大な水田を有するため、これを活用して飼料作物の栽培及び利用を促進することが期待できる。しかし、飼料増産には収穫・調整の担い手確保が課題であり、今後、コントラクター等の作業受託組織を確保・育成し、作付面積拡大のための取組みを推進する必要がある。

一方、大規模畜産経営体の進出によりほ場の確保が困難になる中、限られた面積を有効に活用し単収を向上させることが求められており、堆肥の有効活用による肥料費の削減や、適正な農薬使用による雑草防除対策、サイレージの品質向上等による飼料の生産性・利用性の向上を図る必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) 耕畜連携による持続可能な畜産経営の推進

WCS 用稲の作付面積拡大を図るため、WCS 専用品種である「つきあやか」の省力的栽培技術の実証展示ほを設置し、GPS 付走行アシスト付播種機やドローンを活用した直播栽培の実証を行うとともに、現地検討会やセミナーを開催し、耕種農家や畜産農家、関係機関・団体に技術の導入を推進した。

また、稲 WCS 生産農家と利用畜産農家で構成された生産組織に対し、稲 WCS の品質対策や低コスト生産の技術指導を行った。

(2) コントラクター組織等の取組み支援

コントラクター組織の現状を把握するとともに、各組織の課題に対し、作付品種や栽培管理・収穫調整の指導を行うとともに、収穫機械導入を支援し、請負面積の拡大を支援した。

(3) 単収向上に向けた取組

自給飼料生産農家に対し、飼料用とうもろこしやイタリアンライグラス等の奨励品種の作付を推進した、また、適期での播種や雑草防除を行うよう生産計画を見直すとともに、減肥や堆肥の利用など、生産費削減につながる栽培方法を指導した。

WCS 用稲や牧草生産においてドローン活用法や有効性等を調査し情報提供した。また近年の夏季の高温を利用し、飼料用とうもろこしの二期作等の新たな技術を調査し現場への導入を検討した。



WCS 用稲展示ほの現地検討会



稲 WCS 生産農家と酪農家の打合せ

【活動実績】

項 目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値
水田における飼料作物栽培面積 (ha)	4,587	5,230	6,135	6,080			6,250
WCS用稲作付面積における専用品種の割合 (%)	25	29	25	24			31

3 今後の展開方向と課題

- (1) 稲 WCS の需要を安定して確保するため、畜産農家に対して専用品種の稲 WCS の有用性を周知し、耕種農家に対して畜産農家が求める稲 WCS の特徴と専用品種による高品質な WCS 栽培技術の指導を行う。
- (2) 拡大意欲のあるコントラクター組織に対して、作業計画の作成を支援するとともに、機械体系や品種を見直し効率的な作業体系について指導する。
- (3) 飼料生産コスト低減及び面積あたりの生産量増加のため、低収量の要因を把握し、ほ場の特性に基づいた肥培管理や作業体系を周知する。また飼料用とうもろこしに二期作や雑草の発生等、温暖化が飼料作物生産に及ぼす影響を調査する。

課題 7 安全・安心な那須の農畜産物生産の推進

1 取組の背景

管内農業の持続的な発展や産地の信頼性を確保するためには、農薬の適正使用による「農産物の安全」確保に加え、「環境の保全」、「作業者の安全」につなげるGAPの取組を進める必要がある。

また、管内は放射性物質の農畜産物への影響が解消されておらず、吸収抑制対策や牧草等の給与前検査に基づく飼養管理指導を継続する必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) GAPの取組推進

GAP導入のための農場点検の理解促進を図るため、部会組織等に対し講習会等を実施するとともに、各組織の役員への働きかけを行った結果、農場点検休止組織2組織が農場点検を実施した。また、直売所等に対して「農薬適正使用による農産物の安全性確保に向けたルール」策定を支援し、新たに3カ所の直売所でルール策定が行われた。

(2) とちぎグリーン農業の推進（みどりの食料システム戦略の推進）

とちぎグリーン農業推進方針への理解促進のために認定農業者や栃木県農業士向け研修会や、環境保全型農業直接支払事業取組組織やエコファーマーに対し、みどり認定について説明会を行い、水稻生産者やJAなすのアスパラ部会等の106名がみどり認定を受けた。また、市町の実情に合わせたグリーン農業の取組を推進し、3市町に地域協議会が設置された。

環境保全型農業直接支払交付金を活用し、化学肥料施用量及び化学合成農薬成分回数の5割低減の取組を推進した。その結果、同交付金に84組織が取り組み、取組面積は163,449aとなった。

【活動実績】

環境保全型農業直接支払交付金の取組実績（面積：a）

市町名	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積
大田原市	14	13,836	14	15,807	14	12,816	13	16,017	14	17,928
那須塩原市	41	119,651	40	115,412	40	110,965	38	94,795	38	100,861
那須町	32	42,204	34	43,178	34	42,236	33	42,637	34	45,188
計	87	175,691	88	174,397	88	166,017	84	153,449	84	163,449

(3) 放射性物質対策の推進

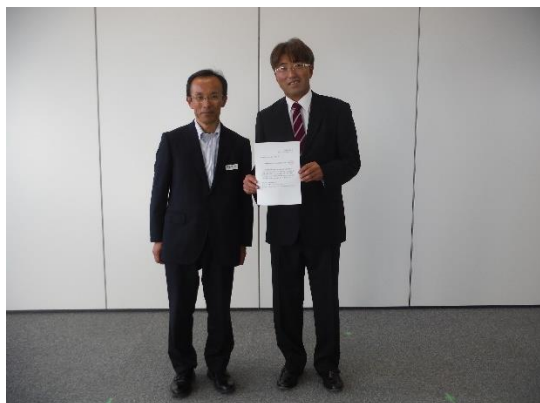
大豆、そばへの放射性物質吸収抑制対策の推進を行った。また、895点（R6.3.22時点）の牧草等の給与前検査を実施し、検査結果に基づく飼養管理指導を行った。

3 今後の方向・課題

(1) 農業者及び生産者組織（JA部会等）に対し、GAPの精度向上及び定着のための農場点検や、県による第三者確認の支援、JGAP等の国際水準GAPの継続取得を支援する。

(2) みどり認定の申請や環境保全型農業直接支払交付金の取組拡大により、環境負荷の低減と収益性の向上の両立した取組の拡大を目指す。

(3) 放射性物質吸収抑制対策の推進及び牧草等の給与前検査に基づく飼養管理指導を継続して実施する。また、安全な畜産物の生産のため、飼養管理状況の確認及び出荷指導を継続して実施する。



みどり認定管内1号(澤田農園)

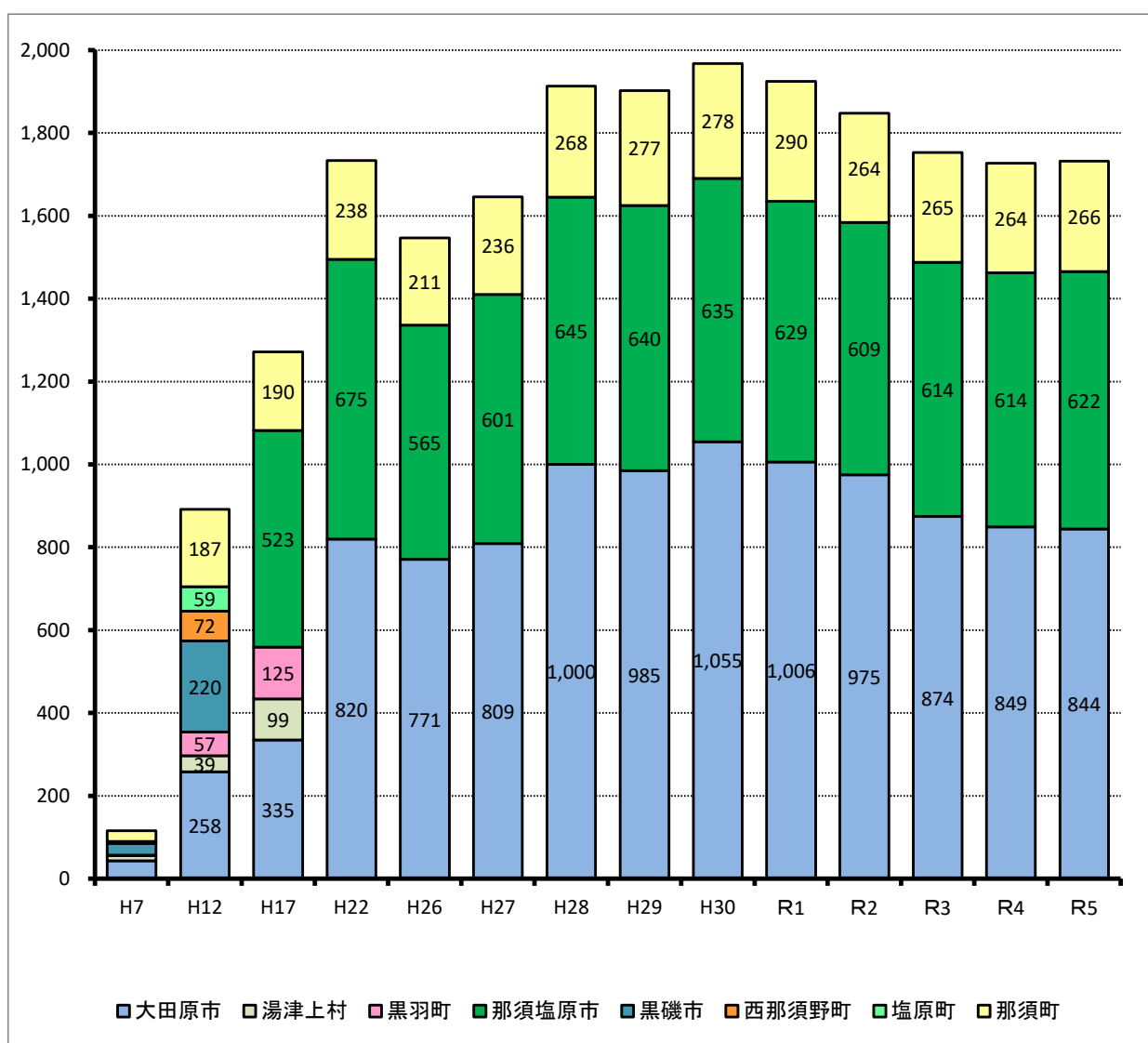


那須地域グリーン農業研修会

3 管内認定農業者の動き

	H7	H12	H17	H22	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
大田原市	43	258	335	820	771	809	1,000	985	1,055	1,006	975	874	849	844
湯津上村	13	39	99	大田原市へ										
黒羽町	1	57	125											
那須塩原市	那須塩原市へ		523	675	565	601	645	640	635	629	609	614	614	622
黒磯市			28	220	那須塩原市へ									
西那須野町			4	72										
塩原町			1	59										
那須町	26	187	190	238	211	236	268	277	278	290	264	265	264	266
管内計	116	892	1,272	1,733	1,547	1,646	1,913	1,902	1,968	1,925	1,848	1,753	1,727	1,732
県合計	419	4,374	5,487	7,523	6,783	6,654	7,295	8,045	8,192	8,148	7,925	7,669	7,638	7,655
県に占める割合	27.7%	20.4%	23.2%	23.0%	22.8%	24.7%	26.2%	23.6%	24.0%	23.6%	23.3%	22.9%	22.6%	22.6%

※いずれも3月末時点



4 那須地方農業者組織の概要

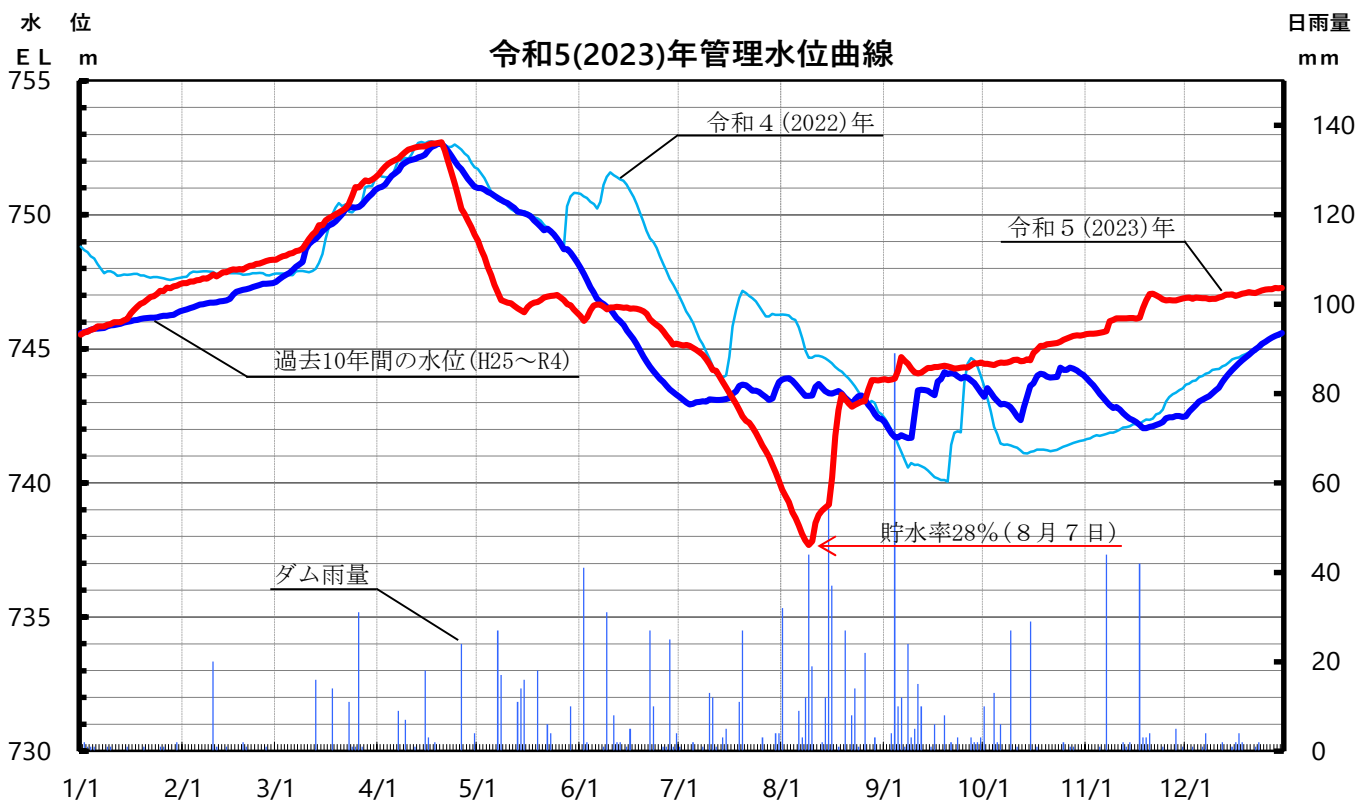
(令和5年)

組 織 の 概 要	役員及び主な事業内容
那須地方農業者懇談会 〔設立 H13.2.7〕 〔目的〕管内農業者団体の相互の連絡協調を図り、各団体会員の連携強化により農業経営と生活の合理化、農村文化の向上及び農村地域の振興に寄与する。 〔構成組織〕地方RFC、地方農業士会、地区農村生活研究グループ協議会、地方青少年クラブ協議会、地区認定農業者協議会、地方国際農友会 〔構成組織数〕 6組織	会 長 遅澤 喜則〔那須塩原市〕 副会長 植竹 英夫〔大田原市〕 ○那須地方の農業の夢を語る会 ○新春懇談会(研修会) ○各組織との連携活動 (2024.4)改選予定
那須地方RFC 〔設立 H13.10.11〕 〔目的〕協調、友愛、奉仕の精神を常に高揚し、農業に生き甲斐を求めて精進する農業後継者、青年農業者、女性組織等の活動を激励、援助するとともに、会員の加入推進及び地区活動の充実を図り、豊かな農村社会を実現することを目的とする。 〔会員数〕 45 名＋賛助会員1組織(那須地方名誉農業士会)	会 長 遅澤 喜則〔那須塩原市〕 副会長 磯 浩美〔大田原市〕 ○視察研修会 ○生活研究グループ、青少年クラブ活動支援 (2024.4)改選予定
那須地方農業士会 〔設立 H12.2.22〕 〔目的〕近代化農業を担いうる優れた青年農業者等の育成指導並びに地域農業の振興を図るため、農業士相互及び女性農業士との連携の下、組織活動を促進し、もって地域農業振興に寄与することを目的とする。 〔会員数〕 40 名	会 長 菊池 宏〔那須塩原市〕 副会長 熊田 正和〔大田原市〕 副会長 中山 知代子〔大田原市〕 ○夏期夫妻研修会 ○冬期夫妻研修会 ○生活研究グループ、青少年クラブへの指導・助言等 (2024.2)改選
那須地区農村生活研究グループ協議会 〔設立 H12.4.14〕 〔目的〕会員相互の連絡協調を密にし、その活動を促進することにより、グループ員の資質向上と豊かでゆとりある新しい農村型ライフスタイルの実現をめざすとともに、農村女性の地位向上を図ることを目的とする。 〔会員数〕 49 名	会 長 朝野 直子〔大田原市〕 副会長 竹内 ヒロ〔那須塩原市〕 ○那須地方の伝統食研修会 ○組織間情報交換連携活動 (2024.3)改選
那須野が原青少年クラブ協議会 〔設立 H12.4.12〕 〔目的〕クラブ員相互の親睦と協調を図り、クラブ活動の健全な発展によるクラブ員の資質向上に資することを目的とする。 〔会員数〕 30 名	会 長 阿久津 清尚〔大田原市〕 副会長 石井 晶〔那須塩原市〕 ○専門部活動(耕種、施設野菜、露地野菜、果樹、花卉、畜産) ○各種交流会 ○実績意見発表大会 ○経営技術改善セミナー ○各種県事業参加等 (2024.3)改選
那須地方国際農友会 〔設立 H12.12.13〕 〔目的〕海外に派遣された農村青壮年が各国において習得した農業の諸体験を生かして、会員相互の親睦と資質の向上を図り本県農業の近代化と合理化を推進して農民との相互理解と連携を深めつつ国際親善に寄与することを目的とする。 〔会員数〕 35 名	会 長 遠藤 拓志〔那須町〕 副会長 高橋 雄幸〔那須町〕 ○研修生壮行会 ○情報交歓会 ○海外研修生派遣、受入れ支援等
那須地区認定農業者協議会 〔設立 H12.10.31〕 〔目的〕経営感覚に優れた効率的で安定的な経営体を目指す農業経営者としての能力向上と、地域農業リーダーとしての資質の向上を図るとともに、地域農業の振興に寄与することを目的とする。 〔構成組織〕大田原市、那須塩原市、那須町各認定農業者組織 〔会員数〕 1,732 経営体	会 長 平山 文修〔那須町〕 副会長 渡辺 政博〔那須塩原市〕 副会長 田代 保〔大田原市〕 ○各種事業参加 等 (2024.3)改選
那須地方農村女性会議 〔設立 H13.3.22〕 〔目的〕男女共同参画ビジョンの実現を通して、組織間の連携を深めながら女性の地位向上と、男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。 〔構成組織数〕 6 組織	会 長 菊地 瞳 〔酪・ち那須高原支所女性会〕 副会長 西岡 智子〔栃木県女性農業士〕 ○男女共同参画研修会 ○農村女性の社会参画の推進 ○組織間情報交換連携活動 (2023.5)改選

第4 深山・板室ダムの管理状況

1 深山ダムの水位の動き

1月～7月の降雨量及び降雪量が、過去10年間平均と比べて7割程度と少なく、水不足が懸念されていたことから、利水関係者は節水に努めましたが、8月6日に貯水率が30%を割り込んだため、翌日、利水者調整会議(那須広域ダム管理支所主催)を開催し、ダムの貯水状況や今後の見通しについて情報共有を図るとともに、渇水時の対応方針について意見交換しました。その後、まとまった降雨があり、貯水率が上昇したことから、安定した用水供給ができました。



2 整備補修の実績(主要なもの)



深山ダム：管理棟新築工事

現管理棟は建設後50年以上経過し、老朽化が進んでいるため、新しい管理棟を建設しました。



深山ダム：堆砂測量

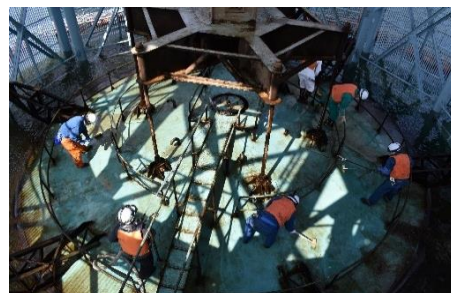
ダムの安全管理上欠かすことのできない流入土砂の量や、堤体状況の観測を毎年行っています。



深山ダム：流木処理

余水吐ゲートの開閉操作不能や堤体に損傷を与える恐れがあるため、流木を処理しています。

3 各種活動の実績



取水塔フロート吊り上げ清掃(4月)

安定的な農業用水の供給に向け、毎年4月をはじめに取水フロートの清掃・点検を行っています。



異常水質対応訓練(8月)

安全安心な用水補給のため、油流出などの異常水質発生に備えて毎年対応訓練を行っています。



詳細はHPを参照願います。

那須広域ダム

検索

第5 農産物モニタリング検査状況

1 農産物の検査

県では、国から示された検査ガイドラインを踏まえて、計画的にモニタリング検査を実施し、農産物の安全性を確認している。

令和5年度においては、下表の日程で大田原市、那須塩原市、那須町の6品目についてモニタリング検査を実施し、全ての検体で放射性セシウムの基準値を下回った。（検出せず～33Bq/kg）

グループ	品 目	大田原市	那須塩原市	那須町
山菜「栽培もの」 (野生で出荷制限となっている 品目)	こしあぶら	-	-	-
	たらの芽	4/6	4/6	4/13
	ぜんまい	4/20	-	-
	わらび	1/11	4/13	4/20
生産額が多い穀物類	米	8/24		
	大 豆	12/14		
	秋そば	11/2		

（網掛け）：吸収抑制対策実施市町

第6 那須地方の農業の動き

1 農 業

(1)市町村別農業産出額(令和4年)

市町村別の農業産出額は、大田原市が260.9億円で県内2位(全国40位)、那須塩原市が455.5億円で県内1位(全国12位)、那須町が221.8億円で県内3位(全国66位)となっている。

耕種は大田原市が県内1位(全国41位)、那須塩原市が県内4位(全国97位)、園芸は大田原市が県内3位(全国109位)、畜産は大田原市が県内3位(全国60位)、那須塩原市が県内1位(全国4位)、那須町が県内2位(全国21位)となっている。

農業産出額の合計

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	260.9	2	40
那須塩原市	455.5	1	12
那須町	221.8	3	66
那須地方計	938.2	—	—
栃木県計	2718.0	—	—
那須地方/県	34.5%	—	—

(内訳)

① 耕種(米、麦類、雑穀、豆類、工業農作物、その他作物の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	59.3	1	41
那須塩原市	37.1	4	97
那須町	17.1	12	324
那須地方計	113.5	—	—
栃木県計	524.3	—	—
那須地方/県	21.6%	—	—

② 園芸(野菜、果実、花き、いも類の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	75.4	3	109
那須塩原市	38.2	8	250
那須町	9.6	21	765
那須地方計	123.2	—	—
栃木県計	863.2	—	—
那須地方/県	14.3%	—	—

③ 畜産(肉用牛、乳用牛、豚、鶏、その他畜産物の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	118.2	3	60
那須塩原市	371.3	1	4
那須町	192.9	2	21
那須地方計	682.4	—	—
栃木県計	1262.0	—	—
那須地方/県	54.1%	—	—

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(資料)令和4年市町村別農業産出額(推計)(農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果)

(2)市町別主要農産物の面積、収穫量(令和4年産)

(単位: ha、t)

市町	品目	作付面積	収穫量	出荷量
大田原市	水稻	5,670	31,900	
	麦類	839	3,150	
	大豆	288	513	
	そば	129	114	
	秋冬ねぎ	84	2,410	2,290
	夏秋なす	22	1,100	810
	冬春トマト	7	560	480
那須塩原市	水稻	3,730	20,800	
	麦類	281	927	
	大豆	126	232	
	そば	118	94	
	ほうれんそう	120	1,390	1,330
	秋冬ねぎ	26	629	548
	夏だいこん	29	626	558
	夏秋なす	14	790	724
	冬春トマト	2	192	185
那須町	水稻	1,830	9,950	
	麦類	22	87	
	大豆	4	5	
	そば	51	33	
	ほうれんそう	28	291	274
	秋冬ねぎ	5	126	120
	夏秋なす	8	431	332

(出典) 作物統計調査 市町村別データ

(3)農漁業災害発生の状況

農作物、施設被害状況

(単位: ha、千円)

年度	発生日	災害名	地域 (市町)	災害状況			備考
				作物名等	被害面積	被害金額	
R5	—	—	—	—	—	—	
R4	1/24	強風	大田原市	パイプハウス(11棟)	0.17	984	
			那須塩原市	カーネーション	0.03	388	
				にら	0.01	151	
				パイプハウス(55棟)	1.11	8,482	
R3	4/18	強風	大田原市	パイプハウス(2棟)	0.03	430	
				木造畜舎(2棟)	0.05	464	
			那須塩原市	パイプハウス(21棟)	0.54	3,239	
				木造畜舎(1棟)	0.05	454	
	4/27	降霜	大田原市	キウイフルーツ	2.36	7,741	
	5/2	降雹	大田原市	なし幸水	2.15	12,232	条例適用
				なし豊水	2.25	18,096	
				なしにっこり	0.75	6,596	
				なし新高	0.35	3,361	
				なしあきづき	0.15	983	
				なしその他	0.15	1,029	
				ブロッコリー	1.14	2,002	
				ブルーベリー	0.40	1,920	
				アスパラガス	0.20	1,004	
				キャベツ春もの	0.70	679	
				ねぎ	34.20	41,137	
				トウガラシ	2.30	1,870	
				うど養成株	23.00	4,320	
			那須塩原市	キウイフルーツ	2.38	1,608	
				かぶ	2.22	1,523	
				だいこん夏もの	2.60	398	
				ねぎ	1.05	1,275	

農作物、施設被害状況

(単位: ha、千円)

年度	発生日	災害名	地域 (市町)	災害状況			備考
				作物名等	被害面積	被害金額	
R3	8/30	突風	大田原市	パイプハウス(10棟)	0.20	2,760	県北環境 森林事務 所報告
				しいたけ出荷作業所	0.01	1,600	
	3/16	地震	大田原市	菌床しいたけ(施設)	0.001	89	
			那須塩原市	菌床しいたけ(施設) 菌床施設ボイラー 配管の破損	0.02 0.002	4,010 800	
R2	4/中	低温	大田原市	なし幸水	15.25	44,822	条例適用
				なし豊水	20.51	98,192	
				なしにつこり	2.63	12,935	
				なし新高	0.39	1,333	
				なしあきづき	1.18	2,715	
				なしその他	0.59	1,529	
			那須塩原市	なし幸水	1.01	2,866	
				なし豊水	0.95	5,189	
				なしにつこり	0.04	148	
				なし新高	0.02	22	
				なしあきづき	0.19	803	
				なしその他	0.37	1,029	
	4/13	強風	大田原市	にら	0.03	280	
				パイプハウス(7棟)	0.11	779	
	6/16	降雹	大田原市	なす夏秋もの	1.38	4,964	
				ねぎ	3.20	2,236	
				アスパラガス	4.55	9,576	
				ブルーベリー	0.46	320	
				トウガラシ	0.40	1,105	
				パイプハウス(2棟)	0.05	237	
			那須塩原市	きゅうり夏秋もの	0.10	413	
				なす夏秋もの	0.10	510	
	9/11	大雨	那須塩原市	かぶ	2.11	8,839	
				だいこん秋冬もの	1.94	2,429	
				ほうれんそう夏もの	0.03	230	
	12/17	大雪	那須塩原市	ほうれんそう冬もの	0.40	1,944	
				ほうれんそう秋もの	0.04	276	
				パイプハウス(17棟)	0.64	4,532	
	2/13	地震	那須町	菌床しいたけ(施設)	0.12	28,130	県北環境 森林事務 所報告
				パイプハウス(1棟)	0.03	933	
				菌床栽培棚		11,131	
	2/15	強風	大田原市	にら秋冬もの	0.20	1,120	
				パイプハウス(10棟)	0.28	2,342	
			那須塩原市	パイプハウス(2棟)	0.03	473	

暑熱による畜産関係被害状況(7/1～9/30の死亡畜数)

(単位: 頭数)

年度	乳用牛	肉用牛	採卵鶏	ブロイラー	備考
R5	35	7	4,808	12	
R4	21	3	0	0	
R3	34	9	2	0	
R2	42	4	7,161	27	

※県北家畜保健衛生所調べ

(4)農家戸数の動き

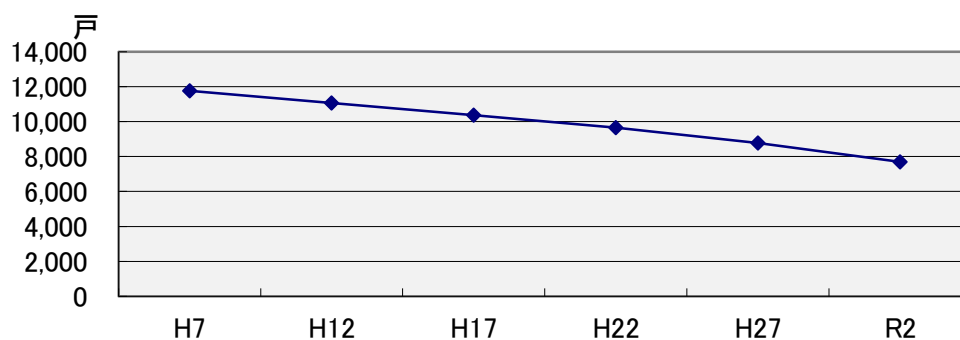
那須地方の農家戸数は減少傾向にあり、令和２年には7,697戸となった。増減を平成２７年と比較してみると88%の増減率となり、県全体よりもやや緩やかな減少具合となった。

総農家戸数の推移

(単位：戸)

	H12	H17	H22	H27	R2	増減 (R2-H27)	増減率 (R2/H27)
那 須 地 方	11,058	10,361	9,648	8,773	7,697	△1,076	88%
栃 木 県	77,532	71,510	64,337	55,446	46,202	△9,244	83%

* 平成12年からは販売農家数と自給的農家数の合計 (出典) 農林業センサス



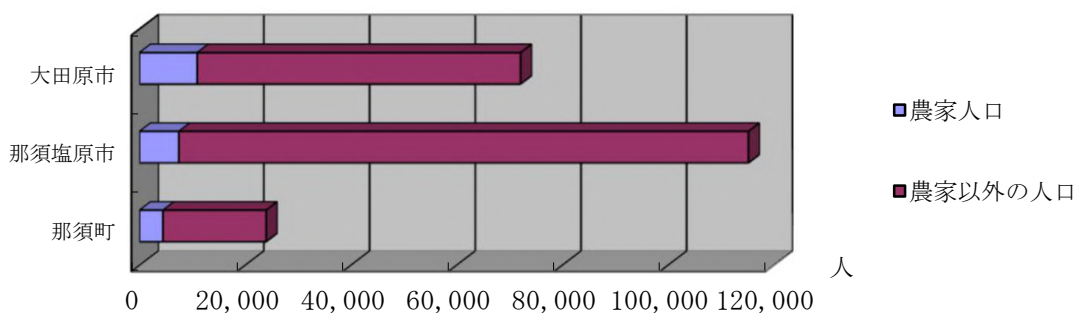
那須地方年次別農家戸数の推移

市町別農家人口率 (令和２年)

(単位：人・%)

	農 家 人 口 率		
	総人口	農家人口	農家人口率
大 田 原 市	72,087	10,936	15.2%
那須塩原市	115,210	7,456	6.5%
那 須 町	23,956	4,442	18.5%
那須地方計	211,253	22,834	10.8%
栃 木 県 計	1,931,254	114,210	5.9%
那須／県	10.9%	20.0%	

※農家人口は農業経営体の世帯員数
(出典) 国勢調査・農林業センサス



市町別農家人口 (令和2年)

(5)専業別農家戸数の動き

専業別農家戸数の推移

(単位：戸)

		H12		H17		H22		H27		R2	
		那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県
実数	販売農家数	9,871	65,042	8,963	56,016	8,053	47,833	7,176	39,810	6,107	31,993
	専業	1,280	8,551	1,398	9,084	1,588	10,127	1,761	10,380	—	—
	総数	8,591	56,491	7,565	46,932	6,465	37,706	5,415	29,430	—	—
	第1種	2,237	10,602	1,993	10,283	1,718	7,062	1,227	5,435	—	—
	第2種	6,354	45,889	5,572	36,649	4,747	30,644	4,188	23,995	—	—
割合	販売農家数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—
	専業	13.0%	13.1%	15.6%	16.2%	19.7%	21.2%	24.5%	26.1%	—	—
	総数	87.0%	86.9%	84.4%	83.8%	80.3%	78.8%	75.5%	73.9%	—	—
	第1種	22.7%	16.3%	22.2%	18.4%	21.3%	14.8%	17.1%	13.7%	—	—
	第2種	64.4%	70.6%	62.2%	65.4%	58.9%	64.1%	58.4%	60.3%	—	—

(出典)農林業センサス

市町別専業別農家戸数の推移

		大 田 原 市	那須塩原市	那 須 町	那須地方計	栃木県計	地方/県	
販売農家数		H12	4,584	3,265	2,022	9,871	65,042	15%
		H17	4,257	2,942	1,764	8,963	56,016	16%
		H22	3,841	2,620	1,592	8,053	47,833	17%
		H27	3,454	2,327	1,395	7,176	39,810	18%
		R2	2,991	1,959	1,157	6,107	31,993	19%
専業 兼業 別農家数	専業	H12	559	481	240	1,280	8,551	15%
		H17	649	511	238	1,398	9,084	15%
		H22	752	559	277	1,588	10,127	16%
		H27	835	645	281	1,761	10,380	17%
		R2	—	—	—	—	—	—
	第1種 兼業	H12	1,016	805	416	2,237	10,602	21%
		H17	1,003	736	254	1,993	10,283	19%
		H22	875	577	266	1,718	7,062	24%
		H27	581	437	209	1,227	5,435	23%
		R2	—	—	—	—	—	—
	第2種 兼業	H12	3,009	1,979	1,366	6,354	45,889	14%
		H17	2,605	1,695	1,272	5,572	36,649	15%
		H22	2,214	1,484	1,049	4,747	60,644	8%
		H27	2,038	1,245	905	4,188	23,995	17%
		R2	—	—	—	—	—	—

(出典)農林業センサス

(6) 経営耕地面積規模別経営体数の動き

那須地方の経営耕地規模別経営体数をみると、総農家数の減少とともにほとんどの階層で減少しているが、10.0ha以上の経営体数は増加している。これは県全体でも同様の傾向が見られる。

また、5.0～10.0haの経営体が県全体の32.5%、10.0ha以上の経営体が県全体の27.1%を占めるなど、規模の大きい経営体の割合が多い。

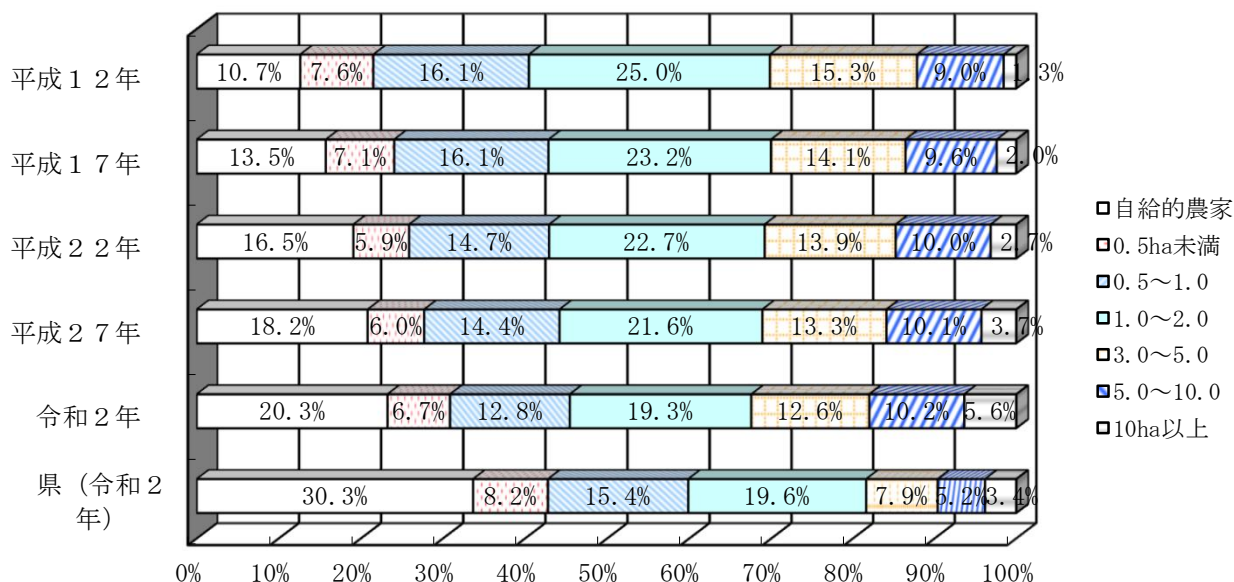
那須地方経営耕地面積規模別経営体数の推移

(単位：経営体 ※自給的農家数は戸)

		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		那須地方 増減率 (R2/H27)
		那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	
実 数	0.5ha未満	838	8,767	738	6,870	565	5,184	527	4,289	521	3,849	99%
	0.5～1.0	1,781	16,942	1,669	14,295	1,421	11,911	1,262	9,560	998	7,207	79%
	1.0～2.0	2,761	20,372	2,406	17,401	2,186	14,950	1,893	11,983	1,512	9,179	80%
	2.0～3.0	1,655	9,785	1,485	8,605	1,315	7,178	1,113	5,900	978	4,740	88%
	3.0～5.0	1,694	6,413	1,462	5,733	1,337	5,102	1,165	4,391	988	3,699	85%
	5.0～10.0	999	2,382	993	2,487	969	2,618	890	2,582	795	2,447	89%
	10ha以上	143	381	210	625	260	890	326	1,105	435	1,605	133%
	自給的農家	1,187	12,490	1,398	15,494	1,591	16,445	1,597	15,636	1,590	14,209	100%
	計	11,058	77,532	10,361	71,510	9,644	64,278	8,773	55,446	7,817	46,935	89%
割 合	0.5ha未満	7.6%	11.3%	7.1%	9.6%	5.9%	8.1%	6.0%	7.7%	6.7%	8.2%	
	0.5～1.0	16.1%	21.9%	16.1%	20.0%	14.7%	18.5%	14.4%	17.2%	12.8%	15.4%	
	1.0～2.0	25.0%	26.3%	23.2%	24.3%	22.7%	23.3%	21.6%	21.6%	19.3%	19.6%	
	2.0～3.0	15.0%	12.6%	14.3%	12.0%	13.6%	11.2%	12.7%	10.6%	12.5%	10.1%	
	3.0～5.0	15.3%	8.3%	14.1%	8.0%	13.9%	7.9%	13.3%	7.9%	12.6%	7.9%	
	5.0～10.0	9.0%	3.1%	9.6%	3.5%	10.0%	4.1%	10.1%	4.7%	10.2%	5.2%	
	10ha以上	1.3%	0.5%	2.0%	0.9%	2.7%	1.4%	3.7%	2.0%	5.6%	3.4%	
	自給的農家	10.7%	16.1%	13.5%	21.7%	16.5%	25.6%	18.2%	28.2%	20.3%	30.3%	
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

*0.5ha未満には経営耕地なしを含む

(出典) 農林業センサス



(注) 平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体における数値を記載

市町別経営耕地面積規模別経営体数(令和2年)

(単位:経営体 ※自給的農家数は戸)

	合計	0.5ha未満	0.5～ 1.0	1.0～ 2.0	2.0～ 3.0	3.0～ 5.0	5.0～ 10.0	10.0ha 以上	自給的 農 家
大 田 原 市	3,716	257	476	753	519	509	369	159	674
那須塩原市	2,527	138	302	474	264	324	289	205	531
那 須 町	1,574	126	220	285	195	155	137	71	385
那須地方計	7,817	521	998	1,512	978	988	795	435	1,590
	100.0%	6.7%	12.8%	19.3%	12.5%	12.6%	10.2%	5.6%	20.3%
栃 木 県 計	46,935	3,849	7,207	9,179	4,740	3,699	2,447	1,605	14,209
那須／県	16.7%	13.5%	13.8%	16.5%	20.6%	26.7%	32.5%	27.1%	11.2%

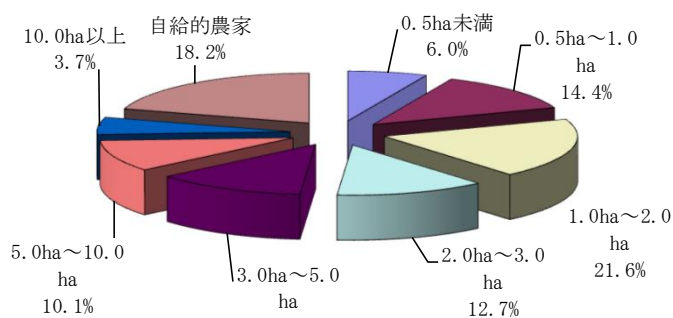
*0.5ha未満には経営耕地なしを含む

10ha以上規模別経営体数(令和2年)

(単位:経営体)

	10.0～ 20.0	20.0～ 30.0	30.0～
大 田 原 市	126	21	12
那須塩原市	157	34	14
那 須 町	55	10	6
那須地方計	338	65	32
	4.3%	0.8%	0.4%
栃 木 県 計	1,077	279	249
那須／県	31.4%	23.3%	12.9%

(出典) 農林業センサス



那須地方経営規模別経営体数割合(令和2年)

(7)農産物販売金額別経営体数(農業経営体)

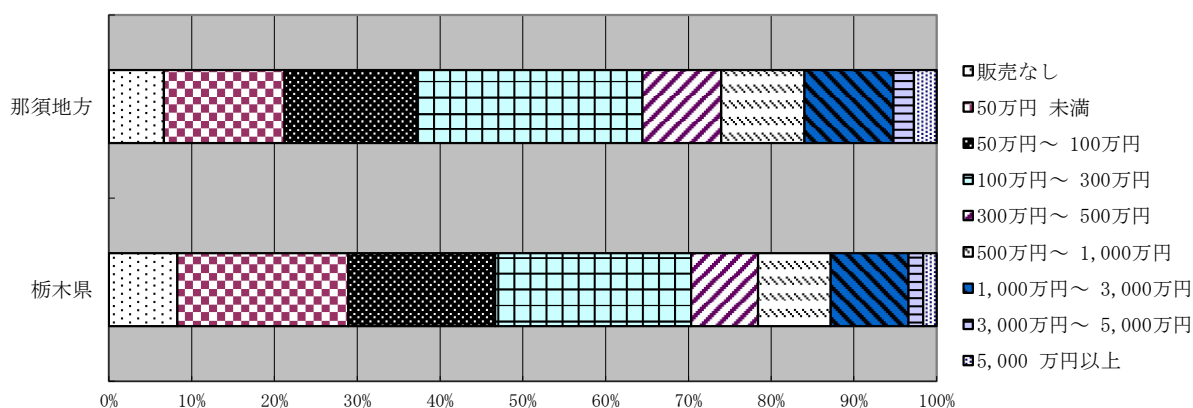
那須地方の農業経営体に占める農産物販売金額1,000万円以上の経営体は、令和2年で13.9%(995経営体)であり、県の10.5%(4,191経営体)に比べ、その割合は高い。

農産物販売金額規模別経営体数(令和2年)

(単位:経営体)

	農業 経営体数	販売なし	50万円 未満	50万円～ 100万円	100万円～ 300万円	300万円～ 500万円	500万円～ 1,000万円	1,000万円～ 3,000万円	3,000万円～ 5,000万円	5,000 万円以上
実 数	7,176	414	908	994	1,698	591	627	669	155	171
栃 木 県	39,810	2,705	6,750	5,819	7,741	2,650	2,870	3,074	587	530
割 合	86.8%	5.8%	12.7%	13.9%	23.7%	8.2%	8.7%	9.3%	2.2%	2.4%
栃 木 県	82.2%	6.8%	17.0%	14.6%	19.4%	6.7%	7.2%	7.7%	1.5%	1.3%

(出典) 農林業センサス



農産物販売金額規模別経営体数(令和2年)

2 農業労働力

(1) 年齢階層別の経営体数の動き

那須地方の年齢階層別の経営体数をみると、70歳以上の経営体数は増加している。これは県全体でも同様の傾向が見られる。

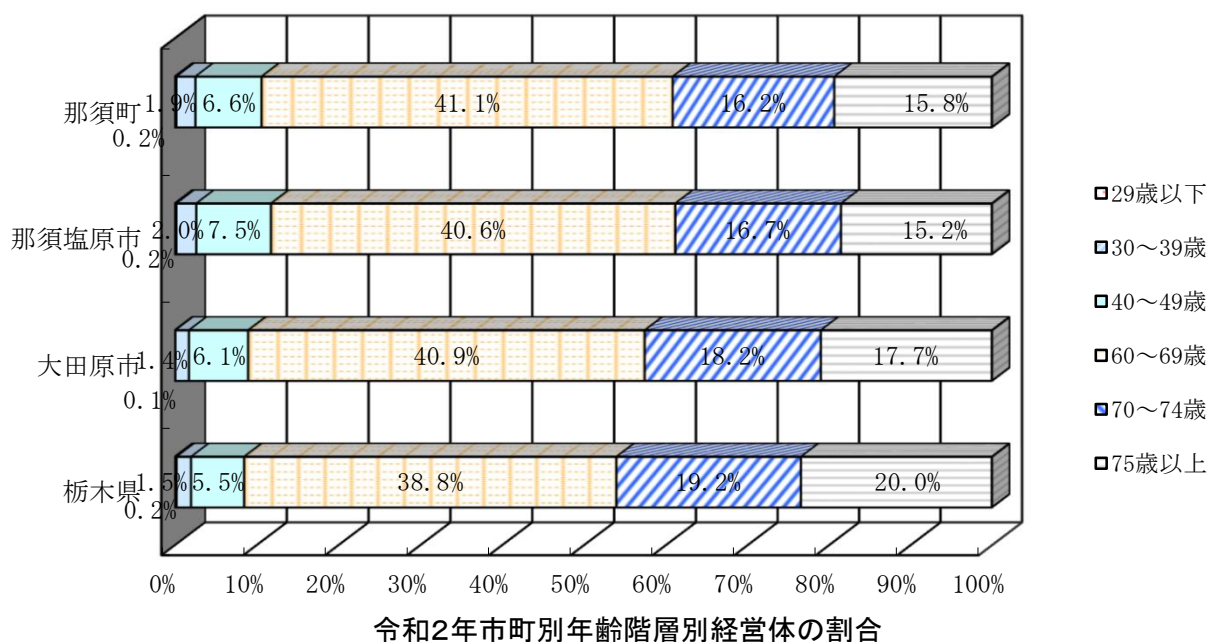
また、75歳以上の経営体の割合は、令和2年で16.5%であり、県の20.0%に比べ低い。

那須地方年齢階層別経営体数の推移

(単位：経営体)

		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
		那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県
実数	29歳以下	28	121	25	105	4	55	11	59	8	73
	30～39歳	521	2,473	260	1,305	153	729	104	533	105	498
	40～49歳	2,902	15,200	1,706	8,614	875	4,498	466	2,284	413	1,803
	50～59歳	2,835	17,666	3,234	18,326	2,856	14,874	1,810	8,737	1,049	4,833
	60～69歳	2,415	18,259	1,876	12,967	2,398	14,467	3,002	16,119	2,543	12,691
	70～74歳	650	7,025	732	5,834	804	5,742	725	4,661	1,080	6,296
	75歳以上	432	4,298	630	5,596	963	7,468	1,058	7,417	1,029	6,532
	計	9,783	65,042	8,463	52,747	8,053	47,833	7,176	39,810	6,227	32,726
割合	29歳以下	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%
	30～39歳	5.3%	3.8%	3.1%	2.5%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%	1.7%	1.5%
	40～49歳	29.7%	23.4%	20.2%	16.3%	10.9%	9.4%	6.5%	5.7%	6.6%	5.5%
	50～59歳	29.0%	27.2%	38.2%	34.7%	35.5%	31.1%	25.2%	21.9%	16.8%	14.8%
	60～69歳	24.7%	28.1%	22.2%	24.6%	29.8%	30.2%	41.8%	40.5%	40.8%	38.8%
	70～74歳	6.6%	10.8%	8.6%	11.1%	10.0%	12.0%	10.1%	11.7%	17.3%	19.2%
	75歳以上	4.4%	6.6%	7.4%	10.6%	12.0%	15.6%	14.7%	18.6%	16.5%	20.0%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(出典) 農林業センサス



(注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体における数値を記載

(2)基幹的農業従事者の推移

那須地方の令和2年の基幹的農業従事者（自営農業に主として従事した世帯員のうち仕事
が主の世帯員数）は、8,604人となった。また、男女別では男が5,039人、女が3,565人と
なった。

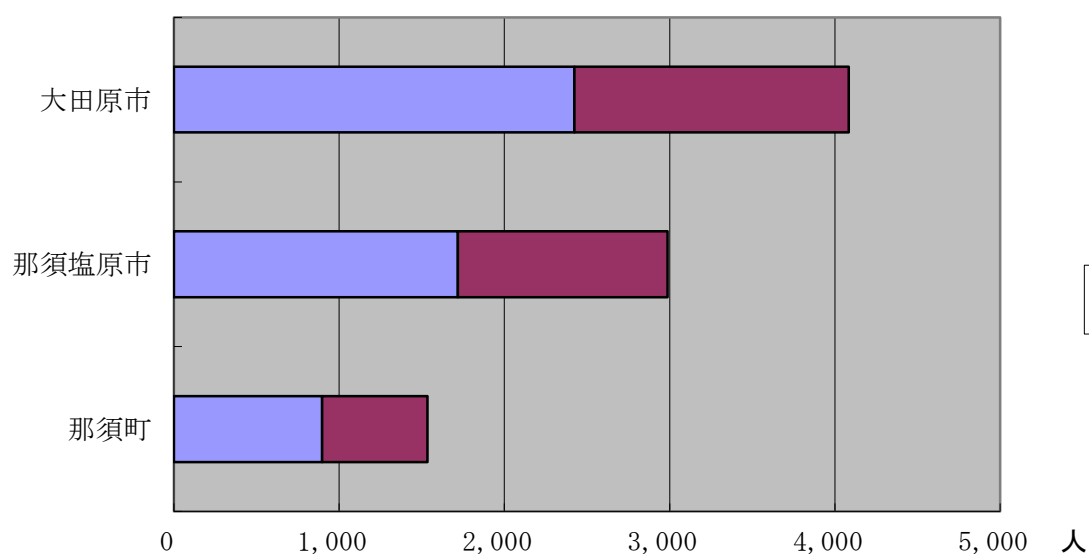
基幹的農業従事者の推移

(単位：人)

		数				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大田原市	男	2,575	2,670	2,833	2,653	2,423
	女	2,586	2,536	2,531	2,191	1,660
	計	5,161	5,206	5,364	4,844	4,083
那須塩原市	男	2,063	2,142	2,146	1,953	1,718
	女	2,151	2,184	2,049	1,677	1,269
	計	4,214	4,326	4,195	3,630	2,987
那須町	男	1,149	875	1,171	941	898
	女	1,218	741	1,083	725	636
	計	2,367	1,616	2,254	1,666	1,534
那須地方計	男A	5,787	5,687	6,150	5,547	5,039
	女	5,955	5,461	5,663	4,593	3,565
	計B	11,742	11,148	11,813	10,140	8,604
	A/B	49.3%	51.0%	52.1%	54.7%	58.6%
栃木県計	男a	34,880	34,605	34,605	29,693	25,613
	女	33,133	30,969	30,969	23,221	17,301
	計b	68,013	65,574	65,574	52,914	42,914
	a/b	51.3%	52.8%	52.8%	56.1%	59.7%
那須／県	男	16.6%	16.4%	17.8%	18.7%	19.7%
	女	18.0%	17.6%	18.3%	19.8%	20.6%
	計	17.3%	17.0%	18.0%	19.2%	20.0%

(注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体

(資料)農林業センサス



市町別基幹的農業従事者(令和2年)

3 農 地

(1) 年次別耕地面積の推移

(単位：h a ・ %)

		田	畑	計	水田率
那 須 地 方	平成 2年	22,700	6,160	28,860	78.7
	平成 3年	22,700	6,100	28,800	78.8
	平成 4年	22,600	6,060	28,660	78.9
	平成 5年	22,400	5,930	28,330	79.1
	平成 6年	22,400	5,880	28,280	79.2
	平成 7年	22,300	5,820	28,120	79.3
	平成 8年	22,200	5,770	27,970	79.4
	平成 9年	22,100	5,730	27,830	79.4
	平成10年	22,100	5,610	27,710	79.8
	平成11年	21,700	5,570	27,270	79.6
	平成12年	21,800	5,560	27,360	79.7
	平成13年	21,800	5,530	27,330	79.8
	平成14年	21,700	5,500	27,200	79.8
	平成15年	21,700	5,500	27,200	79.8
	平成16年	21,600	5,650	27,250	79.3
	平成17年	21,600	5,610	27,210	79.4
	平成18年	21,500	5,580	27,080	79.4
	平成19年	21,300	5,690	26,990	78.9
	平成20年	21,100	5,750	26,850	78.6
	平成21年	21,030	5,810	26,840	78.4
	平成22年	20,850	5,890	26,740	78.0
	平成23年	20,680	5,940	26,620	77.7
	平成24年	20,550	6,020	26,570	77.3
	平成25年	20,470	6,040	26,510	77.2
	平成26年	20,430	6,000	26,430	77.3
	平成27年	20,400	5,980	26,380	77.3
	平成28年	20,390	5,950	26,340	77.4
	平成29年	20,360	5,940	26,300	77.4
	平成30年	20,290	5,900	26,190	77.5
	平成31・令和元年	20,220	5,850	26,070	77.6
	令和2年	19,850	6,150	26,000	76.3
	令和3年	19,620	6,310	25,930	75.7
	令和4年	19,570	6,360	25,930	75.5
	令和5年	19,430	6,380	25,810	75.3
栃 木 県	平成 2年	109,300	32,200	141,500	77.2
	平成 3年	108,800	31,700	140,500	77.4
	平成 4年	108,400	31,300	139,700	77.6
	平成 5年	107,900	30,700	138,600	77.8
	平成 6年	107,400	30,200	137,600	78.1
	平成 7年	106,900	29,700	136,600	78.3
	平成 8年	106,400	29,400	135,800	78.4
	平成 9年	105,900	29,000	134,900	78.5
	平成10年	105,600	28,700	134,300	78.6
	平成11年	105,000	28,500	133,500	78.7
	平成12年	104,600	28,100	132,700	78.8
	平成13年	104,300	27,900	132,200	78.9
	平成14年	103,700	27,900	131,600	78.8
	平成15年	103,000	28,100	131,100	78.6
	平成16年	102,800	27,900	130,700	78.7
	平成17年	102,200	27,900	130,100	78.6
	平成18年	101,300	28,000	129,300	78.3
	平成19年	100,700	28,300	129,000	78.1
	平成20年	99,900	28,400	128,300	77.9
	平成21年	99,388	28,402	127,790	77.8
	平成22年	98,912	28,312	127,224	77.7
	平成23年	98,300	28,100	126,400	77.8
	平成24年	97,800	28,200	126,000	77.6
	平成25年	97,500	28,000	125,500	77.7
	平成26年	97,300	27,700	125,000	77.8
	平成27年	97,100	27,400	124,500	78.0
	平成28年	96,900	27,200	124,100	78.1
	平成29年	96,800	27,100	123,900	78.1
	平成30年	96,400	26,800	123,200	78.2
	平成31・令和元年	96,100	26,400	122,500	78.4
	令和2年	95,500	26,600	122,100	78.2
	令和3年	94,800	26,900	121,700	77.9
	令和4年	94,300	27,100	121,400	77.7
	令和5年	93,900	26,800	120,700	77.8

(資料) 「耕地及び作付面積統計」

(2)市町別耕地面積の状況（令和5年）

(単位:ha)

市町村	耕地面積	田			畑
		計	本地	畦畔	耕地
大田原市	10,900	9,710	9,320	390	1,150
那須塩原市	9,500	6,280	5,950	330	3,220
那須町	5,450	3,440	3,240	200	2,010
那須地方計	25,850	19,430	18,510	920	6,380
栃木県計	120,700	93,900	90,800	3,100	26,800
那須／県	21.4%	20.7%	20.4%	29.7%	23.8%

(資料)「耕地及び作付面積統計」

※数値は四捨五入しており、田面積の値と畑面積の値の合計が、耕地面積の値と一致しないことがある。

(3)市町別農業振興地域(農振農用地)の現況地目別面積（令和4年）

(単位:ha)

市町村	地目別面積					混牧林地	農業用 施設用地
	田	畑	樹園地	採草放牧地	計		
大田原市	8,822	600	137	74	9,632	0	65
那須塩原市	5,635	2,679	27	86	8,426	0	120
那須町	2,850	1,223	0	300	4,373	16	43
那須地方計	17,306	4,502	164	460	22,432	16	228
栃木県計	81,095	18,090	1,503	1,739	102,427	16	650
那須／県	21.3%	24.9%	10.9%	26.4%	21.9%	100.0%	35.0%

※端数処理の関係で、計が一致しない場合あり。

資料「令和4年 確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査」

(4)市町別農用地利用集積及び利用権設定の状況

		平成30年 3月末現在	平成31年 3月末現在	令和2年 3月末現在	令和3年 3月末現在	令和4年 3月末現在	令和5年 3月末現在
大田原市	農振農用地面積(ha)	9,642	9,640	9,636	9,634	-	-
	耕地面積(ha)	11,100	11,000	11,000	11,000	10,900	10,900
	農業者数※(人)	1,146	1,146	1,163	1,121	1,114	1,105
	農地利用集積面積(ha)	7,497	7,746	7,693	7,061	6,854	6,593
	うち水田	7035	7,265	7,178	6,584	6,364	6,164
	農地利用集積率(%)	68	70	70	64	63	61
	利用権設定面積(ha)	2,276	2,353	2,376	2,542	2,219	2,374
	利用権設定率(%)	23.6	24.4	24.7	26.4	-	-
那須塩原市	農振農用地面積(ha)	8,455	8,433	8,427	8,427	-	-
	耕地面積(ha)	9,640	9,610	9,560	9,540	9,530	9,530
	農業者数※(人)	720	719	721	724	733	742
	農地利用集積面積(ha)	5,681	6,127	5,723	5,570	5,595	5,758
	うち水田	3,106	3,439	4,107	3,920	3,940	4,073
	農地利用集積率(%)	59	64	60	58	59	60
	利用権設定面積(ha)	1,841	1,912	2,460	1,982	2,038	1,722
	利用権設定率(%)	21.8	22.7	29.2	23.5	-	-
那須町	農振農用地面積(ha)	4,383	4,375	4,375	4,381	-	-
	耕地面積(ha)	5,600	5,560	5,520	5,500	5,480	5,490
	農業者数※(人)	354	364	347	344	312	385
	農地利用集積面積(ha)	2,160	2,202	2,177	2,196	2,121	2,422
	うち水田	1,387	1,423	1,395	1,402	1,357	1,552
	農地利用集積率(%)	39	40	39	40	39	44
	利用権設定面積(ha)	533	581	597	607	594	457
	利用権設定率(%)	12.2	13.3	13.6	13.9	-	-
那須管内計	農振農用地面積(ha)	22,480	22,448	22,438	22,442	-	-
	耕地面積(ha)	26,340	26,170	26,080	26,040	25,910	25,920
	農業者数※(人)	2,220	2,229	2,231	2,189	2,159	2,232
	農地利用集積面積(ha)	15,338	16,075	15,593	14,827	14,570	14,773
	うち水田	11,528	12,127	12,680	11,906	11,661	11,789
	農地利用集積率(%)	58	61	60	57	56	57
	利用権設定面積(ha)	4,650	4,846	5,432	5,131	4,851	4,553
	利用権設定率(%)	20.7	21.6	24.2	22.9	-	-
栃木県計	農振農用地面積(ha)	102,862	102,471	102,433	102,486	-	-
	耕地面積(ha)	123,910	123,120	122,600	122,000	121,700	121,400
	農業者数※(人)	9,566	9,721	9,809	9,813	9,971	10,220
	農地利用集積面積(ha)	62,857	64,434	64,669	63,515	64,123	64,506
	うち水田	53,103	52,618	55,929	53,868	54,236	54,675
	農地利用集積率(%)	51	52	53	52	53	53
	利用権設定面積(ha)	31,277	32,289	34,920	33,767	36,390	36,487
	利用権設定率(%)	30.4	31.5	34.1	32.9	-	-

※農業者数：認定農業者、基本構想水準到達者及び集落営農組織等の合計（資料）担い手の農地利用集積状況調査
担い手への農地集積面積結果

(5) 農地移転・転用の動き

年次別3条(貸借・売買等)許可件数及び面積

(単位:件・ha)

	26年	27年	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年
件 数	184	208	189	173	185	159	187	166	158
面 積	130.5	164.4	142.6	127.9	152.5	132.0	161.5	142.3	112.2

年次別4・5条(転用)許可件数

(単位:件)

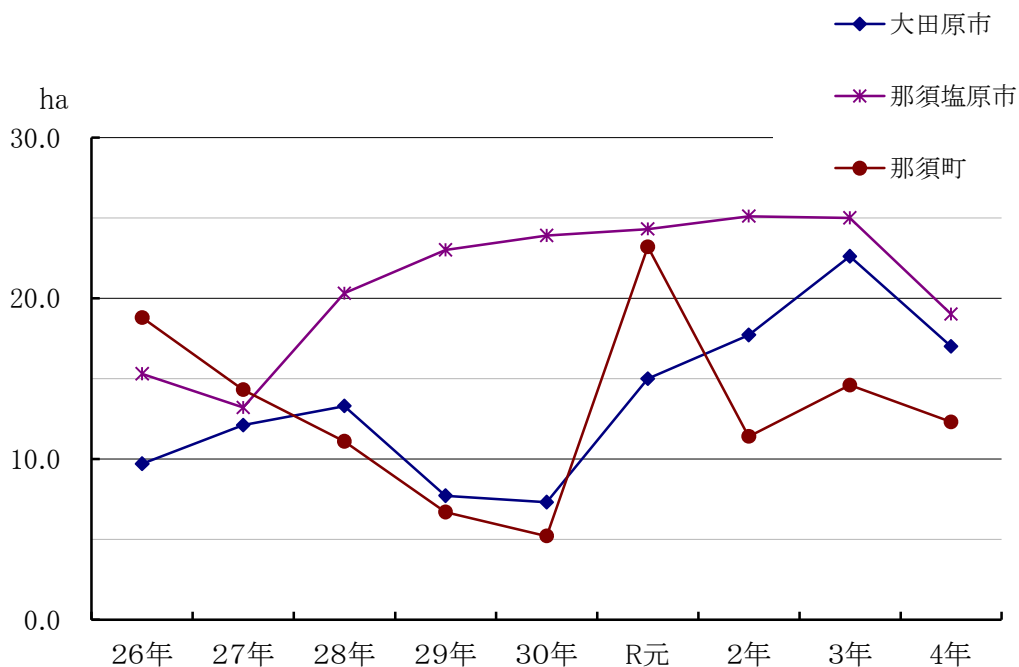
	26年	27年	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年
4 条	43	53	43	51	25	31	28	30	29
5 条	190	193	241	210	198	219	213	215	199
計		246	284	261	223	250	241	245	228

市町別年次別転用面積

(単位:ha)

	26年	27年	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年
大 田 原 市	9.7	12.1	13.3	7.7	7.3	15.0	17.7	22.6	17.0
那 須 塩 原 市	15.3	13.2	20.3	23.0	23.9	24.3	25.1	25.0	19.0
那 須 町	18.8	14.3	11.1	6.7	5.2	23.2	11.4	14.6	12.3
那須地方計	43.8	39.6	44.7	37.4	36.4	62.5	54.2	62.2	48.3

(資料)「農地の権利移動・借賃等調査」



市町村別年次別転用面積の推移

4 市町別5年以内の後継者の確保状況

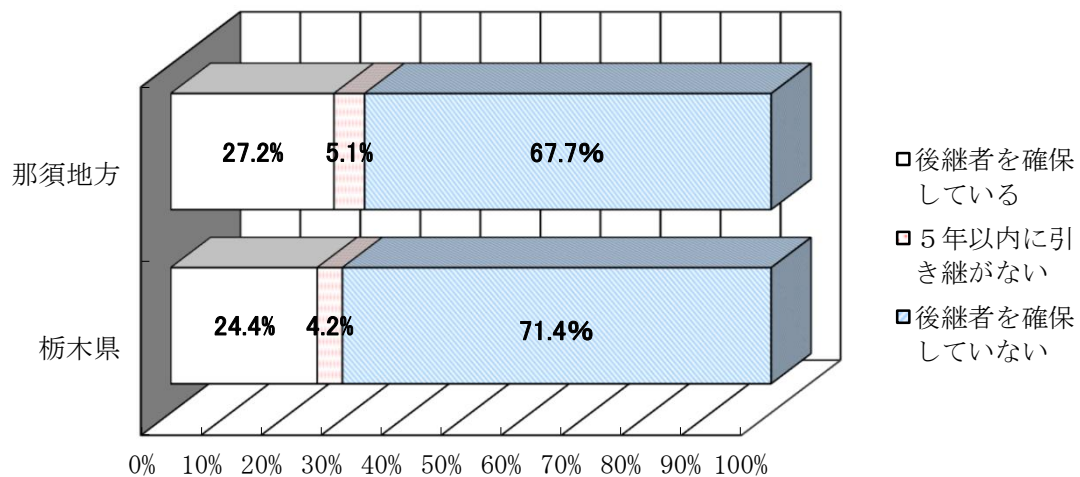
令和2年の那須地方の5年以内の後継者の確保状況別経営体割合は、後継者を確保している経営体が27.2%、5年以内に引き継ぎがない経営体が5.1%、後継者を確保していない経営体が67.7%となっている。

5年以内の後継者の確保状況（令和2年）

（単位：経営体）

	計	5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している			5年以内に農業経営を引き継がない	確保していない
		親族	親族以外の経営内部の人材	経営外部の人材		
大田原市	3,042	693	5	6	130	2,208
那須塩原市	1,996	604	8	5	114	1,265
那須町	1,189	362	8	3	71	745
那須地方計	6,227	1,659	21	14	315	4,218
	100%	26.6%	0.3%	0.2%	5.1%	67.7%
栃木県計	32,726	7,743	147	91	1,383	23,362
那須／県	19%	21%	14%	15%	23%	18%

（出典）農林業センサス



5年以内の後継者の確保状況別経営体数割合

5 ほ場整備実施状況(令和5年5月現在)

(単位：h a)

市町村名	要整備面積	整備済面積	整備率
大田原市	8,824.4	5,361.9	60.8%
那須塩原市	5,638.1	3,861.0	68.5%
那須町	2,852.2	991.0	34.7%
那須地方計	17,314.7	10,213.9	59.0%
栃木県計	81,057.7	56,150.1	69.3%
那須／県	21.4%	18.2%	-

※整備済面積：区画30a以上 (資料) 「農地整備課」

6 農業協同組合等の概要

(1) 農業協同組合

令和5年5月24日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
那須野農業協同組合	20,844	12,343	33	27	6	470

(2) 酪農業協同組合

令和5年4月18日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
那須碓根酪農業協同組合	34	32	9	7	2	8

(3) 開拓農業協同組合

令和5年3月19日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
千振開拓農業協同組合	68	65	11	8	3	3
栃木県開拓農業協同組合	784	312	8	6	2	23

7 とちぎの地産地消推進店(那須地域)

「とちぎの地産地消推進店」とは、年間を通じて県産農産物を利用した料理を提供する店舗又は県産農産物コーナー等を設置する小売店等で、「地産地消」の推進に取り組んでいる店舗です。

(1)料理店

令和6年3月1日現在

店舗名	〒	所在地	TEL
中華料理 華園	324-0242	大田原市大豆田210-1	0287-54-0578
ファーマーズカフェ&ミートショップ	324-0021	大田原市若草1-761	0287-20-2139
まつ坂	324-0047	大田原市美原1-6-6	0287-23-6275
とちぎ和牛 渡邊ファーム	329-2763	那須塩原市井口1168-1	0287-37-5066
人・季・想をつぐむ宿 彩つむぎ	329-2921	那須塩原市塩原265	0287-31-1150
アグリパル塩原 農村レストラン 関の里	329-2801	那須塩原市関谷442	0287-35-2266
ハンターマウンテン塩原 ビッグアップル	329-2922	那須塩原市湯本塩原字前黒	0287-32-4580
オールヴォワール レストラン&カフェ	329-3156	那須塩原市方京1-1-10 那須ミッドシティホテル1F	0287-67-3332
Chus(チャウス)	325-0045	那須塩原市高砂町6-3	0287-74-5156
UNOYA KITCHEN	329-2726	那須塩原市扇町1-3サンマートプラザ*103	0287-53-7188
御弁当のあきない	329-3436	那須町伊王野1644	0287-75-6062
囲炉裏料理 与一	325-0302	那須町高久丙1338	0287-76-3486
那須高原友愛の森 なすとらん	325-0303	那須町高久乙593-8	0287-78-1219
滝のある釣り堀 那須高原 清流の里	325-0303	那須町高久乙2714-2	0287-78-0337
れすとらん 青柳	325-0304	那須町高久甲5375-3	0287-78-1230
ゲストイン 悠香里	325-0303	那須町高久乙3374-644	0287-74-3978
DOG SPA RESORT アルト ピアーノ	325-0302	那須町高久丙4373-20	0287-74-3870
ステーキハウス寿楽本店	325-0301	那須町湯本379	0287-76-1201
ホテル森の風那須	325-0302	那須町高久丙1179-2	0287-73-5572
ホテル四季の館那須	325-0302	那須町高久丙1179-2	0287-73-8513

(2)小売店

店舗名	〒	所在地	TEL
丸亀精肉店	324-0052	大田原市城山1-6-29	0287-22-2454
㈱たいらや 大田原店	324-0054	大田原市若松町1638-1	0287-20-1313
ベイスシア大田原店	324-0057	大田原市住吉町1-14-12	0287-23-5100
ヨークベニマル大田原住吉店	324-0057	大田原市住吉町2-6-5	0287-20-5800
ヨークベニマル大田原店	324-0047	大田原市美原1-3168-1	0287-20-1494
㈱オータニ 西那須野店	329-2751	那須塩原市東三島5-89-1	0287-39-1511
フードオアシス オータニ 永田店	329-2712	那須塩原市下永田5-1342-3	0287-39-7688

店舗名	〒	所在地	TEL
ベイシア那須塩原店	329-2713	那須塩原市緑2-1155-11	0287-21-2220
ヨークベニマル西那須野店	329-2735	那須塩原市太夫塚6-232-6	0287-37-9421
ヨークベニマル那須塩原店	325-0013	那須塩原市鍋掛1087-27	0287-60-7350
ヨークベニマル黒磯店	325-0057	那須塩原市黒磯幸町2-14	0287-62-2411
ヨークベニマル上厚崎店	325-0026	那須塩原市上厚崎字小林373-1	0287-60-7570
ヨークベニマル西富山店	329-2762	那須塩原市西富山46-1	0287-39-3111

(3)菓子店

店舗名	〒	所在地	TEL
(株)パン・アキモト 石窯パン工房さらむぎ	329-3147	那須塩原市東小屋字砂場368	0287-74-2900
(株)パン・アキモト アキモトパン店	329-3122	那須塩原市塩野崎184-7	0287-74-5225

8 農業の6次産業化総合化事業計画認定一覧

農業の6次産業化とは、農業者が農産物を生産するだけでなく、それを加工し販売するところまで視野に入れた事業展開をすることにより、農業者が多くの利益に関われる仕組みを作ろうという考え方で、六次産業化法に基づく計画認定を受けた農業者の取組を紹介します。

認定時期	認定事業者	所在地	認定計画の概要	主な販売店
H23.5.31	有限会社那須高原今牧場	那須町高久甲5898	チーズ工房を新設し、自家産牛及び山羊の生乳を使ったフレッシュチーズ、セミハードチーズの製造	自社チーズ工房、インターネット通信販売、道の駅(那須高原友愛の森、東山道伊王野)
H24.5.31	農業生産法人株式会社前田牧場	大田原市奥沢111	既存直営店「ファーマーズカフェ」の改築、焼き肉やローストビーフ、熟成肉、餅加工品、ドッグフードの製造	直営店「ファーマーズカフェ」・「ミートショップ」、インターネット通信販売
H24.5.31	ふかさわ梨園	大田原市湯津上1336	「ふかさわ梨園」商品のブランド化を図り、自家産梨を使った「万能たれ」の製造	ふかさわ梨園直売店、そすいの郷直売センター、県内スーパー
H24.10.31	小白井農園	大田原市川田134	高糖度トマトを活かした「小白井農園」をブランド化を図り、自家産トマトの小玉果等を使用した「ピューレ」の製造	自宅直売所、地元スーパー、レストランでの提供
H25.5.31	発田 亮	大田原市南金丸1499-7	自ら生産したブルーベリーを活用したブルーベリージャムや加工用冷凍ブルーベリーの製造販売及びブルーベリーの摘み取り販売を行い所得の向上を図る。	道の駅与一の郷、ゴルフ場、自宅直売所、JA出荷
H26.5.30	有限会社ハーレイ牧場	那須塩原市百村489-3	自社生産のこだわりの生乳を活用し、「スティックチーズ」の製造・販売により、収益の向上を図る。	JR那須塩原駅構内売店、ハーレイ牧場直売所、道の駅(与一の郷、明治の森)、高速道路那須高原SA
H26.10.31	有限会社那須岡田牧場	那須町豊原乙653-6	自社の牛ふんを活用した「牛のさらさら堆肥」の製造に取り組み、専業農家への直接販売や地元の農業資材商社と提携し、一般消費者向けに小売り販売を行い、経営の改善と雇用の拡大を図り、付加価値の高い農業経営を目指す。	カクヤス
H28.6.30	浅野鶏卵 浅野晃子	那須町高久甲6423-1	希少な純国産鶏「もみじ」の有精卵を生かした「那須の子宝たまごの贅沢プリン」の開発・販売事業	TOKOTOKOおおたわら
H29.3.31	青葉屋 平山輝貴	那須町高久甲1994	那須高原で育てた青じそを使った新商品開発・販売事業	道の駅那須高原友愛の森、ろまんちっく村
H30.3.30	人見浩農園 人見浩	那須町高久乙1398	自家産米ゆうだい21を用いた玄米趣味噌の開発・販売事業	インターネット通販、マルシェ
H31.2.28	有限会社ロイヤルベリーズファーム	那須町高久丙4515-5	那須町産ぶどうと耕作放棄地から再生した桑(マルベリー)を活用した新商品開発と自社ワイナリー事業	自社ワイナリー、関連会社
R1.9.30	森林ノ牧場株式会社	那須町豊原乙627-114	放牧で育てたジャージー牛の生乳を使用した発酵バター製造販売事業	自社カフェ、インターネット販売、卸販売

9 那須地方の主要園芸作物(令和5年度)

	品 目 名	作付面積 (ha)	ブランド化状況
1	ねぎ	114	JAなすのブランド園芸作物「那須の白美人ねぎ」
2	なし	74	JAなすのブランド園芸作物「なすの梨」
3	うど	60	JAなすのブランド園芸作物「那須の春香うど」
4	アスパラガス	58	JAなすのブランド園芸作物「那須の高原アスパラ」
5	にら	38	JAなすのブランド園芸作物「那須のにら」
6	なす	23	JAなすのブランド園芸作物「那須の美なす」
7	いちご	20	
8	ブロッコリー	15	
9	トマト	14	JAなすのブランド園芸作物「那須のとまと」
10	菊	8	JAなすのブランド園芸作物「那須の菊」

※那須地方で作付されている園芸作物で作付面積が多い順（JAなすの実績）

※JAなすのブランド園芸作物は、他に春菊「那須の春菊」を含めビューティフルブランド野菜9品目として推進

10 那須地方の直売所等

(1) 農産物直売所

市 町 名	直 売 所 名	店 舗 所 在 地	店 舗 電 話	運 営 団 体 名	定休日・開店期間	自 慢 の 品 名
大 田 原 市	道の駅那須与一の郷 農産物直売館	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	毎日 (1～3月月曜定休)	野菜、米、花、みそ、 まんじゅう
	羽田沼農産物直売所	羽田785	—	羽田沼農産物直売所	土・日曜のみ営業	米、野菜、花
	あさか直売所	浅香2-3389-53	0287-22-4621	(有)21那須北園芸	毎日 (1/1～1/4休業)	野菜、漬物、みそ、米、 花、果物
	直売所くろっぶす侍塚	湯津上154-1	0287-98-3030	直売所くろっぶす侍塚 利用組合	水曜定休	野菜、漬物、まんじゅ う、みそ
	大田原市水遊園直売所 (水遊マート)	佐良土2686 なかがわ水遊園内	0287-98-6003	NPO法人 キャリア コーチ	月曜・第4木曜定休 (なかがわ水遊園休園)	野菜、果物、米、みそ
	鉢木農産物直売所	堀之内271	—	鉢木農産物直売所	月曜定休(7月～8月無 休)	野菜、果物、米、みそ、 漬物
	大田原市ポッポ農園直売 所	片田1200先	0287-54-4368	大田原市ポッポ農園組 合	火曜定休 (8月・10月無休、	野菜、さつま芋
	大田原市黒羽温泉センタ ー内展示直売所	堀之内674	0287-59-0505 農村レストラン「ラーヂセル」	有限会社 中野内下 生産団地	月曜・第4火曜定休 (12/31～1/1休業)	野菜、みそ、漬物
	きらり佐久山農産物直売所	佐久山2554-1	0287-28-1290	株式会社きらり佐久山	毎日 (1/1～1/3休業)	野菜、果物、花卉、まん じゅう、漬物
	大田原市黒羽ふるさと物産 センター直売所	黒羽向町1422-1	0287-54-3152	黒羽ふるさと物産セン ター組合	毎日 (12/30～1/3休業)	野菜、みそ、まんじゅう、 アイスクリーム、漬物
	地産野菜直売所愛菜園	加治屋83	0287-23-9090 080-8842-	地産野菜直売所愛菜 園	毎日 (1/1～1/3休業)	野菜、果物、米、漬物、み そ、花
	TOKOーTOKOマルシェ	中央1-3-15 トコトコ大田原1階	0287-47-4750	(株)大田原まちづくりカ ンパニー	毎日 (1/1休業)	野菜、米、弁当、惣菜
那 須 塩 原 市	那須の駅直売所	鍋掛1475-357	0287-62-0034	那須の駅直売所	毎日 (1/1～1/6休業)	野菜、米
	鳥野目産直所	鳥野目391-1 鳥野目河川公園	0287-64-4334	鳥野目産直会	土・日のみ営業 (祝日除く11月下旬～	野菜、米
	那珂川産直所	黒磯362	0287-64-2581	那珂川産直会	土・日、祝日営業 (冬季休業あり)	野菜
	なすのマルシェ	下厚崎200-4-3	0287-74-3715	なすのマルシェ	火曜定休	野菜、みそ、まんじゅう
	道の駅明治の森・黒磯 明治の森マーケット ※令和6年4月26日オーブ ン予定	青木27	0287-63-0399	(株)明治の森市場	第3火曜日定休(3～11 月) 火曜定休(12月～2月)	野菜、乳製品(チーズ、 ソフトクリーム等)
	高林産直会	木綿畑452-1	0287-68-1092	高林産直会	木曜定休	野菜、米、りんご、きの こ
	ロコスタイルマート	塩野崎184-7 那須ガーデンアウトレット内	0287-74-2267	ロコの会	毎日 (年1回休業)	米・野菜・花卉・漬物
	新菜農産物直売所	鍋掛1091	0287-61-4159	新菜農産物直売所	毎日	野菜、米、漬物
	ふるさとにしなす産直会 そすいの郷直売センター	三区町657-26	0287-37-7768	ふるさとにしなす産直 会	毎日 (1/1～1/6休業)	野菜、米、漬物
	東遅沢ふれあい即売所	東遅沢65	—	東遅沢むらおこし推進 協議会	日曜のみ営業	野菜
	アグリバル塩原農産物直 売所四季彩畑	関谷442	0287-35-3789	(株)アグリバル塩原	1/1を除く毎日	高原大根、ほうれんそう、 キウイ、野菜、ウコン
	たかはら森林組合森林の 駅直売所	関谷1425-60	0287-34-1037	森林の駅直売所運営 振興会	毎日	野菜、果物、きのこ、農 産加工品、林産物
	塩原もの語り館農産物直 売所	塩原747 塩原もの語り館	0287-32-4000	塩原温泉観光協会	毎日 (12～4月中旬休業)	野菜
	みどりの森直売所	東原4-12	0287-63-4713	大森 進	火・木・日営業 (1月～4月中旬休業)	野菜、漬物、菓子、総 菜
	ベリー農場Marche	一区町257	080-2674- 5233	那須ベリーゲツクル会社 有限会社那須野物産	水曜定休	米、野菜、果樹類、花 卉、味噌、漬物、菓子
那 須 町	遊行庵農産物直売所	芦野2584-3	0287-74-1061	遊行庵農産物直売所	火曜定休 (冬期平日休業あり)	野菜、花、米、うどん 粉、米粉
	那須高原友愛の森ふれあ いの郷直売所	高久乙593-8	0287-78-7166	那須未来株式会社	毎日(12～2月は木曜定 休、1/1～1/3休業)	高原野菜、切り花米、み そ、まんじゅう、餅
	道の駅東山道伊王野ふる さと物産センター	伊王野459	0287-75-0577	株式会社道の駅東山 道伊王野	毎日 (1/1～1/3休業)	野菜、米、工芸品、まんじゅ う、みそ、切り花、そば粉
	黒田原駅前みんなの店	寺子丙4-56	0287-74-3631	那須未来株式会社	日曜定休 (12/31～1/3休業)	野菜、惣菜、弁当

那須農業振興事務所調べ

(2)農村レストラン

市町名	農村レストラン名	店舗所在地	店舗電話	運営団体名	定休日・開店期間	自慢の品名
大田原市	道の駅那須与一の郷 レストラン扇亭	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	毎日 (1～3月は第2月曜定休)	天盛りそば
	味処ゆづかみ	佐良土2686 なかがわ水遊園内	0287-98-3055	(公財)栃木県農業振興公社 (栃木県なかがわ水遊園)	月曜・第4木曜定休	手打ちそば、うどん
	農村レストラン ラージヒル	堀之内674	0287-59-0505	(有)中野内下生産団地	月曜・第4火曜定休 (12/31～1/1休業)	季節定食、もつ煮込み定食、野菜炒め定食
	大田原市黒羽ふるさと物産センター お食事処	黒羽向町1422-1	0287-54-3152	黒羽ふるさと物産センター組合	毎日 (12/30～1/3休業)	そば、うどん、手作りコロッケ
	立岩屋	佐久山2554-1	090-3220-1860	立岩屋	火曜定休 (12/31～1/1休業)	ラーメン、からあげ 他
那須塩原市	農村レストラン ファーム高林坊	木綿畑451-1	0287-68-7775	(株)ファーム高林坊	木曜定休 (GW、祝日、年末、お盆は臨時営業)	高林そば、うどん
	道の駅明治の森・黒磯 明治の森ダイニング ※令和6年4月26日 オープン予定	青木27	0287-63-0399	(株)明治の森市場	第3火曜日定休 (3～11月) 火曜定休 (12月～2月)	ハンバーグ、カレーライス
	農村レストラン 「そすい庵」	三区町656-2	0287-37-8201	ふるさとにします産直会	毎日 (1/1～1/6休業)	手打ちそば、うどん、野菜のてんぷら
	アグリバル塩原 農村レストラン「関の里」	関谷442 アグリバル塩原内	0287-35-2266	(株)アグリバル塩原	毎日 (1/1休業、6月・12月臨時休業有)	関の里セット、きのこめし、手打ちそば・うどん
	アグリバル塩原 あぐりのかふえ	関谷442 アグリバル塩原内	0287-35-3779	(株)アグリバル塩原	毎日 (1/1休業、6月・12月臨時休業有)	ジェラート、菓子
	関谷もみじの郷	関谷448-1	080-3699-4016	関谷もみじの郷運営協議会	火曜定休	そば、天ぷら
那須町	あしの食堂	芦野2584-3	0287-74-1061	遊行庵農産物直売所	火曜定休	定食、ラーメン
	道の駅東山道伊王野 お食事処「水車館」	伊王野459	0287-75-0654	株式会社道の駅東山道伊王野	毎日(1/1～1/3休業)	伊王野水車そば、天ざるそば
	道の駅東山道伊王野 和食処「あんず館」	伊王野459	0287-75-3030	株式会社道の駅東山道伊王野	毎日(1/1～1/3休業)	後藤牛ローストビーフ丼、プレミアムヤシオマス丼
	那須高原友愛の森那須の食レストランなすとらん	高久乙593-8	0287-78-1219	那須未来株式会社	毎日(12月～3月は火曜定休)	なすべん、和牛ステーキ丼・季節のカレーセット

那須農業振興事務所調べ

(3)農産物加工所

市町名	加工所名	所在地	電話番号	利用団体名	加工品目
大田原市	倉骨野菜直売所のぞみ会農産物加工施設	倉骨246	—	倉骨野菜直売所のぞみ会	味噌、米花、まんじゅう
	ふれあいの丘農産物加工施設	福原1411-22	—	ふれあい漬物加工所	漬物
	道の駅那須与一の郷加工・物産館	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	ジェラート
	湯津上農産物加工所	湯津上3419	—	JAなすの	まんじゅう、漬物
	直売所くろつぷす侍塚	湯津上154-1	0287-98-3030	直売所くろつぷす侍塚利用組合	まんじゅう、もち、赤飯、漬物
	ひまわり農産加工組合	片府田1083-3	0287-98-3744	ひまわり農産加工組合	みそ、三五八、米花
	黒羽ふるさと物産センター くろばね農産加工所	大輪266-3	0287-59-0848	黒羽ふるさと物産センター組合	味噌、まんじゅう、もち、漬物
那須塩原市	高林坊農産加工施設	木綿畑451-1	0287-68-7775	(株)ファーム高林坊	自家製粉(そば)、うどん、そばの麺加工
	そすいの郷農産物加工所	三区町656-2	0287-37-7768	ふるさとにします産直会	弁当、菓子、麺類、味噌
	アグリバル塩原 夢工房もみじ村	関谷442	0287-35-3687	(株)アグリバル塩原	まんじゅう、焼き菓子、だんご、羊羹
那須町	那須高原友愛の森ふれあいの郷直売所(加工部門)	高久乙593-8	0287-78-7166	那須未来株式会社	すいとん、カレー、うどん、コロッケ、焼きそば、天ぷら

那須農業振興事務所調べ

11 カントリーエレベーター・ライスセンター設置状況

(1)カントリーエレベーター(農協)設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年 度)	施 設 概 要						処 理 能 力				事業名
				DS	貯蔵能力	貯蔵施設形式	ばら 出荷施設	指定 倉庫	施工 業者名	面積(ha)		処理量(t)		
										米	麦	乾籾	麦	
大田原CE	大田原市 浅香	那須野農協 (大田原市農協)	S44 (H4)		2,000	コンクリート サイロ	○	○	佐竹 製作所	240	360	1,512	#####	米生産総合改善 パイロット事業 (先進的農業生産 総合推進対策事 業)
大田原金丸CE	大田原市 北金丸	那須野農協 (大田原市農協)	S45 (S54,56)		2,000	コンクリート サイロ	○	○	佐竹 製作所	195	122	1,171	440	米生産総合改善 パイロット事業 (先進的農業生産 総合推進対策事 業)
塩那CE	那須塩原市 四区町	那須野農協 (塩那農協)	H5 H4繰越	50t×14基	3,000	二重鉄板製 サイロ	○	○	ヤンマー 農機㈱	500	150	2,370	514	先進的農業生産 総合推進対策事 業

(2)ライスセンター等(農協)設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年 度)	施 設 概 要			処 理 能 力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
							米	麦	乾籾	麦	
川西RC	大田原市 蜂巢	那須野農協 (那須川西農協)	S63 (H10)	循環式 20t×3基	50t×8基	○	145	155 大豆200	870	580 大豆 556	水田農業確立対策推進事業
鉢木種子セン ター	大田原市 前田	那須野農協 (黒羽農協)	H2	循環式 3.3t×12基		○	250	70	1,000	210	主要農作物種子生産改善事業 (H17年に交換のため無し)
			H3	循環式 3.3t×4基		○	30	8	178	40	県単水田農業確立対策特別事業
			H7	循環式 4.3t×10基		○	20		70		農業生産体制強化総合推進対策 事業 北滝RC 6基 寺宿RC 4基
			H17	循環式 4.0t×10基 スタアデボ 100t×2基		○	250	70	1,000	210	強い農業づくり(競争力強化総合 対策事業)
那須RC	那須町 富岡	那須野農協 (那須町農協)	H4 (H21)	循環式 20t×2基	50t×36基	○	300		1,723	300	先進的農業生産総合推進対策事 業 強い農業づくり(産地競争力の強 化)
調製品質管理セ ンター(粳摺調製 施設)	大田原市 富池	那須野農協	H25			○			8,031	3,800	東日本大震災農業生産対策事業
富池乾燥施設	大田原市 富池	那須野農協	H25	累積混合 300t×6基 循環式 20t×3基	50t×5基	○	262	89	1,800	300	東日本大震災農業生産対策事業
湯津上乾燥施設	大田原市 湯津上	那須野農協	H25	累積混合 300t×3 基、150t ×1基		○	130		900		東日本大震災農業生産対策事業
黒磯RC	那須塩原市 黒磯	那須野農協	H30	累積混合 250t×6基 循環式 25t×2基		○	飼料用米 210 主食用米 134		飼料用米 1,500 主食用米 900		強い農業づくり(産地競争力の強 化)

(3)ライスセンター等設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年 度)	施 設 概 要			処 理 能 力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
							米	麦	乾籾	麦	
吉際ライスセン ター	大田原市 富池	吉際生産組合	S51 (S63)	循環式 3.2t×6基		○	35	12	171 (137)	44	高能率集団営農推進対策事業
荒井町島ライス センター	大田原市 中田原	荒井町島 営農集団組合	S52 (S58)	循環式 2.6t×3 基 (2.4t ×2基)		×	30	10	200 (160)	30	高能率集団営農改善事業
乾燥調製施設	大田原市 蛭田	富士山荒井 水稻機械組合	S54	循環式 3.8t×2基		×	45		218 (174)		第二次農業構造改善事業
乾燥調製施設	大田原市 蛭田	上蛭田水稻機械組 合	S54	循環式 3.8t×1基		×	26		125 (100)		第二次農業構造改善事業

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年 度)	施 設 概 要			処 理 能 力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
							米	麦	乾粳	麦	
長倉営農集団乾燥施設	大田原市 北金丸	長倉営農集団	S57	循環式 3.7t×4基		×	12	18	50	15	新農業構造改善事業
一区乾燥調製施設	那須塩原市 西那須野	一区麦作生産集団	S58 (H3)	循環式 4t×4基 (4t×1基)	20t×1基	○	55	25	320	100	米麦低コスト
南区堆厩肥利用 組合乾燥施設	大田原市 親園	南区堆厩肥 利用組合	S58 (H1)	循環式 4t×5基		○	50	12	270 (216)	56	主要穀物等生産総合振興対策事業
稲荷原近代化生産 組合乾燥調製施設	大田原市 奥沢	稲荷原近代化 生産組合	S59	循環式 4t×6基		○	28	27	148 (118)	122	水田作総合改善モデル地区設置 運営事業
羽田近代化営農 組合共同乾燥調 製施設	大田原市 羽田	羽田近代化 営農組合	S60	循環式 4t×4基		○	40	20	200	91	水田利用再編対策推進事業
沼坪近代化営農 集団共同乾燥調 製施設	大田原市 花園	沼坪営農集団	S60	流環式 4t×7基		○	65	40	332 (256)	163	米麦等大規模乾燥施設整備事業
共同乾燥調製施設	大田原市 湯津上	石田営農集団	S61	循環式 4t×3基		○	30	5	147 (118)	520	水田作総合改善モデル地区設置 運営事業
穀類共同乾燥調 製施設	大田原市 小滝	小滝営農集団	S62	循環式 5t×3基		○	43	27	208 (166)	114	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 新宿	新宿ライスセンター	S63	循環式 4t×4基		○	38	16	246 (197)	74	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市 大貫	上大貫生産集団	S63	流環式 4t×5基		○	38	20	257	105	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 練貫	練貫営農組合	H1	循環式 4t×6基		○	35	23	189 (151)	149	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 大神	大神営農集団	H1	循環式 5t×3基		○	30	25	201 (160)	109	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市 北和田	北和田営農組合	H1	循環式 5t×4基		○	35	16	268 (214)	70	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 実取	実取近代化営農集団	H2	循環式 4t×7基		○	32	24	192 (154)	101	水田農業確立対策推進事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市 野間	野間麦作生産集団	H2	循環式 5t×3基		○	30	15	162 (130)	61	高生産性地域営農機関施設整備 事業
中野内ライスセンター	大田原市 中野内	那須野農協(黒羽町 農協)	H3	循環式 3.3t×4基		○	30	8	180	25	県単米麦低コスト生産流通モデル 事業
共同乾燥調製施設	那須町 黒田原	成沢営農集団	H7				30		158		地域農業基盤確立農業構造改善 事業
共同乾燥調製施設	大田原市 須佐木	須賀川地区営農組合	H14				30		144		新山村振興等農林漁業特別対策 事業
共同乾燥調製施設	大田原市 上奥沢	上奥沢営農組合	H15	循環式 5t×6基		○	60	20	390	85	経営構造対策事業
共同乾燥調製施設	大田原市 上薄葉	農事組合法人グリーン ンリーのさき	H19	循環式 5t×4基		○	30	5	207	18	経営構造対策事業

12 令和5年度経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付面積
(R6. 1. 31現在)

単位: 件、㎡

			大田原市	那須塩原市	那須町	管内計	
営農計画書の提出件数(交付申請者数)			1,466	951	516	2,933	
畑作物の直接支払交付金の生産面積	小麦		219,300	48,570	0	267,870	
	二条大麦		7,483,010	1,878,630	204,239	9,565,879	
	六条大麦		43,280	371,160	0	414,440	
	はだか麦		0	0	0	0	
	大豆		2,693,770	1,214,400	5,700	3,913,870	
	てん菜		0	0	0	0	
	でん粉原料用ばれいしょ		0	0	0	0	
	そば		1,117,120	716,690	380,473	2,214,283	
	なたね		9,610	0	0	9,610	
水田活用の直接支払交付金の作付面積	戦略作物助成	麦	5,704,000	1,698,683	151,039	7,553,722	
		大豆	238,700	563,680	10,300	812,680	
		飼料作物(除くWCS用稲)	3,390,100	8,916,691	3,753,705	16,060,496	
		うち子実用とうもろこし	0	0	0	0	
		うち青刈りとうもろこし	362,000	2,075,370	248,200	2,685,570	
		WCS用稲	5,681,200	4,328,479	1,748,934	11,758,613	
		米粉用米	0	10,360	0	10,360	
		飼料用米	9,724,200	5,124,423	1,086,108	15,934,731	
		うち生もみを直接利用する取組を除く	9,724,200	5,124,423	1,079,108	15,927,731	
		うち生もみを直接利用する取組	0	0	7,000	7,000	
		加工用米	1,036,900	1,124,737	35,940	2,197,577	
	産地交付金の追加配分等	飼料用米(複数年契約)	0	0		0	
		米粉用米(複数年契約)	0	0		0	
		そば(基幹作)	451,200	372,290	322,693	1,146,183	
		なたね(基幹作)	6,000	0	0	6,000	
		新市場開拓用米(基幹作)	100,400	16,626	183,300	300,326	
	産地交付金におけるその他作物の助成	野菜	3,814,200	1,513,993	339,949	5,668,142	
		花き・花木	115,500	779,908	38,885	934,293	
		果樹	0	0	0	0	
		その他	19,600	0	0	19,600	
	【参考】主食用米等及び二毛作面積	二毛作	主食用米	51,145,611	34,847,769	16,774,985	102,768,365
			麦	2,465,100	621,547	0	3,086,647
			大豆	2,476,900	669,390	0	3,146,290
			飼料作物(除くWCS用稲)	3,952,000	7,078,106	1,454,813	12,484,919
			WCS用稲	0	0	0	0
			米粉用米	0	0	0	0
			飼料用米	0	0	0	0
加工用米			0	0	0	0	
新市場開拓用米			0	0	0	0	
そば			702,000	366,500	43,500	1,112,000	
なたね		0	0	0	0		
備蓄米		2,500,122	50,960	0	2,551,082		
米及び水田活用の直接支払交付金の交付対象農地		97,685,050	67,588,736	31,193,386	196,467,172		
うち加入者の面積		72,994,930	50,491,528	30,023,524	153,509,982		
主食用米の作付参考値	面積(ha)		4,634	3,237	1,688		
	作付参考値数量換算値(トン)		26,879	18,385	9,200		

13 令和5年度多面的機能支払交付金実施状況

R6(2024).3

		単位	大田原市	那須塩原市	那須町	計	
農振農用地面積(R4.12.31)		ha	11, 316	9, 499	6, 230	27,044	
農 支 地 払 維 持	取組地区数	組織	52	40	19	111	
	交付金	千円	160, 190	83, 957	16, 047	260,194	
	面積計 ②	ha	5, 415	3, 011	541	8,967	
	率 ②/①	%	47. 9%	31. 7%	8. 7%	33.2%	
資 源 向 上 支 払	共同活動	取組地区数	組織	42	32	6	80
		交付金	千円	79, 792	43, 014	4, 661	127,467
		面積計 ③	ha	4, 367	2, 600	263	7,230
		率 ③/①	%	38. 6%	27. 4%	4. 2%	26.7%
	長寿命化	取組地区数	組織	0	2	2	4
		交付金	千円	0	3, 027	1, 122	4,149
		面積計 ④	ha	0	204	88	292
		率 ④/①	%	0. 0%	2. 1%	1. 4%	1.1%
計	交付金計	千円	239, 982	129, 998	21, 830	391,810	

14 令和5年度農業制度金融承認実績(令和5年12月末現在)

(単位:千円)

種 別		市町名		大田原市		那須塩原市		那須町		地方計		県計	地方／県	前年実績	
		件数・金額		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額			件数	金 額
農 業 近 代 化 資 金				32	183,800	36	259,840	5	41,850	73	485,490	1,533,150	31.7%	295	1,860,590
就 農 支 援 資 金															
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	農 業 改 良 資 金													1	3,700
	農 業 経 営 基 盤 強 化 資 金											2,577,170		133	7,383,750
	経 営 体 育 成 強 化 資 金											16,260		5	147,010
	農 林 漁 業 セーフティネット 資 金											378,000		71	4,096,000
	青 年 等 就 農 資 金											712,174		68	631,249
	そ の 他 の 公 庫 資 金											1,183,460		84	922,571
	合 計											4,867,064		362	13,184,280
農 業 経 営 負 担 軽 減 支 援 資 金															
農 業 経 営 改 善 促 進 資 金												2,400		1	2,400
災 害 条 例 資 金															
畜 産 特 別 資 金															
畜 産 経 営 体 質 強 化 支 援 資 金															
合 計				32	183,800	36	259,840	5	41,850	73	485,490	6,402,614		658	15,047,270

(県経済流通課調べ)

15 令和5年度主要事業実施状況

令和6年3月現在 (千円)

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
管理部							
農業委員会交付金			大田原市	大田原市農業委員会	職員設置費	24,059	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	職員設置費	16,340	
			那須町	那須町農業委員会	職員設置費	13,694	
機構集積支援事業			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	農地法に基づく事務の適性実施のための支援事業、農地の有効利用を図るための支援事業	3,067	
情報収集等業務効率化支援事業			大田原市	大田原市農業委員会	タブレット端末購入費	867	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	タブレット端末購入費	743	
			那須町	那須町農業委員会	タブレット端末購入費	402	
農地利用最適化交付金			大田原市	大田原市農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	12,469	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	13,519	
			那須町	那須町農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	9,817	
企画振興部							
農業団体等需給調整推進事業	地域協議会需給調整推進事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	296	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	204	
			那須町	那須町農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	200	
経営所得安定対策直接支払事業推進事業			大田原市	大田原市農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	16,262	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	11,810	
			那須町	那須町農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	7,145	
畑地化促進事業	土地改良区済済金等支援		那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	土地改良区地区除外済済金の助成金	22,750	
水田農業構造改革推進事業	作付転換拡大緊急対策支援事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	主食用米からの転換拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	1,922	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	主食用米からの転換拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	546	
			那須町	那須町農業再生協議会	主食用米からの転換拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	286	
農業人材力強化総合支援事業			大田原市	大田原市	農業次世代人材投資資金(経営開始型)、事業実施に係る事務費等	9,486	
			那須塩原市	那須塩原市	農業次世代人材投資資金(経営開始型)、事業実施に係る事務費等	3,050	
新規就農者育成総合対策事業			大田原市	大田原市	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	4,500	
			那須塩原市	那須塩原市	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	5,250	
新規就農者育成総合対策事業(R5補正)			大田原市	大田原市	新規就農者育成総合対策(経営開始支援資金)	750	
			那須塩原市	那須塩原市	新規就農者育成総合対策(経営開始支援資金)	750	

令和6年3月現在 (千円)

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
園芸産地改革推進事業費	燃油価格高騰対応省エネ支援事業費		大田原市 那須塩原市	那須野農業協同組合いちご部会	循環扇34台、環境制御システム1式、高機能内張資材71.7a	3,442	
			大田原市	那須鉢花生産組合	内張カーテン21a	6,006	
地域計画策定推進緊急対策事業			大田原市	大田原市	消耗品費、人件費、通信運搬費	530	
			那須塩原市	那須塩原市	消耗品、通信運搬費	204	
			那須町	那須町	消耗品費、通信運搬費、業務委託費	1,261	
農畜産物放射性物質影響緩和対策支援事業	産地競争力の強化(推進事業:放射性物質吸収抑制対策)		那須塩原市	那須野農業協同組合農産物受検組合他2団体	放射性物質の吸収抑制のための大豆、そばの加里肥料施用	6,060	
麦・大豆生産技術向上事業	県産小麦・大豆供給力強化事業		大田原市	(株)秋本農園、Beans	コンバイン3台、スタブルカルチ1台、レーザーレベラー1台、トラクター2台、カルチ1台、ロータリー1台、新たな営農技術導入費	43,040	
産地生産基盤パワーアップ事業	基金事業		大田原市	那須野農業協同組合	アスバラ選別施設建物1,592.0㎡(延床面積1,893.0㎡)予冷庫166.0㎡予冷設備一式簡易デバレタイザー1台選別機2台、計量機7台包装機6台、製函機1台封函機1台、半自動結束機4台	911,350 (未確定)	R6年度 へ繰越
農地集積・集約化対策事業	機構集積協力金交付事業		那須塩原市	那須塩原市	地域集積協力金 6,856a 経営転換協力金 608a	19,650	
畜産担い手育成総合整備事業		大田原・ 那須地区	那須町	(公財)栃木県農業振興公社	飼料畑造成(付帯設備) 1式 施設用地造成 0.62ha 牛舎 720㎡、1棟 堆肥舎 1,020㎡、2棟	157,332	
畜産担い手育成総合整備事業		那須塩原 地区	那須塩原市	(公財)栃木県農業振興公社	草地等造成改良 6.90ha 水質汚濁防止施設 1式	139,845	
畜産担い手育成総合整備事業		那須高原 牧場地区	大田原市	(公財)栃木県農業振興公社	草地造成 0.42 ha 草地整備 7.26 ha 雑用水整備 1式 障壁物 2,211m	68,266	
			那須町	(公財)栃木県農業振興公社	草地整備 13.0ha 鳥獣被害防止柵 1,948m	54,560	
農地利用効率化等支援交付金(R4)	融資主体支援タイプ		大田原市	大田原市	農業機械の導入(1件)	6,750	R5年度へ 繰越
農地利用効率化等支援交付金	融資主体支援タイプ		大田原市	大田原市	農業機械・施設の導入(2件)	14,005	
			那須塩原市	那須塩原市	農業機械の導入(1件)	13,400	
			那須町	那須町	農業機械の導入(2件)	3,335	
担い手確保・経営強化支援事業(R04補正)	融資主体型補助事業		大田原市	大田原市	農業機械・施設の導入(1件)	33,438	R5年度へ 繰越
			那須塩原市	那須塩原市	農業機械の導入(1件)	32,744	R5年度へ 繰越
中山間地域等直接支払制度	中山間地域等直接支払交付金	塩原、高林	那須塩原市	那須塩原市	急傾斜農地等の維持管理等	1,534	
		両郷、須賀川、黒羽	大田原市	大田原市	急傾斜農地等の維持管理等	22,882	
		芦野、伊王野、那須	那須町	那須町	急傾斜農地等の維持管理等	44,520	
	中山間地域等直接支払推進交付金		那須塩原市	那須塩原市	事業の推進・確認・交付事務等	20	
			大田原市	大田原市	事業の推進・確認・交付事務等	27	
			那須町	那須町	事業の推進・確認・交付事務等	60	
中山間地域実践活動支援事業	中山間地域実践活動支援事業費補助金	那須	那須町	那須未来株式会社	魅力ある売場づくり、出荷体制の検討	446	
		那須根	那須塩原市	株式会社アグリバル塩原	レストラン関の里のマニュアル整備	330	

令和6年3月現在（千円）

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
農村ファン受入体制強化事業	実践活動支援事業費補助金	塩原	那須塩原市	塩原アウトドア関係者連絡協議会	将来ビジョンに基づく受入体制整備	52	
中山間地域元気創出事業	いどばた会議推進	伊王野	那須町	那須農業振興事務所	直売所で販売する新たなパンメニュー開発	300	
中山間地農業ルネッサンス推進事業			那須町	那須町	道の駅那須高原友愛の森における販売戦略作成・新メニュー開発	50	
ユニバーサル農業発展支援事業			大田原市	須賀川地区ユニバーサル農業推進協議会	ラベルプリンター 茶袋シーラーの導入	410	
農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）			那須塩原市	株式会社明治の森市場	道の駅明治の森黒磯における乳製品及び経産牛メニュー開発	397	
とちぎ農産物戦略的輸出拡大事業			那須塩原市	鈴木レジャー産業株式会社	県産牛肉の輸出拡大に向けた取組	187	
経営普及部							
園芸大国とちぎづくりフル加速推進事業	施設園芸拡大プロジェクト整備事業		大田原市 那須塩原市	JAなすのアスパラ部会	パイプハウスk-20型灌水設備一式(72.12a)、灌水設備一式(35.04a)、ウォーターカーテン一式(36.8)	32,784	
			那須塩原市 那須町	那須地方夏秋こりいちご生産協議会	高設ベンチ一式(13a)、遮光カーテン(13a)、細霧冷房(0.9a)	10,167	
土地利用型園芸産地展開加速化事業	メガ産地育成事業		大田原市	JAなすのねぎ選果施設運営委員会	ねぎ増産に必要な出荷資材購入費	6,424	
果樹経営支援対策整備事業	優良品目、品種への転換等		大田原市 那須塩原市	那須地方なし産地構造改革協議会	省力樹形への改植	1,584	
果樹木収益期間支援事業			大田原市 那須塩原市	那須地方なし産地構造改革協議会	改植に伴う未収益期間に要する経費の補助	348	

令和6年3月現在 (千円)

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払推進交付金)			大田原市	大田原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	700	
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払推進交付金)			那須塩原市	那須塩原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	551	端数切り上げ
			那須町	那須町	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	900	端数切り上げ
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払交付金)			大田原市	大田原市	取組農業団体に対する交付金	9,541	端数切り上げ
			那須塩原市	那須塩原市	取組農業団体に対する交付金	46,462	端数切り上げ
			那須町	那須町	取組農業団体に対する交付金	20,345	端数切り上げ
鳥獣被害防止総合対策推進事業(総合支援事業)			大田原市	大田原市野生鳥獣被害対策連絡協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	1,390	端数四捨五入
			那須塩原市	那須塩原市野生鳥獣対策協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	3,358	端数四捨五入
			那須町	那須町地域担い手育成総合支援協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	220	端数四捨五入
意欲ある新規就農者の確保育成事業費	経営資源有効活用リフォーム支援事業費		大田原市 2名 那須塩原市	認定新規就農者3名	新規就農にあたり中古施設等の修繕に係る経費	6,090	端数四捨五入
飼料生産対策事業費	堆肥利活用推進事業		那須塩原市	佐良土堆肥利活用協議会、笹沼堆肥利活用	家畜ふん堆肥の有効活用に必要な機械の導入支援	1,872	端数四捨五入
	持続的畜産経営推進事業		那須塩原市	里山社中、帯根湯津上稲WCS生産利用組合	飼料生産担い手確保推進事業に要する経費	712	端数四捨五入
水田農業構造改革推進事業費	栃木のお米超低コスト生産対策事業		那須塩原市	アーデルファーム株式会社	スマート農業機械の活用による作業の省力化及び低コスト生産の実践	187	
農村整備部							
農村振興総合整備事業		那須北	大田原市 那須塩原市	県	水路工 L=0.3km 調整池工 N=1箇所 補償1式	30,000	R4繰越 30,000
農業競争力強化 基盤整備事業		荒井町 島	大田原市	県	水路工 L=544m、 測量試験費1式、 換地業務1式	136,000	R4繰越 6,000 R4補正 (TPP) 60,000 R5局明許 42,000 R5一般 28,000
		下深田	大田原市	県	水路工 L=760m 測量試験費1式、 換地業務1式	66,000	R4繰越 4,000 R4補正 20,000 R5局明許 29,000 R5一般 13,000
		中田原	大田原市	県	区画整理 A=8.5ha 測量試験費1式 補償費1式 換地業務1式	304,000	R4繰越 50,000 R4補正 (TPP) 158,000 R5局明許 30,000 R5一般 49,000 R5耕作条件 17,000
		練貫	大田原市	県	測量試験費1式、 換地業務1式	72,000	
		荒井町島	大田原市	県	ソフト費	10	
		下深田	大田原市	県	ソフト費	10	
		中田原	大田原市	県	ソフト費	10	
		練貫	大田原市	県	ソフト費	10	

令和6年3月現在（千円）

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
農業農村整備計画調査費		倉骨	大田原市	県	計画設計業務	3,355	
基幹水利施設管理事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	管理業務	6,358	
		塩那台地	大田原市	県	管理業務	39,081	
換地関係指導事務費		大田原市	大田原市	県	換地関係指導（荒井町島、下深田、中田原、練貫地区）	390	
農業水利施設省エネルギー化推進事業	農業水利施設省エネルギー化推進事業	塩那台地	大田原市等	県	交付金	4,861	
		大田原市土地改良区	大田原市	大田原市	交付金	1,981	
		湯津上土地改良区	大田原市	大田原市	交付金	1,165	
		黒羽土地改良区	大田原市	大田原市	交付金	810	
水利施設管理強化事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	大田原市 那須塩原市	管理業務	40,422	
		塩那台地	大田原市	大田原市	管理業務	2,050	
県単換地等調整事業	県単換地等調整事業	赤瀬台	大田原市	大田原市	換地等調整事業 1式	1,300	
農村地域防災減災事業	防災重点農業用ため池緊急整備事業	熊久保望田水利組合ため池	那須塩原市	那須塩原市	実施計画書策定 1式	992	R5現年
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	熊久保望田水利組合ため池	那須塩原市	那須塩原市	測量試験費 1式	4,000	R5補正 (R6へ繰越)
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	左内溜	那須町	那須町	実施計画書策定 1式	992	R5現年
	ため池整備事業	左内溜	那須町	那須町	測量試験費 1式	6,000	R5補正 (R6へ繰越)
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	飛倉溜	那須町	那須町	測量試験費 1式	990	R5現年
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	熊久保望田水利組合ため池	那須塩原市	那須塩原市	看板設置1式	300	R5現年
農地耕作条件改善事業	農作業道等	荒井町島2	大田原市	大田原市	農道（舗装）工 L=862m	53,000	
	農業用排水施設	湯津上東堀2	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機場電気施設更新 1基	26,000	R5繰越 26,000
	農業用排水施設	佐良土上の台	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機1基、用水路工 L=569m	68,500	
	農業用排水施設	巻川7	大田原市	湯津上土地改良区	排水路工 L=18.5m	4,000	
	農業用排水施設	片府田4	大田原市	湯津上土地改良区	排水路工 L=269m	18,000	
	農業用排水施設	片田2	大田原市	黒羽土地改良区	取水堰 1箇所	27,185	R5繰越 1,500
	農業用排水施設	川西西部4	大田原市	黒羽土地改良区	用水路工 L=417m	12,000	
	農業用排水施設	川田3	大田原市	黒羽土地改良区	用水路工 L=162m	26,700	
	農作業道等	杓掛	那須塩原市	那須塩原市	農道（舗装）工 L=365.8m	51,000	R3繰越 29,079 R4一般 9,000
	農業用排水施設	石田坂	那須塩原市	那須塩原市	揚水機場電気施設更新 測量設計 一式	1,000	
地籍調査		大田原市	大田原市	大田原市	A=0.75km ²	3,960	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	A=0.08km ²	8,800	
		那須町	那須町	那須町	A=2.50km ²	7,248	R5繰越 4,500
農地集積促進事業 （調査・調整事業）		荒井町島	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
		下深田	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	200	
		中田原	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	200	
		練貫	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
県単農業農村整備事業		品川	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機設置1基 （さく井90m、水中ポンプ工事）	8,600	
		佐久山	大田原市	大田原市土地改良区	水路工L=9.5m	2,700	
		佐良土東堀代2高野	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機更新1基	1,000	

令和6年3月現在（千円）

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
県単農業農村整備事業		三本木佐野4	那須塩原市	那須塩原市	測試・用買補償一式 (実施設計(L=550m) 用地測量・用地買収費 (A=828.3m2))	9,885	
		苦戸川	那須町	那須町土地改良区	かご枠工L=5.0m モノレール工L=330m	13,100	
		高原	那須町	那須町土地改良区	水路工L=75.0m	18,400	
		山梨子	那須町	江戸川用水土地改良区	水路工L=272.5m	30,000	
多面的機能支払(交付金)		大田原市	大田原市	大田原市	農地維持支払52地区等 A=5.415ha	239,982	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	農地維持支払40地区等 A=3.011ha	129,999	
		那須町	那須町	那須町	農地維持支払19地区等 A=541ha	21,830	
多面的機能支払(推進費)		大田原市	大田原市	大田原市		567	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市		300	
		那須町	那須町	那須町		95	
那須広域ダム管理所							
深山・板室ダム管理事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	深山・板室ダム管理業務	66,627	
水利施設整備事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	管理棟新築工事他一式	396,928	R4繰越: 227,818 R5一般: 169,110 R6繰越: 150,080

16 市町村の地域指定等について

	大田原市	那須塩原市	那須町	備考
旧市町村名	大田原市(大田原町、親園村、金田村、野崎村、佐久山町) 湯津上村 黒羽町(黒羽町、川西町、須賀川村、両郷村)	黒磯市(黒磯町、鍋掛村、東那須野村、高林村) 西那須野町(西那須野町、狩野村) 塩原町(塩原町、箒根村)	那須村 芦野村 伊王野村	
特定農山村法の指定地域	旧黒羽町(旧須賀川村)	旧黒磯市(旧高林村) 旧塩原町(全域)	旧伊王野村	特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律(H5)
山村振興法の指定地域	旧黒羽町 (旧須賀川村(S43)・旧両郷村(S46))	旧黒磯市(旧高林村)(S41) 旧塩原町(全域)(S46)	旧伊王野村(S42) 旧芦野村(S42)	山村振興法(S40) (H37.3.31までの時限立法)
豪雪地帯		旧黒磯市(S38.11.1) 旧塩原町(S38.11.1)	那須町(S38.11.1)	豪雪地帯対策特別措置法(S37)
未線引き都市計画区域	一部(35,436ha内13,380ha) (S50.7.1)	旧黒磯市一部(34,312ha内15,760ha)(S50.7.1) 旧西那須野町全部(5,963ha)(S31.4.27) 旧塩原町一部(19,007ha内17,928ha)(S57.12.24)	一部(37,231ha内26,044ha) (S50.7.1)	都市計画法(S43)
風致地区	城山公園(約5.2ha)(S45.7.24) 大田原公園(約19.3ha)(S45.7.24)	-	-	都市計画法(S43)
首都圏整備法に基づく都市開発区域	一部指定	旧西那須野町指定 旧塩原町一部指定		首都圏整備法(S31)
低開発地域工業開発地区	塩那地区 (大田原市)	- (解除)	塩那地区 (那須町)	低開発地域工業開発促進法(S36)
工業再配置促進法に基づく誘導地域	大田原市 旧湯津上村 旧黒羽町	旧黒磯市 旧西那須野町 旧塩原町	那須町	工業再配置促進法(S47)
農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく農村地域 ※	-	-	那須町	農村地域への産業の導入の促進等に関する法律」 (H28)(旧農工法)
地域拠点法に基づく地域拠点都市地域	大田原市	旧黒磯市 旧西那須野町	-	地域拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法(H4)
野菜指定産地	那須(冬春トマト) H14.3.22 那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30	栃木県北高冷地 (夏だいこん) S41.8.18 那須(冬春トマト) H14.3.22 那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30 日塩(ほうれんそう) S48.12.20	那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30 日塩(ほうれんそう) S48.12.20	野菜生産出荷安定法(S41)
農村休暇法(第5条)による市町村計画作成年月日	H10.12.1(旧湯津上村) H8.10.1(旧黒羽町)	H8.10.1(旧黒磯市)	-	農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法(H6)
農業振興振興地域の地域指定年月日	H17.10.31	H17.1.28	S47.11.10	農業振興地域の整備に関する法(S44)
農振整備計画策定年月日	H16.2.3	旧黒磯市(H13.9.20) 旧西那須野町(H12.4.19) 旧塩原町(H9.8.11)	H9.10.21	農業振興地域の整備に関する法(S44)
中山間地域等直接支払対象地域	法指定地域(旧須賀川村、旧両郷村、旧黒羽町、旧川西村、旧湯津上村) 知事特認地域(旧金田村、旧親園村、旧佐久山村、旧野崎村2-1)	法指定地域(旧高林村、旧箒根村、旧塩原町) 知事特認地域(旧黒磯町、旧鍋掛村2-1、旧東那須野村、旧狩野村、旧西那須野村)	法指定地域(旧芦野村、旧伊王野村) 知事特認地域(旧那須村)	食料・農業・農村基本法(H11) 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律(H26)
市町村振興計画の名称		第2次那須塩原市総合計画(H29～H38年度)	第7次那須町振興計画(H28～H37年度)	
市町村木	いちよう(S49.11.1)	まつ(H18.3.15)	ごようまつ(S54.11.3)	
市町村花	キク(S49.11.1)	やしおつつじ(H18.3.15)	りんどう(S54.11.3)	
市町村鳥	ウグイス、ヒバリ(R元.10.26)	-	かつこう(S54.11.3)	
市町村魚	ミヤコタナゴ(S49.11.1)	-	-	
農業地域類型	平地農業地域 水田型	中間農業地域 水田型	中間農業地域 田畑型	農林統計

※農村地域工業等導入促進法(旧農工法)に基づく地域指定は、首都圏整備法との関係で市町村合併時点で大田原市、那須塩原市で解除(ただし既存立地への影響はなし)

17 実質化された人・農地プランの更新状況等

令和6年3月末現在

No.	対象地区名	区域名(集落名)	作成 年月日	更新 年月日
大田原市				
1	大田原地区	東地区	R3.3.25	R6.3.19
2		北地区	R3.3.25	R6.3.19
3		西地区	R3.3.25	R6.3.19
4	金田地区	中田原	R2.2.22	R6.3.19
5		町島・荒井・岡・今泉・戸野内	R2.2.22	R6.3.19
6		富池・市野沢・練貫	R2.2.22	R6.3.19
7		羽田・乙連沢・小滝	R2.2.22	R6.3.19
8		北金丸	R2.2.22	R6.3.19
9		南金丸	R2.2.22	R6.3.19
10		上奥沢・奥沢	R2.2.22	R6.3.19
11		鹿畑・倉骨・赤瀬・北大和久	R3.3.25	R6.3.19
12	親園地区	親園北区・実取	R2.2.22	R6.3.19
13		親園南区・滝沢	R2.2.22	R6.3.19
14		滝岡・花園	R2.2.22	R6.3.19
15		宇田川・荻野目	R2.2.22	R6.3.19
16	野崎地区	下石上・上石上・野崎	R2.2.22	R6.3.19
17		薄葉・平沢	R2.2.22	R6.3.19
18	佐久山地区	佐久山	R3.3.25	R6.3.19
19		藤沢・琵琶池・大神南部	R3.3.25	R6.3.19
20		大神本田・福原	R3.3.25	R6.3.19
21	湯津上地区	狭原・小船渡・中の原	R3.3.25	R6.3.19
22		湯津上	R3.3.25	R6.3.19
23		佐良土	R2.2.22	R6.3.19
24		蛭畑	R2.2.22	R6.3.19
25		蛭田	R3.3.25	R6.3.19
26		新宿・片府田・品川	R2.2.22	R6.3.19
27	黒羽地区	黒羽田町・八塩・北滝	R3.3.25	R6.3.19
28		前田・堀之内	R3.3.25	R6.3.19
29		北野上	R3.3.25	R6.3.19
30		片田・亀久・矢倉	R3.3.25	R6.3.19
31	川西地区	黒羽向町・大豆田・余瀬	R3.3.25	R6.3.19
32		蜂巢・桧木沢	R2.2.22	R6.3.19
33		寒井	R3.3.25	R6.3.19
34	両郷地区	中野内	R3.3.25	R6.3.19
35		河原・両郷	R3.3.25	R6.3.19
36		寺宿・木佐美	R3.3.25	R6.3.19
37		大久保・久野又	R3.3.25	R6.3.19
38		大輪・川田	R3.3.25	R6.3.19
39	須賀川地区	須佐木	R3.3.25	R6.3.19
40		須賀川	R3.3.25	R6.3.19
41		雲岩寺・川上・南方	R3.3.25	R6.3.19
計		41		

No.	対象地区名	区域名(集落名)	作成 年月日	更新 年月日
那須塩原市				
1	黒磯地区	①鳥野目、小結、東原	R3.3.26	R5.12.21
2		②埼玉	R3.3.26	R5.12.21
3		③共懇社1丁目、東栄1～2丁目、豊浦、共懇社、下厚崎、渡辺、安藤町、原町、東豊浦	R3.3.26	R5.12.21
4		④本郷町、新朝日、宮町、本町、黒磯幸町、錦町、住吉町、豊町、中央町、高砂町、弥生町、橋本町、桜町、材木町、大黒町、若葉町、東大和町、黒磯、上厚崎、豊浦中町、豊浦町、末広町、清住町、新緑町、松浦町、阿波町、新町、西新町、豊住町、並木町、若草町、豊浦北町、美原町、北栄町、豊浦南町、春日町	R3.3.26	R5.12.21
5	鍋掛地区	⑤寺子	R3.3.26	R5.12.21
6		⑥越堀	R3.3.26	R5.12.21
7		⑦鍋掛、野間	R3.3.26	R5.12.21

No.	対象地区名	区域名(集落名)	作成 年月日	更新 年月日
那須塩原市				
8	東那須野地区	⑧大原間、島方、上中野、大原間西1～2丁目、方京1～3丁目	R3.3.26	R5.12.21
9		⑨東小屋、山中新田、上大塚新田、佐野、三本木	R3.3.26	R5.12.21
10		⑩-1木曾畑中	R3.3.26	R5.12.21
11		⑩-2沼野田和	R3.3.26	R5.12.21
12		⑩-3下中野	R3.3.26	R5.12.21
13		⑪中内、鹿野崎、上郷屋、塩野崎、塩野崎新田、無栗屋	R3.3.26	R5.12.21
14		⑫唐杉、北弥六、前弥六、杓掛、前弥六南町、杓掛1～3丁目	R3.3.26	R5.12.21
15		⑬笹沼、北和田、波立	R3.3.26	R5.12.21
16	高林地区	⑭箕輪、洞島	R2.1.8	R5.12.21
17		⑮青木	R3.3.26	R5.12.21
18		⑯高林、箭坪	R3.3.26	R5.12.21
19		⑰油井、亀山、細竹、西岩崎、板室	R3.3.26	R5.12.21
20		⑱戸田	R3.3.26	R5.12.21
21		⑲百村	R3.3.26	R5.12.21
22		⑳木綿畑	R3.3.26	R5.12.21
23		㉑湯宮、嶋内	R3.3.26	R5.12.21
24	西那須野地区	㉒四区町、千本松	R3.3.26	R5.12.21
25		㉓三区町	R3.3.26	R5.12.21
26		㉔二区町	R3.3.26	R5.12.21
27		㉕一区町	R3.3.26	R5.12.21
28		㉖永田町、扇町、あたご町、西大和、西原町、五軒町、西栄町、東町、西朝日町、南町、西幸町、下永田1～8丁目、太夫塚1～6丁目	R3.3.26	R5.12.21
29		㉗緑1～2丁目、二つ室、北二つ室	R3.3.26	R5.12.21
30	狩野地区	㉘上赤田、北赤田、南赤田、西赤田、東赤田	R3.3.26	R5.12.21
31		㉙三島1～5丁目、東三島1～6丁目、西三島1～7丁目	R3.3.26	R5.12.21
32		㉚井口、西遅沢、東遅沢	R3.3.26	R5.12.21
33		㉛高柳、西富山、関根、東関根、槻沢	R3.3.26	R5.12.21
34		㉜南郷屋1～5丁目、睦、新南、石林	R3.3.26	R5.12.21
35	塩原地区	㉝塩原、中塩原、上塩原、湯本塩原	R3.3.26	R5.12.21
36	箒根地区	㉞折戸、上横林、横林、接骨木	R3.3.26	R5.12.21
37		㉟関谷、遅野沢、藁沼	R3.3.26	R5.12.21
38		㊱金沢、下田野	R3.3.26	R5.12.21
39		㊲宇都野	R3.3.26	R5.12.21
40		㊳下大貫、上大貫、高阿津	R3.3.26	R5.12.21
計		40		

No.	対象地区名	区域名(集落名)	作成 年月日	更新 年月日
那須町				
1	那須村	①那須高原、守子、伊藤台、広谷地、喰木原、上半俵、下半俵、蕨中、本町、大町、見晴町、旭町、東町、占勝園、西町、元湯、奥那須、湯本仲町、川向町、遅山町、室野井、宇田島、六斗地、横沢、池田、小深堀、一ツ縦	R3.3.29	R5.11.29
2		②大同、大日向、松子1・2、松田、田代、茗ヶ沢	R3.3.29	R5.11.29
3		③北条、長南寺、大島1・2、藤塩、中原、戸能、小島1・2、喜和田、漆塚上・下、新田、羽原、大石、穂積、山梨子	R3.3.29	R5.11.29
4		④茅沼、薄室、菱喰内、橋本町、下瀬縫、芦の又、本郷1・2、丸山、岡室、筒地、新高久、桜久保、後藤橋、弓落、廻り谷、渡久保、上瀬縫	R3.3.29	R5.11.29
5		⑤時庭、落合、田中、前久保、秋山沢、狸久保、東狸久保、柏、高久、上川、小羽入、立岩、新小羽入、下川、よささ集落	R3.3.29	R5.11.29
6		⑥綱子、常民夕狩、新夕狩、慈生会、夕狩、黒木、七曲、五十里、東観、柏沼、二枚橋、木戸、水原、成沢、矢の目1・2、追田原、弥次郎	R3.3.29	R5.11.29
7		⑦大谷、大沢、大深堀、北沢、荻久保、田島、豊津、高津、柏台、千振、千景園集落	R3.3.29	R5.11.29
8		⑧逃室1～3、新逃室、針生、松沼、吉田上・下、上の原、法師畑、西大久保、塩阿久津上、西田、旗鉾、松の倉、音羽町1～4、新黒田、旧黒田、前原、茶臼、幸町1～3、相生町1～3、本町1～3	R3.3.29	R5.11.29
9	伊王野村	⑨下町、上町、上郷、東岩崎、大和須、梓、養沢、大畑	R3.3.29	R5.11.29
10		⑩睦家、梁瀬、沼野井、稲沢	R3.3.29	R5.11.29
11	芦野町	⑪下芦野、唐木田、西坂、黒川、中の川、上野町、川原町、仲町上・中・下、横町上・下、新道、新町上・下、大ヶ谷、峯岸、板屋、高瀬、三ヶ村	R3.3.29	R5.11.29
12		⑫塩阿久津下、石住、水塩大久保、白井、吉の目、上下田、大平、寄居本郷、豆沢、寄居大久保、中重、山中、明神	R3.3.29	R5.11.29
計		12		

18 令和5年度主な農業関係表彰受賞者一覧

(1) 全国段階

(順不同)

コンクール名	受賞名	受賞者名
第62回全国青年農業者会議 プロジェクト発表【畜産経営部門】	全国農業青年クラブ 連絡協議会会長賞	那須塩原市 森 瑞貴

(2) 県段階

コンクール名	受賞名	受賞者名
令和5年度栃木県農業青年研究大会 プロジェクト発表の部 意見発表の部	最優秀賞 優秀賞	大田原市 和泉 諭史(園芸・特産) 那須塩原市 梅崎 太郎
第5回栃木県農業大賞 【農業経営の部】 【農村活性化の部】 【芽吹き力賞】	農林水産大臣賞・栃木県知事賞 関東農政局長賞・栃木県知事賞 栃木県知事賞	那須塩原市 高松 英樹・高松 正穂 (施設トマト) 大田原市 大田原とうがらしの郷づくり 推進協議会 (会長 吉岡 博美) 那須町 井上 真梨子・井上 敬二郎
令和5年度優良担い手表彰事業 【優良認定農業者の部(個人)】	最優秀賞(栃木県知事賞)	大田原市 岩城 善広
第31回栃木県ホルスタイン共進会	名誉賞(未經産1～4部) 準名誉賞(未經産1～4部) 名誉賞(経産9～10部)	那須塩原市 和田 泰 那須塩原市 小針 勤 那須塩原市 大関 悠太
第48回とちぎ和牛枝肉共励会	優秀賞3席 優良賞1席 優良賞	大田原市 菊池 貴亮 大田原市 佐藤 和徳 那須塩原市 人見 達夫
第49回とちぎ和牛枝肉共励会	最優秀賞 優良賞	大田原市 佐藤 和徳 那須町 有限会社ウェルシーファーム
キラリと光るとちぎの星食味コンテスト	金賞	大田原市 株式会社アグリファーム田代

※いちご、トマト、なしグランプリは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため中止

19 栃木県農業士等名簿（那須地方）

栃木県農業士

No	氏 名	市町名	経 営 類 型	認定年度
1	有 本 孝 之	那 須 町	水稲＋作業受託	平成16年
2	高 久 一 次	那 須 町	和牛繁殖＋水稲	平成21年
3	秋 本 則 夫	大田原市	水稲＋麦＋作業受託	平成22年
4	植 竹 英 夫	大田原市	土地利用型＋アスパラガス＋作業受託	平成22年
5	石 塚 政 隆	那須塩原市	酪農	平成22年
6	遅 澤 喜 則	那須塩原市	水稲＋露地野菜(ねぎ・なす)	平成22年
7	高 村 広 行	那須塩原市	土地利用型＋アスパラガス	平成22年
8	菊 池 宏	那須塩原市	水稲＋いちご	平成22年
9	熊 田 正 和	大田原市	水稲＋和牛一貫	平成23年
10	磯 浩 美	大田原市	水稲＋雨除けトマト＋しゅんぎく	平成24年
11	渡 邊 光 栄	那須塩原市	酪農＋和牛繁殖	平成24年
12	相 馬 岩 利	那須塩原市	水稲＋麦＋作業受託	平成25年
13	郡 司 裕 一	大田原市	水稲＋麦＋ほうれんそう	平成26年
14	川 又 豊 藏	大田原市	水稲＋麦＋和牛繁殖	平成26年
15	君 島 章	那須塩原市	酪農	平成26年
16	菅 生 賢 治	大田原市	いちご＋水稲＋農産加工	平成27年
17	平 山 和 彦	那 須 町	花き＋水稲	平成27年
18	村 田 光 喜	大田原市	耕種＋園芸(山うど)	平成28年
19	佐 藤 友 幸	那須塩原市	水稲＋和牛繁殖	平成28年
20	佐 藤 和 徳	大田原市	和牛一貫＋にら＋水稲	平成29年
21	渡 邊 博 典	那須塩原市	和牛繁殖＋耕種＋露地野菜	平成29年
22	高 瀬 隆 至	大田原市	水稲＋麦＋作業受託	平成30年
23	松 本 良 則	那須塩原市	水稲＋作業受託	平成30年
24	平 山 貴 典	那 須 町	水稲＋麦＋ねぎ	平成30年
25	高 久 淳 平	那 須 町	和牛繁殖	平成30年
26	小野崎 豊	大田原市	水稲＋麦＋大豆	令和元年
27	大 関 一 男	那須塩原市	酪農	令和元年
28	平 山 輝 貴	那 須 町	水稲＋露地野菜＋農産物加工	令和2年
29	渡 邊 一 浩	大田原市	ねぎ(露地及びハウス)＋水稲	令和4年
30	郡 司 勝 典	那須塩原市	アスパラガス＋水稲	令和4年

栃木県女性農業士

No	氏 名	市町名	経 営 類 型	認定年度
1	屋 代 ゆき子	大田原市	牧草＋梅・林業	平成16年
2	小 沼 伸 枝	大田原市	いちご＋水稲	平成17年
3	島 田 晴 子	那須塩原市	酪農	平成19年
4	中 山 知代子	大田原市	いちご＋水稲	平成21年
5	磯 由起子	那 須 町	酪農＋水稲＋和牛繁殖	平成23年
6	田 中 和 江	那 須 町	水稲＋農産物加工＋露地野菜	平成23年
7	齋 藤 まゆみ	大田原市	水稲＋いちご	平成24年
8	磯 尾 安 代	大田原市	アスパラガス＋水稲	平成28年
9	大 島 章 子	那須塩原市	酪農＋水稲	平成30年
10	岡 本 利 江	那須塩原市	アスパラガス＋水稲＋ねぎ	令和元年
11	西 岡 智 子	大田原市	水稲＋ビール大麦	令和3年

20 那須地方の土地改良区名簿

令和6年4月1日現在

土地改良区名	理事長名	住 所	電話番号 FAX	設 立 年月日	面積 (ha)	組合 員数	関係市町	備 考
親 園	たまた みのる 滝田 稔	〒324-0044 大田原市親園2939	0287-28-1064 0287-28-1064	S46.5.10	397	310	大田原市	県圃完了(親園地区)
塩那台地	しほい やすお 渋井 康男	〒324-0024 大田原市福原232-2	0287-28-2274 0287-28-2274	S50.3.17	1,491	1,244	大田原市 さくら市 那須烏山市 那珂川町	国農完了(塩那台地地区)
大田原市	やなぎだ たかお 柳田 崇夫	〒324-0041 大田原市本町1-3-1	0287-22-3226 0287-22-3077	H11.12.24	3,219	2,253	大田原市 矢板市 那須塩原市 さくら市	県圃完了(大沢、藤沢、金丸、石上、宇田川、相の川、親園西部、親園北部、乙連沢、羽田、琵琶池、上奥沢、金田北部、金田北部2期、金田北部3期地区) 県圃中(荒井町島、下深田、中田原、練貴、倉骨地区) 団圃完了(上の原、大神、佐久山、藤山堰、野崎、北金丸、赤瀬、平沢地区)
湯津上	こばやし ひでお 小林 英夫	〒324-0403 大田原市湯津上5-776 湯津上農村環境改善センター内	0287-98-2221 0287-98-2621	H18.1.11	1,505	1,027	大田原市 那珂川町	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(湯津上、蛭畑、片府田、巻川、二輪地区) 県土地総完了(巻川、巻川2期地区)
黒 羽	たかお よしひこ 高尾 嘉彦	〒324-0233 大田原市黒羽田町222 旧黒羽中学校A棟1階	0287-54-2671 0287-48-7313	H19.1.10	870	867	大田原市	県土地総完了(大川地区) 県総バ完了(那須地区) 県圃完了(片田、両郷地区) 農構完了(両郷、北滝、両郷河原地区) 県土地総完了(両郷河原地区) 団圃完了(鉢木地区) 団土地総完了(両郷中央、大豆田、篠原、磯上地区)
那須疏水	わたなべ みちたろう 渡辺 美知太郎	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8	0287-36-0455 0287-36-0354	S27.3.10	1,001	924	那須塩原市 大田原市	国農完了(那須野原地区) 農構完了(四区地区)
西那須野東部	かぶらぎ ゆきお 鎗木 征男	〒329-2725 那須塩原市あたご町2-3 那須塩原市役所西那須野支所内	0287-37-6259 0287-37-5116	S43.12.4	243	207	那須塩原市	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(井口槻沢地区) 団圃完了(高柳地区)
黒 磯	つき い みよし 月井 美好	〒325-0116 那須塩原市木綿畑637-1	0287-73-8431 0287-73-8432	H16.2.10	2,089	1,191	那須塩原市 大田原市	国農完了(那須野原地区) 農構(鍋掛地区) 県基幹排水完了(鍋掛地区)
塩 原	きしま いちろう 君島 一郎	〒329-2801 那須塩原市関谷1264-5	0287-35-3017 0287-35-3057	H17.1.12	934	627	那須塩原市	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(箒川沿岸地区) 県農開完了(奥塩原地区)
江戸川用水	ひらやま たかのり 平山 貴典	事務所までお問い合わせください		S29.12.25	146	91	那須町	県ため池(江戸川地区) 団圃完了(桜久保地区) 農構完了(江戸川地区)
那須町	おおひら こういち 大平 康市	〒329-3215 那須町大字寺子乙1240-1 りぼーる・たなか内2階	0287-71-1261 0287-72-7530	H20.4.1	905	887	那須町 那須塩原市	県圃完了(芦野、小島、漆塚地区) 県農振総完了(那須北(松子)) 農構完了(迹室針生、一つ樫地区) 団圃完了(千振、狸久保、上川、山中中重地区) 団土地総完了(那須田中、那須田中Ⅱ地区)

那須地方の土地改良区連合名簿

土地改良区連合名	理事長名	住 所	電話番号 FAX	設 立 年月日	面積 (ha)	組合 員数	関係市町	備 考
那須野ヶ原	わたなべ みちたろう 渡辺 美知太郎	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8	0287-36-0632 0287-37-5334	S45.2.17	4,257	3,202	大田原市 那須塩原市	国農完了(那須野原地区)
藤沢用水	たまむら のりゆき 玉村 徳行	事務所までお問い合わせください		S39.2.29	332	287	大田原市 那珂川町	団かん排完了(藤沢1・2・3・4地区)

21 関係機関一覧

名 称	郵便番号	住 所	TEL	FAX
大田原市	324-8641	大田原市本町1-4-1	0287-23-8708	0287-23-1507
那須塩原市	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-62-7147	0287-62-7223
(西那須野支所)	329-2792	那須塩原市あたご町2-3	0287-37-5108	0287-37-5116
(塩原支所)	329-2924	那須塩原市中塩原1-2	0287-32-2913	0287-32-3886
那須町	329-3292	那須町寺子丙3-13	0287-72-6911	0287-72-1009
大田原市農業委員会	324-8641	大田原市本町1-4-1	0287-23-8716	0287-23-8287
那須塩原市農業委員会	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-62-7186	0287-62-7184
那須町農業委員会	329-3292	那須町寺子丙3-13	0287-72-6925	0287-72-1009
(公財)大田原市農業公社	324-0041	大田原市本町1-3-1	0287-23-4834	0287-23-4857
(公財)那須塩原市農業公社	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-60-1283	0287-60-1284
(一財)那須町農業公社	329-3222	那須町大字寺子丙4-5	0287-73-5545	0287-73-5546
大田原市農業再生協議会	324-0043	大田原市本町1-3-1	0287-23-4921	0287-23-4925
那須塩原市農業再生協議会	325-0062	那須塩原市上厚崎644	0287-73-5015	0287-63-2700
那須町農業再生協議会	329-3222	那須町大字寺子丙4-5	0287-71-2002	0287-72-6680
那須野農業協同組合	325-0017	那須塩原市黒磯6番地1	0287-62-5550	0287-62-6616
栃木県農業共済組合 那須中央支所	324-0063	大田原市町島666-1	0287-23-1633	0287-23-1634
栃木県農業共済組合 那須北支所	325-0001	那須町高久甲5083-2	0287-64-3663	0287-64-3687
酪農とちぎ農業協同組合 那須高原支所	325-0025	那須塩原市下厚崎5-89	0287-62-1540	0287-62-1546
那須箒根酪農業協同組合 本所	329-2801	那須塩原市関谷1590-3	0287-35-3231	0287-35-3315
那須箒根酪農業協同組合 北那須支所	325-0033	那須塩原市埼玉6-772	0287-62-0237	0287-62-0739
栃木県酪農業協同組合 県北支所	325-0027	那須塩原市共墾社96-7	0287-62-0186	0287-62-0564
栃木県開拓農業協同組合	325-0057	那須塩原市黒磯幸町3-9	0287-62-0274	0287-64-2253
関東農政局栃木県拠点	320-0806	宇都宮市中央 2-1-16	028-633-3311	028-634-0042
農政課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2277	028-623-2340
農村振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2333	028-623-2337
経済流通課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2297	028-623-2301
経営技術課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2319	028-623-2315
生産振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2327	028-623-2335
畜産振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2344	028-623-2353
農地整備課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2367	028-623-2378
農業総合研究センター	320-0002	宇都宮市瓦谷町1080	028-665-1241	028-665-1759
農業総合研究センター原種農場黒磯農場	325-0033	那須塩原市埼玉9-5	0287-62-0209	0287-62-0204
農業総合研究センターいちご研究所	328-0007	栃木市大塚町2920	0282-27-2711	0282-27-8462
農業総合研究センター原種農場	329-1224	高根沢町上高根沢5904	028-675-5585	028-675-5966
農業大学校	321-3233	宇都宮町上籠谷町1145-1	028-667-0711	028-667-4943
水産試験場	324-0404	大田原市佐良土2599	0287-98-2888	0287-98-2885
県央家畜保健衛生所	321-0905	宇都宮市平出工業団地6-8	028-689-1200	028-689-1279
県南家畜保健衛生所	328-0002	栃木市惣社町1439-20	0282-27-3611	0282-27-4144
県北家畜保健衛生所	329-2747	那須塩原市千本松800-3	0287-36-0314	0287-37-4825
畜産酪農研究センター	329-2747	那須塩原市千本松298	0287-36-0230	0287-36-0516
とちぎ食肉センター	321-3303	芳賀町稲毛田1921-7	028-616-2783	028-616-2788
県立那須拓陽高等学校	329-2712	那須塩原市下永田4-3-52	0287-36-1225	0287-36-8027
(公財)栃木県農業振興公社	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-13	028-648-9511	028-648-9517
なかがわ水遊園	324-0404	大田原市佐良土2686	0287-98-3055	0287-98-3115
JAなすのアグリサポート	324-0041	大田原市北金丸1563-4	0287-23-3333	0287-23-3280

那 須 地 方 の 農 業

令和6（2024）年4月 発行

編集・発行者 栃木県那須農業振興事務所

〒324-0041

大田原市本町2丁目2828-4

TEL 0287-23-3141

FAX 0287-23-7994

ホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g56/index.html>

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ



那須農振HP